

第3期平戸市総合戦略策定に係る アンケート調査結果

**令和6年11月
長崎県平戸市**

目 次

1	調査概要	・・・	1 ページ
2	調査回答者の属性 問1～6	・・・	2 ページ
	問1 居住地		
	問2 性別		
	問3 年齢		
	問4 職業		
	問5 配偶者の有無		
	問6 世帯構成		
3	調査結果		
	問7 現在の平戸市は働き続けることができる環境にあるか	・・・	3 ページ
	問9 現在の平戸市は安心して妊娠・出産・育児できるような環境・社会であるか		
	問10 安心して妊娠・出産・育児できるような環境・社会にするためにはどのようなことにとりくめば良いか	・・・	4 ページ
	問11 母親の育児休業や産前産後休暇の取得の有無	・・・	5 ページ
	問12 父親の育児休業や産前産後休暇の取得の有無		
	問13 若い女性の定着を図るためには、どのようなことに取組みどのような環境があれば良いか	・・・	6 ページ
	問14 これからも平戸市に住み続けたいか	・・・	7 ページ
	問15 住みたい・住み続けたいと実感できる市になるための重要度		
	問16 現在の平戸市における満足度	・・・	8 ページ
	問17 住みたい・住み続けたいと実感できるまちづくりができているか	・・・	10 ページ
	※※以降、自由記述部分※※		
	問8 問7のあまりそう思わない、全くそう思わないの理由	・・・	11 ページ
	問10のその他の自由記述	・・・	22 ページ
	問13の女性が希望する雇用の場の創出の職種等	・・・	24 ページ
	問13のその他の自由記述	・・・	27 ページ
	問18 問17の回答理由	・・・	29 ページ
	問19 平戸市が活性化していくために必要なことなど（自由意見）		
	子育て支援の充実に関するアイデアや充実が必要となる原因	・・・	49 ページ
	産業振興に関するアイデアや振興が必要となる原因	・・・	60 ページ
	雇用促進に関するアイデアや促進が必要となる原因	・・・	70 ページ
	定住・移住に関するアイデアや促進が必要となる原因	・・・	78 ページ

1 調査概要

(1) 調査の目的

令和4年に行った調査からこれまでの間、市民満足度などがどのように推移しているのかを把握するとともに、第3期総合戦略（令和7年度～令和9年度）策定のための参考資料とすることを目的とする。

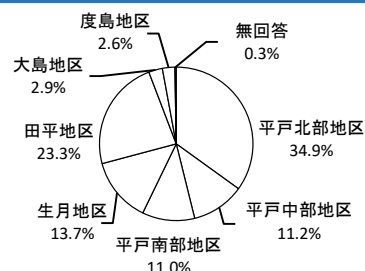
(2) 調査の実施

調査	今回調査	前回調査	前々回調査
	令和6年10月実施	令和4年6月実施	令和元年4月実施
調査対象	平戸市在住の方を住民基本台帳から無作為抽出（18～59歳）	平戸市在住の方を住民基本台帳から無作為抽出（18歳以上79歳以下）※無作為分のみ記載	平戸市在住の方を住民基本台帳から無作為抽出（20～59歳）
調査方法	郵送法（オンライン回答ができるQRコード付）、平戸市公式LINEによるプッシュ通知	郵送法（オンライン回答ができるQRコード付）	郵送法
配布数	郵送2,000件	個人2,700件	3,000件
有効回答数	724件	個人1,169件	714件
	※郵送分：紙386件・QR210件		
	※LINE分128件		
有効回答率	29.8%（郵送分のみ）	個人43.3%	23.80%

2 調査回答者の属性

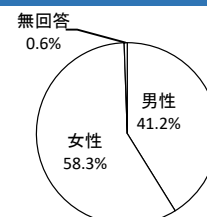
問1 居住地

区分	人数	割合	区分	人数	割合
平戸北部	253	34.9%	田平地区	169	23.3%
平戸中部	81	11.2%	大島地区	21	2.9%
平戸南部	80	11.0%	度島地区	19	2.6%
生月地区	99	13.7%	無回答	2	0.3%



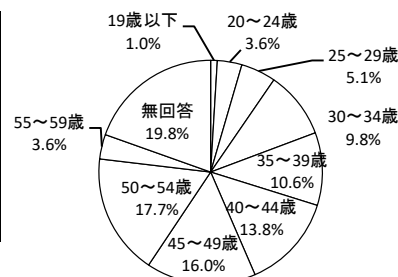
問2 性別

区分	人数	割合
男性	298	41.2%
女性	422	58.3%
無回答	4	0.6%



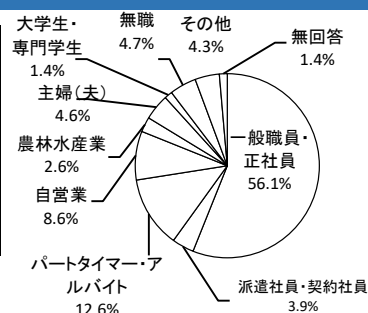
問3 年齢

区分	人数	割合	区分	人数	割合
19歳以下	7	1.0%	40-44	100	13.8%
20-24	26	3.6%	45-49	116	16.0%
25-29	37	5.1%	50-54	128	17.7%
30-34	71	9.8%	55-59	26	3.6%
35-39	77	10.6%	無回答	143	19.8%



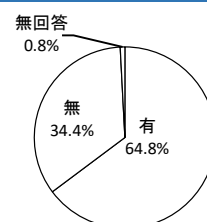
問4 職業

区分	人数	割合	区分	人数	割合
一般職員・正社員	406	56.1%	主婦(夫)	33	4.6%
派遣・契約社員	28	3.9%	大学・専門学生	10	1.4%
パート・アルバイト	91	12.6%	無職	34	4.7%
自営業	62	8.6%	その他	31	4.3%
農林水産業	19	2.6%	無回答	10	1.4%



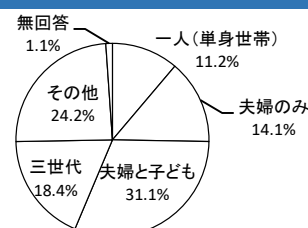
問5 配偶者の有無

区分	人数	割合
有	469	64.8%
無	249	34.4%
無回答	6	0.8%



問6 世帯構成

区分	人数	割合	区分	人数	割合
一人世帯(単身世帯)	81	11.2%	三世代	133	18.4%
夫婦のみ	102	14.1%	その他	175	24.2%
夫婦と子ども	225	31.1%	無回答	8	1.1%

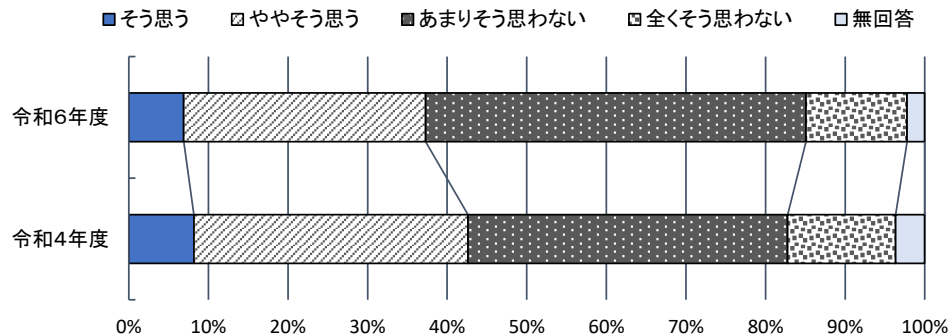


3 調査結果

問7 現在の平戸市は働き続けることができる環境にあると思いますか

「そう思う」「ややそう思う」の合計が37.3%となり、令和4年度調査から5.3ポイント減少した。また、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」の回答が60.5%となり、令和4年度調査から6.7ポイント増加した。

項 目	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	無回答
令和6年度調査	6.9%	30.4%	47.8%	12.7%	2.2%
令和4年度調査	8.2%	34.4%	40.2%	13.6%	3.7%



問8 「あまりそう思わない」「全くそう思わない」の理由は何ですか

問8 「あまりそう思わない」「全くそう思わない」の理由（別紙）

（多かった主な理由）

仕事（職種・職場）がない（少ない・選択肢がない）・・・ 299件

賃金が安い・・・ 120件

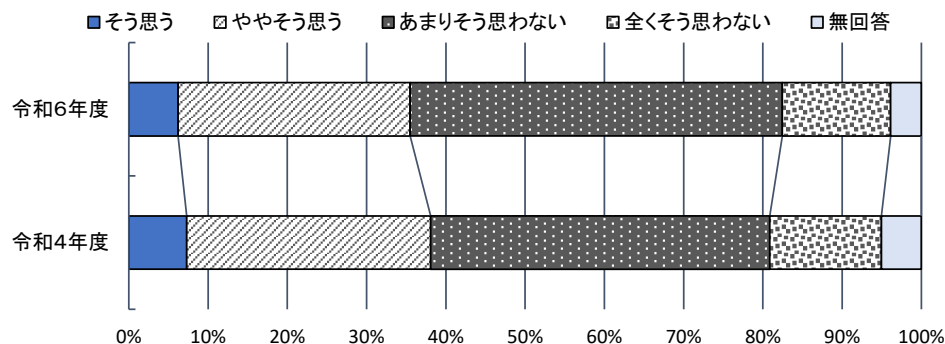
子供を預ける環境が整っていない、子供が病気の時などに休めない・・・ 33件

交通の便が悪い、車がないと通勤が難しい・・・ 23件

問9 現在の平戸市は安心して妊娠・出産・育児できるような環境・社会であると思いますか

令和4年度調査は、結婚・妊娠・出産について回答を求めたが、今回は妊娠・出産・育児とした。「そう思う」「ややそう思う」の合計が35.5%となり、令和4年度調査から2.6ポイント減少した。また、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」の合計は60.7%となり、令和4年度調査から3.8ポイント増加した。

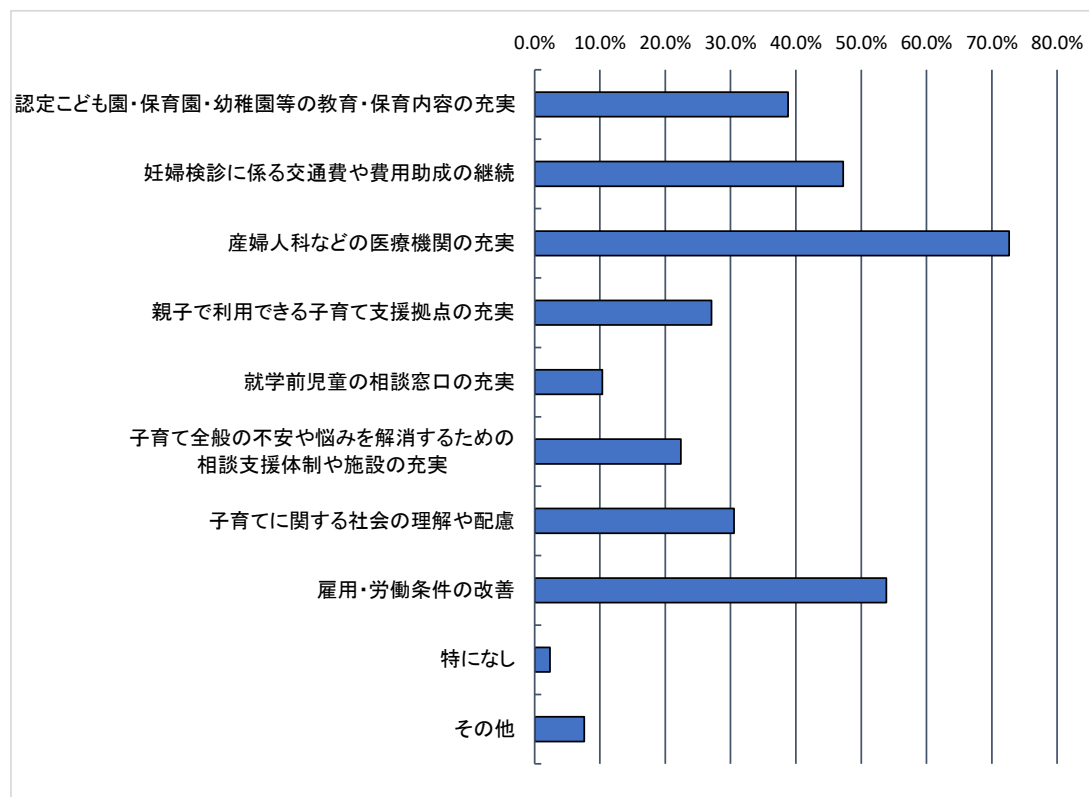
項 目	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	無回答
令和6年度調査	6.2%	29.3%	47.0%	13.7%	3.9%
令和4年度調査	7.3%	30.8%	42.8%	14.1%	5.0%



問10 安心して妊娠・出産・育児できるような環境・社会にするためには、どのようなことに取り組めば良いと思いますか

令和4年度調査は、安心して結婚・妊娠・出産するために必要な環境について回答を求めたが、今回は安心して妊娠・出産・育児できる環境とした。
「産婦人科などの医療機関の充実」が72.7%と高い割合となっている。次いで「雇用・労働条件の改善」が53.9%の順となっている。

項 目	人数	割合
認定こども園・保育園・幼稚園等の教育・保育内容の充実	281	38.8%
妊婦検診に係る交通費や費用助成の継続	342	47.2%
産婦人科などの医療機関の充実	526	72.7%
親子で利用できる子育て支援拠点の充実	196	27.1%
就学前児童の相談窓口の充実	75	10.4%
子育て全般の不安や悩みを解消するための相談支援体制や施設の充実	162	22.4%
子育てに関する社会の理解や配慮	221	30.5%
雇用・労働条件の改善	390	53.9%
特になし	17	2.3%
その他	55	7.6%

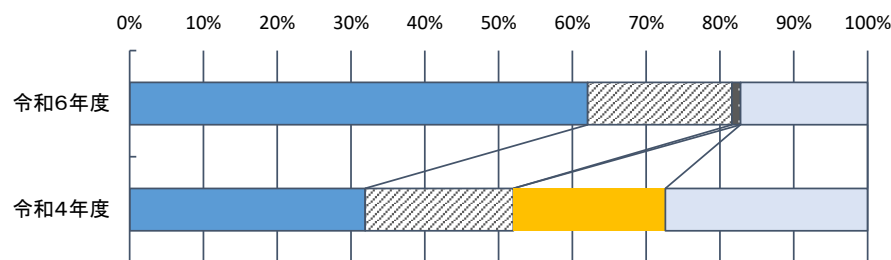


問11 母親の育児休業や産前産後休暇の取得の有無（令和5年以降にお子様が生れた方）

令和4年度調査は、育児休業や休暇の制度がなかったという選択肢を設けていたが、今回は育児休業や休暇の制度があることを知らなかったに変更した。
この設問に関して、令和4年度調査回答数が204名に対し、今回の回答数は87名となっている。
「利用した」の割合は62.1%となり、令和4年度調査から30.2ポイント増加した。

項 目	利用した	利用しなかった	制度がなかった(R元)	制度を知らなかった(R6)	働いていなかった
令和6年度調査	62.1%	19.5%	－	1.1%	17.2%
令和4年度調査	31.9%	20.1%	20.6%	－	27.4%

■利用した ■利用しなかった ■制度を知らなかった(R6) ■制度がなかった(R元) ■働いていなかった

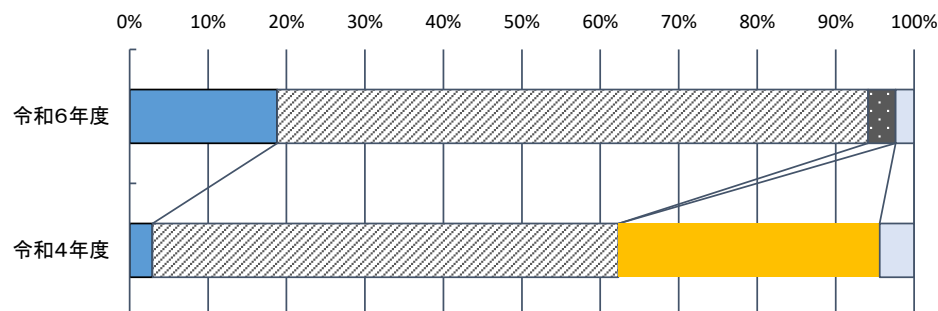


問12 父親の育児休業や産前産後休暇の取得の有無（令和5年以降にお子様が生れた方）

令和4年度調査は、育児休業や休暇の制度がなかったという選択肢を設けていたが、今回は育児休業や休暇の制度があることを知らなかったに変更した。
この設問に関して、令和4年度調査回答数が204名に対し、今回の回答数は85名となっている。
「利用した」の割合は18.8%となり、令和4年度調査から15.9ポイント増加した。

項 目	利用した	利用しなかった	制度がなかった(R元)	制度を知らなかった(R6)	働いていなかった
令和6年度調査	18.8%	75.3%	－	3.5%	2.4%
令和4年度調査	2.9%	59.4%	33.3%	－	4.4%

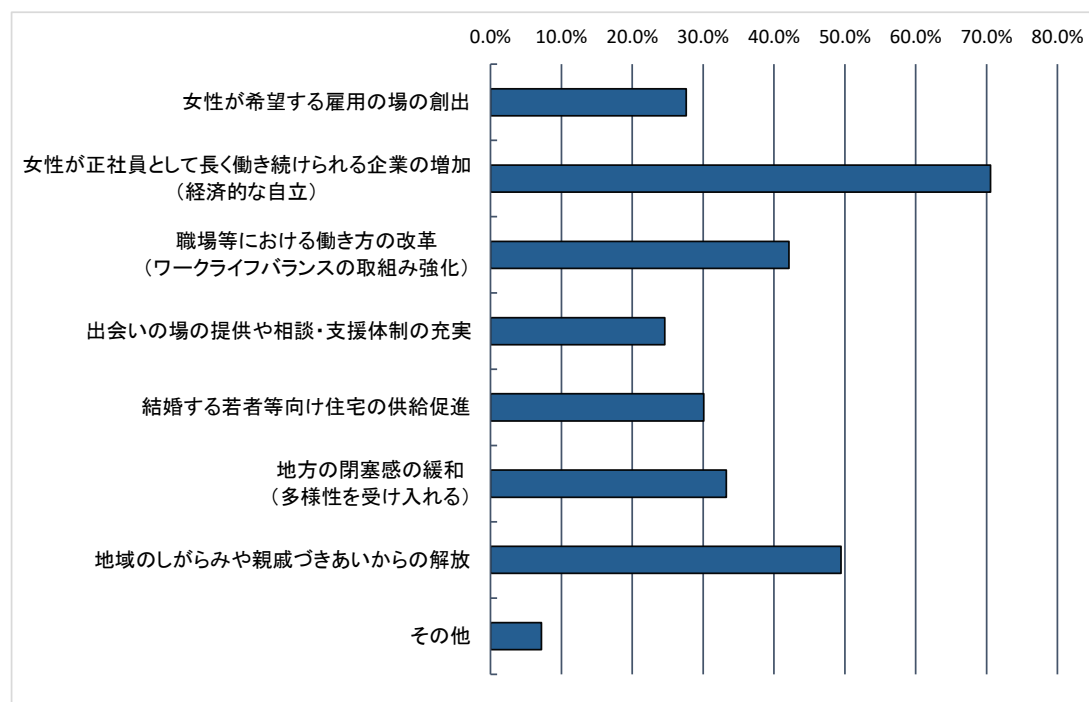
■利用した ■利用しなかった ■制度を知らなかった(R6) ■制度がなかった(R4) ■働いていなかった



問13 人口減少の大きな要因の一つとして、若い女性の流出があげられますが、若い女性の定着を図るためには、どのようなことに取り組み、また、どのような環境があれば良いと思いますか

今回、新たに設けた質問である。「女性が正社員として長く働き続けられる企業の増加（経済的な自立）」が70.6%と最も高く、「地域のしがらみや親戚づきあいからの解放」が49.4%、「職場等における働き方の改革（ワークライフバランスの取組み強化）」が42.1%の順となっている。

項 目	人数	割合
女性が希望する雇用の場の創出	200	27.6%
女性が正社員として長く働き続けられる企業の増加（経済的な自立）	511	70.6%
職場等における働き方の改革（ワークライフバランスの取組み強化）	305	42.1%
出会いの場の提供や相談・支援体制の充実	178	24.6%
結婚する若者等向け住宅の供給促進	218	30.1%
地方の閉塞感の緩和（多様性を受け入れる）	241	33.3%
地域のしがらみや親戚づきあいからの解放	358	49.4%
その他	52	7.2%

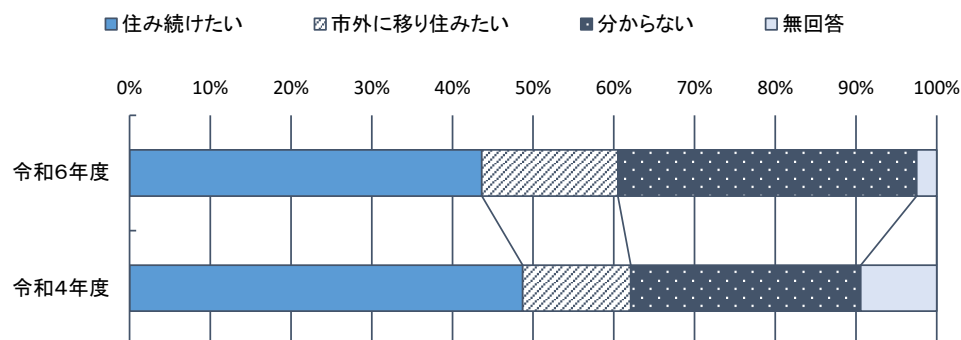


「女性が希望する雇用の場の創出」の具体的な職種としては、「事務」が49件と最も多く、次いで「営業」11件などの回答があった。

問14 これからも平戸市に住み続けたいと思いますか

「住み続けたい」は43.6%で令和4年度調査から5.1ポイント減少、「市外に移り住みたい」の割合が16.9%となり令和4年度調査から3.5ポイント増加、「分からない」が37.0%で令和4年度調査から8.5ポイント増加した。

項目	住み続けたい	市外に移り住みたい	分からない	無回答
令和6年度調査	43.6%	16.9%	37.0%	2.5%
令和4年度調査	48.7%	13.4%	28.5%	9.4%



問15 住みたい・住み続けたいと実感できる市となるための重要度

令和4年度調査は総合計画後期基本計画策定に係る調査であったため、まちづくり全般の設問としており、令和元年度調査における設問内容と大きく相違するため、令和元年度調査と同様の調査内容とした。

令和元年度調査で「重要」と回答した割合は、「働ける場所の豊富さ」が80.5%と最も高く、次いで「医療を受けるための環境の良さ」の73.8%の順となっていたが、令和6年度調査では、「医療を受けるための環境の良さ」が82.7%と最も高く、次いで「働ける場所の豊富さ」の79.3%の順となっている。

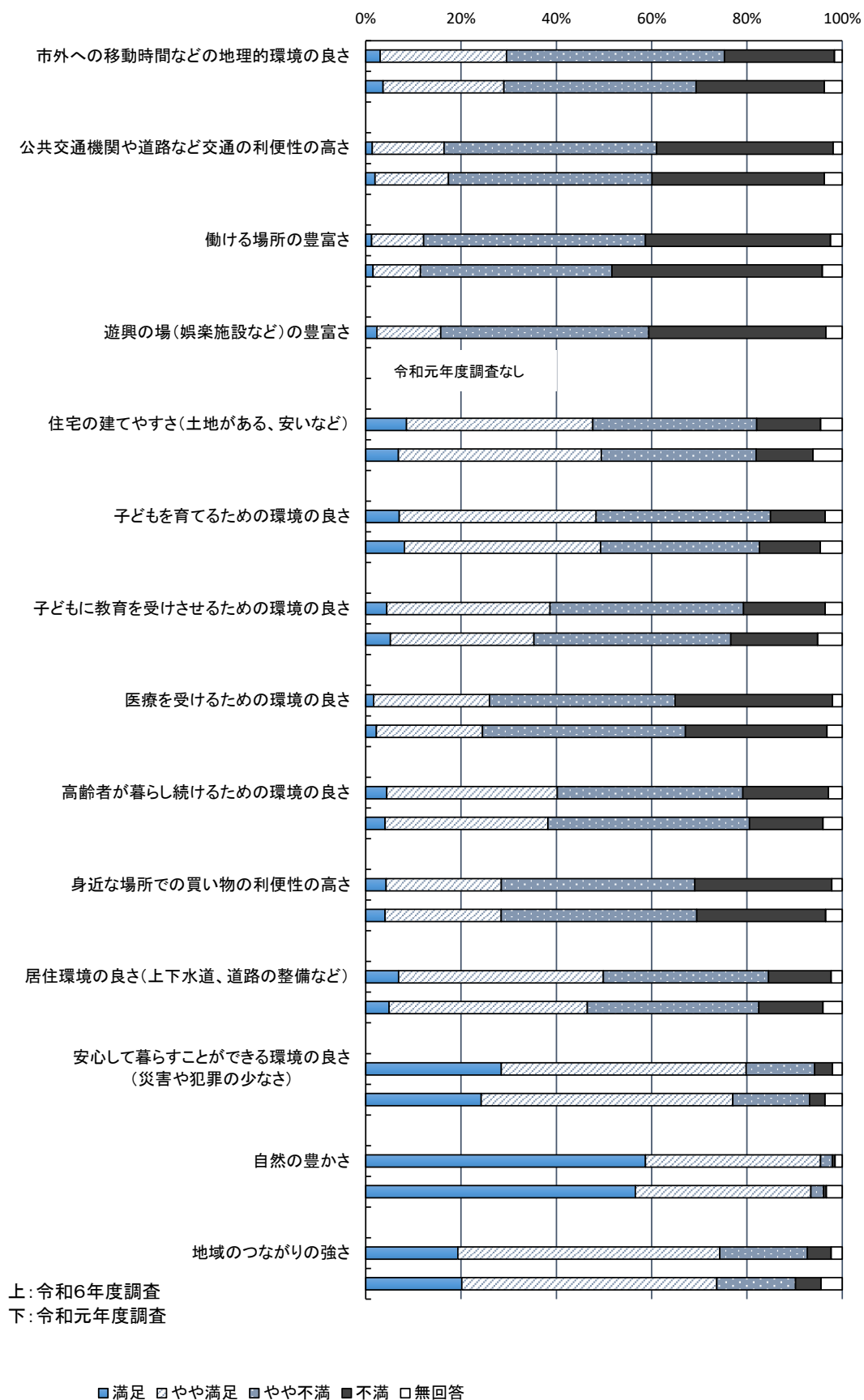
項目	重要	やや重要	あまり重要でない	重要ではない	無回答
市外への移動時間などの地理的環境の良さ	56.2%	31.6%	7.7%	1.8%	2.6%
公共交通機関や道路など交通の利便性の高さ	63.1%	27.8%	5.9%	0.4%	2.8%
働ける場所の豊富さ	79.3%	16.2%	0.6%	0.6%	3.5%
遊興の場（娯楽施設など）の豊富さ	36.2%	35.9%	20.7%	3.2%	4.0%
住宅の建てやすさ（土地がある、安いなど）	43.5%	36.6%	14.4%	1.7%	3.9%
子どもを育てるための環境の良さ	70.9%	23.3%	1.9%	0.6%	3.3%
子どもに教育を受けさせるための環境の良さ	66.7%	27.2%	2.2%	2.2%	1.7%
医療を受けるための環境の良さ	82.7%	14.5%	0.7%	0.1%	1.9%
高齢者が暮らし続けるための環境の良さ	61.3%	26.9%	7.2%	1.5%	3.0%
身近な場所での買い物の利便性の高さ	74.2%	20.3%	2.9%	0.8%	1.8%
居住環境の良さ（上下水道、道路の整備など）	58.3%	32.5%	5.7%	0.3%	3.3%
安心して暮らすことができる環境の良さ（災害や犯罪の少なさ）	72.4%	20.7%	4.0%	0.4%	2.5%
自然の豊かさ	37.4%	38.4%	18.2%	3.6%	2.3%
地域のつながりの強さ	18.1%	43.8%	29.4%	6.1%	2.6%
故郷への愛着	23.9%	44.1%	23.2%	5.7%	3.2%
親族（親など）が住んでいること	19.9%	40.6%	30.0%	7.5%	2.1%
友人・知人が住んでいること	24.0%	44.6%	23.3%	5.5%	2.5%

問16 現在の平戸市における満足度

設問は、問15と同様の理由から令和元年度と同様とした。

満足とやや満足では「自然の豊かさ」が95.4%と最も高く、次いで「安心して暮らすことができる環境の良さ」の79.8%の順となっている。反対に不満とやや不満では「働ける場所の豊富さ」が85.4%と最も高く、次いで、「公共交通機関や道路などの交通の利便性」の81.6%の順となっている。また、今回新しく設けた「遊興の場（娯楽施設など）の豊富さ」も80.8%と不満度が高い割合となっている。

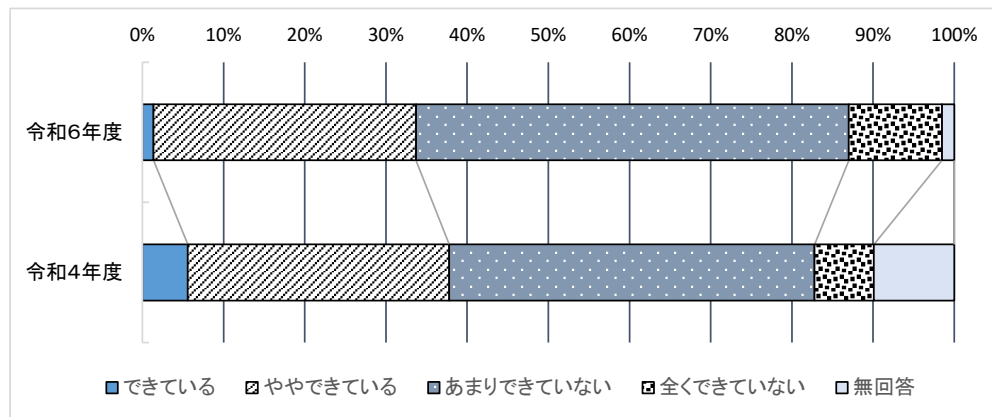
項目		満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
市外への移動時間などの地理的環境の良さ	令和6年度	3.0%	26.5%	45.7%	23.1%	1.7%
	令和元年度	3.6%	25.4%	40.3%	26.9%	3.8%
公共交通機関や道路など交通の利便性の高さ	令和6年度	1.4%	15.1%	44.6%	37.0%	1.9%
	令和元年度	2.0%	15.4%	42.7%	36.1%	3.8%
働ける場所の豊富さ	令和6年度	1.2%	10.9%	46.5%	38.8%	2.5%
	令和元年度	1.5%	9.9%	40.2%	44.1%	
遊興の場（娯楽施設など）の豊富さ	令和6年度	2.3%	13.4%	43.6%	37.2%	3.5%
	令和元年度	-	-	-	-	-
住宅の建てやすさ（土地がある、安いなど）	令和6年度	8.6%	39.1%	34.4%	13.4%	4.6%
	令和元年度	6.9%	42.6%	32.5%	11.9%	6.2%
子どもを育てるための環境の良さ	令和6年度	7.0%	41.3%	36.6%	11.5%	3.6%
	令和元年度	8.1%	41.2%	33.3%	12.7%	4.6%
子どもに教育を受けさせるための環境の良さ	令和6年度	4.4%	34.3%	40.6%	17.1%	3.6%
	令和元年度	5.2%	30.1%	41.3%	18.2%	5.2%
医療を受けるための環境の良さ	令和6年度	1.7%	24.3%	39.0%	33.0%	2.1%
	令和元年度	2.2%	22.3%	42.6%	29.7%	3.2%
高齢者が暮らし続けるための環境の良さ	令和6年度	4.4%	35.8%	39.0%	18.0%	2.9%
	令和元年度	4.1%	34.2%	42.3%	15.4%	4.1%
身近な場所での買い物の利便性の高さ	令和6年度	4.3%	24.2%	40.6%	28.7%	2.2%
	令和元年度	4.1%	24.4%	41.0%	27.0%	3.5%
居住環境の良さ（上下水道、道路の整備など）	令和6年度	6.9%	43.0%	34.7%	13.1%	2.3%
	令和元年度	4.9%	41.6%	36.0%	13.4%	4.1%
安心して暮らすことができる環境の良さ（災害や犯罪の少なさ）	令和6年度	28.5%	51.4%	14.4%	3.7%	2.1%
	令和元年度	24.2%	52.8%	16.1%	3.2%	3.6%
自然の豊かさ	令和6年度	58.7%	36.7%	2.5%	0.6%	1.5%
	令和元年度	56.6%	36.8%	2.7%	0.6%	3.4%
地域のつながりの強さ	令和6年度	19.3%	55.0%	18.4%	5.0%	2.3%
	令和元年度	20.2%	53.5%	16.5%	5.3%	4.5%



問17 「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくりができていると思いますか

「できている」「ややできている」が33.7%となり、令和4年度調査から4.1ポイント減少、「あまりできていない」「全くできていない」が64.8%となり、12.5ポイント増加となった。

項目	できている	ややできている	あまりできていない	全くできていない	無回答
令和6年度調査	1.4%	32.3%	53.3%	11.5%	1.5%
令和4年度調査	5.6%	32.2%	45.0%	7.3%	9.9%



■問7 平戸市は働き続けることができる環境にあると思わない理由

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
1	平戸北部地区	男性	20-24歳	職場が少ない。あったとしても定員オーバー。
2	平戸北部地区	男性	20-24歳	職場が少ない上に最近では閉店されるところが増えているように思います。
3	平戸北部地区	男性	20-24歳	職場、子どもを預ける環境が少ない
4	平戸北部地区	男性	25-29歳	職場が少ないので、働き口が限定されてしまう。
5	平戸北部地区	男性	25-29歳	職場が少ない。
6	平戸北部地区	男性	25-29歳	職場が少なく、給料安い。通勤に時間がかかる。
7	平戸北部地区	男性	25-29歳	住みやすさが伴っていない。アパートの家賃が高いではなく、高すぎる。ペット可能なアパートを作る、市営アパートをリフォームする等。
8	平戸北部地区	男性	25-29歳	働き手が明らかに不利な従業員正社員募集が多い
9	平戸北部地区	男性	25-29歳	職種が少ない
10	平戸北部地区	男性	25-29歳	もう少し働ける場所が増えたらいいと思う。
11	平戸北部地区	男性	30-34歳	若者が働ける仕事になさすぎる。給料が安い。職場環境が悪い。
12	平戸北部地区	男性	30-34歳	職場なし、土日祝勤務の仕事が多いので、子供を預ける場所なし。交通の面でも不便。
13	平戸北部地区	男性	30-34歳	職場が少ない
14	平戸北部地区	男性	30-34歳	全体的な傾向として収入が少なく物価が高いと感じる。同様の仕事内容や仕事時間でも、より収入の多い地域に引越しを考えるかと思う。
15	平戸北部地区	男性	30-34歳	職が少ない 給料が安い
16	平戸北部地区	男性	30-34歳	仕事が少ない
17	平戸北部地区	男性	30-34歳	選べる職場が少ない。 今の職場で長く働こうと思わない。
18	平戸北部地区	男性	30-34歳	人口の減少により、収入も見込めないからです。また、若者は都会に出たいという考えの人が多く、現実的に働き続けるのは厳しいと思います。公務員や医師などの安定した職業でないかぎり、平戸市に限らず地方の田舎で生活するのは無理があるでしょう。今後、10年、20年先を考えた場合、田舎で生活するのは心配なので、都会に出たほうがマシではないかと思うことが多々あります。
19	平戸北部地区	男性	30-34歳	商店街で喫茶店を営業しているが、お客様が少なく食べていくだけの収入が得られるとは言い難い。
20	平戸北部地区	男性	30-34歳	教員ですが、家庭の教育力の低下を感じる。 学童保育などの機関が少ない。
21	平戸北部地区	男性	35-39歳	職場が少ない。就きたい職種の職場がない。
22	平戸北部地区	男性	40-44歳	会社等が少なく、資格など必要であったり、給料なども低く生活するのが大変(結婚・子育てなどは難しいと思う。)
23	平戸北部地区	男性	40-44歳	単価が安い
24	平戸北部地区	男性	40-44歳	生活しやすいとはいえない
25	平戸北部地区	男性	40-44歳	職場が少ない
26	平戸北部地区	男性	40-44歳	選ばなければ仕事はあるが学生時代に学業を頑張るほど職場に限られる状況がある。
27	平戸北部地区	男性	40-44歳	賃金等
28	平戸北部地区	男性	45-49歳	職場がない。
29	平戸北部地区	男性	45-49歳	企業が少なく。仕事が少ない。
30	平戸北部地区	男性	45-49歳	人口減。
31	平戸北部地区	男性	45-49歳	教育力の低下
32	平戸北部地区	男性	45-49歳	仕事をする環境が整ってない。 また職業によっては人手不足である。
33	平戸北部地区	男性	45-49歳	職場が少ない
34	平戸北部地区	男性	45-49歳	生活をする中で、総合的にみて思う。
35	平戸北部地区	男性	45-49歳	仕方ないことだが地元企業の給料が低く、通勤手当などの手当無い。

■問7 平戸市は働き続けることができる環境にあると思わない理由

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
36	平戸北部地区	男性	45-49歳	職種、職場が少なく、また既存の企業、仕事の収益性が乏しい。それで若い人は離れていく、また、外部からの移住者の平戸は選択肢から外れる。
37	平戸北部地区	男性	45-49歳	会社が少ない
38	平戸北部地区	男性	45-49歳	希望に合う職場が少ない
39	平戸北部地区	男性	45-49歳	交通事情が悪すぎる。 大橋が使えないと交通が詰む。 渋滞に対する対策がない。 観光客が少なくなっているがなんの対策もない。 北部の市街地が終わっている。市街地にはトイレもコンビニもない。 働く場所がない。 平戸市役所ですら外から雇っていて、市内に無職が多すぎる。
40	平戸北部地区	男性	50-54歳	全然進歩していない。働く場所がない。田平地区も何も変わらない。何年経っても変わらない。
41	平戸北部地区	男性	50-54歳	職場が少ないし、賃金が安いイメージがあるので、特に若い人は市外へ出て行っているように思います。
42	平戸北部地区	男性	50-54歳	仕事がない。あっても給料が少ない。
43	平戸北部地区	男性	50-54歳	生活水準を保てる職場が少ない
44	平戸北部地区	男性	50-54歳	不景気
45	平戸北部地区	男性	50-54歳	1,大手企業がない 2,賃金が安い 3,商店街に活気がない 4,観光客が遊ぶ場所がない 特に日曜日の夜は寂しい街
46	平戸北部地区	男性	50-54歳	職場が少ない
47	平戸北部地区	男性	50-54歳	職場が少ない
48	平戸北部地区	男性	50-54歳	職場、職種が少ない
49	平戸北部地区	男性	55-59歳	子供が希望する就職先の選択肢が少ない。
50	平戸北部地区	男性	55-59歳	高齢化、人口の過疎化。
51	平戸北部地区	男性	55-59歳	職場が少ない。産業がない。
52	平戸北部地区	男性	55-59歳	子供が病気の時、仕事を休める環境が整っていない。
53	平戸北部地区	男性	55-59歳	賃金が安い。働ける場所(会社)が少ない。町部までが遠い。
54	平戸北部地区	男性	55-59歳	子供が少ない。仕事がない。
55	平戸北部地区	男性	55-59歳	賃金が低い。
56	平戸北部地区	男性	55-59歳	職場が少ない。
57	平戸北部地区	男性	55-59歳	人口減少によって若い人たちもいないし、活気がない。
58	平戸北部地区	男性	55-59歳	職場が少ない。
59	平戸北部地区	男性	55-59歳	若い世代の勤務条件等が整っていない。高齢者が多く、重労働の負担が大きい。
60	平戸北部地区	男性	55-59歳	働ける職場が少ない。
61	平戸北部地区	男性	55-59歳	収入が安い会社が多い。税金と収入が見合わない。
62	平戸北部地区	男性	55-59歳	生活していくための収入が見込める職場が少ない。
63	平戸北部地区	男性	55-59歳	物価と給与が折りあわない。
64	平戸北部地区	男性	55-59歳	職場が少ない
65	平戸北部地区	女性	20-24歳	職場が少ない
66	平戸北部地区	女性	20-24歳	自分がしたい仕事が都会にはあるが田舎にないから。
67	平戸北部地区	女性	25-29歳	交通の便がよくない、人口減少が進んでいるので、平戸の街中でも買い物客などを見かけない。
68	平戸北部地区	女性	25-29歳	職場が少ない
69	平戸北部地区	女性	25-29歳	職場の選択肢が少なく、新しい人を受け入れることに対する意識があまり無いように感じる
70	平戸北部地区	女性	25-29歳	若手が長く勤めることができるような職場が少ない。
71	平戸北部地区	女性	25-29歳	職種が少ない。給料が低い。
72	平戸北部地区	女性	25-29歳	職場が少ないのと、賃金が低い。
73	平戸北部地区	女性	25-29歳	職種が少ない。子供を預けられる所が少ない。
74	平戸北部地区	女性	30-34歳	職場が若年層が少ない

■問7 平戸市は働き続けることができる環境にあると思わない理由

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
75	平戸北部地区	女性	30-34歳	職場が少ない、多様な働き方が取り入れられていると感じられない
76	平戸北部地区	女性	30-34歳	都市部に比べると職種が少ない
77	平戸北部地区	女性	30-34歳	一定水準以上の給与や福利厚生水準の企業が少なくことや、育児休業が取得できないまたは取得しづらい企業が多い。
78	平戸北部地区	女性	30-34歳	給料が安く年間休日が少ない会社が多い。 医療介護職以外の職が少ない。
79	平戸北部地区	女性	35-39歳	職場が少ない(若い世代が働ける環境が整っていない。地理的な問題。)
80	平戸北部地区	女性	35-39歳	職場で小さい子供がいると休みづらい。
81	平戸北部地区	女性	35-39歳	職場が少ない。
82	平戸北部地区	女性	35-39歳	職場が少ない。
83	平戸北部地区	女性	35-39歳	各事業所も高齢化・若年層不足による将来の不安が否めない。継続経営が難しくなるばかり・・・。
84	平戸北部地区	女性	35-39歳	子供達は県外へ出ている現状です。
85	平戸北部地区	女性	35-39歳	仕事の数が他と比べても少ないと思う。農業や漁業が多くあるが、地球温暖化などの影響を受けやすいと思う。
86	平戸北部地区	女性	35-39歳	働ける場所が少ない。
87	平戸北部地区	女性	35-39歳	転職先が少ない
88	平戸北部地区	女性	35-39歳	給与が少ない。産前産後、育児休業がとれない。子育て世代に合った勤務時間の職場が僅かしかない。正規職員以外への対応や意識の格差が大きい。
89	平戸北部地区	女性	35-39歳	子どもを産める環境がない。(近くに産婦人科ない) 給料安い。
90	平戸北部地区	女性	40-44歳	子供も少なく、職が少ない。
91	平戸北部地区	女性	40-44歳	55歳以上の職場がない。
92	平戸北部地区	女性	40-44歳	職場が少ない。給料が安い。
93	平戸北部地区	女性	40-44歳	働く場所が少ない。選択肢が少ない。
94	平戸北部地区	女性	40-44歳	収入が少ない
95	平戸北部地区	女性	40-44歳	職場が少ない 賃金が安い
96	平戸北部地区	女性	40-44歳	大手企業がないし、給料少ない
97	平戸北部地区	女性	40-44歳	職場が少ない
98	平戸北部地区	女性	40-44歳	職場が少ない
99	平戸北部地区	女性	40-44歳	給料が少ない。
100	平戸北部地区	女性	40-44歳	給与が少なく、将来に不安のある企業が多いようなので、長く働き続けられる職場がそう多くないのではないかと思います。
101	平戸北部地区	女性	40-44歳	子どもを休日に預かってくれる環境がない。子どもが幼い時期は土日祝日休みの仕事でなければ無理。
102	平戸北部地区	女性	40-44歳	賃金が安い
103	平戸北部地区	女性	45-49歳	賃金が都会と比べて安い。職業場が少ない。
104	平戸北部地区	女性	45-49歳	職場も少ないし、賃金も安い。県外に出たい若者の気持ちは理解できるし、自分の子供にもすすめる。
105	平戸北部地区	女性	45-49歳	給料が安い。
106	平戸北部地区	女性	45-49歳	職場がない。
107	平戸北部地区	女性	45-49歳	海に囲まれているのに、魚を扱う仕事、加工場が少ないのか？松浦まで行っている。若者が平戸市内に住み続ける環境が×。
108	平戸北部地区	女性	45-49歳	休日保育をしているところがない。人手が足りておらず、負担が多いとよく聞く。
109	平戸北部地区	女性	45-49歳	働き続けられるような職場が少ないと感じているから。
110	平戸北部地区	女性	45-49歳	職場の業績が悪化し、夏のボーナスが減給された。このまま給料が下がるなら、転職を考えないといけなくなり、市内の求人をみているが、ボーナスが少ないところが多い。市外に出ないとなくなるとも思えない。
111	平戸北部地区	女性	45-49歳	職場が少ない。事務系を希望だがなかなかない

■問7 平戸市は働き続けることができる環境にあると思わない理由

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
112	平戸北部地区	女性	45-49歳	働き続けるの意味がなにに対してか…にもよりますが、人が減ってきているのでそれぞれが顧客獲得していく事がだんだん難しくなっていくのでは？と感じる
113	平戸北部地区	女性	45-49歳	職場が少ない
114	平戸北部地区	女性	50-54歳	過疎化で働く場所が少なく、これからも良くなる見込みが期待できない
115	平戸北部地区	女性	50-54歳	仕事の選択肢は少ないと思います。給与面、職種。
116	平戸北部地区	女性	50-54歳	賃金が安すぎる。仕事が少ない。
117	平戸北部地区	女性	50-54歳	働く職場が少ない。
118	平戸北部地区	女性	50-54歳	働く場所がない。
119	平戸北部地区	女性	50-54歳	職場が少ない。規模が小さい。
120	平戸北部地区	女性	50-54歳	働く場所が限られている。
121	平戸北部地区	女性	50-54歳	人口減少で利用者も減っているから。
122	平戸北部地区	女性	50-54歳	給料が少ない。退職金制度がない所や、賞与があまりない職場も多々見られる。
123	平戸北部地区	女性	50-54歳	選ばなければ仕事はあるが、希望収入には届かず、生活に余裕はない。
124	平戸北部地区	女性	50-54歳	職場が少ない。業種に限りがある。
125	平戸北部地区	女性	50-54歳	働く場所何少ない
126	平戸北部地区	女性	50-54歳	看護師をしています、元々平戸市出身ではありません。平戸に来て思うのは医療現場のレベルの低さと収入の低さを常を感じています。結婚していなければもっと医療への意識が高い諫早や大村で働きたいとも思っています。
127	平戸北部地区	女性	50-54歳	長く続けられる仕事が少ない。
128	平戸北部地区	女性	50-54歳	賃金が安い。
129	平戸北部地区	女性	50-54歳	未だに年功序列制があり若者層は耐えきれないみたい。
130	平戸北部地区	女性	55-59歳	船で通うには大変だし、交通費や色々な出費が多くなるため、結局入ってくるお金の方が少なく感じる。給料が増えない限り難しい。
131	平戸北部地区	女性	55-59歳	企業が少なく。賃金が少ない。
132	平戸北部地区	女性	55-59歳	働く場所がない。
133	平戸北部地区	女性	55-59歳	企業が少なく。職場の数も少ない。人がいないから病院もない。
134	平戸北部地区	女性	55-59歳	給料が安く、生活することが難しい。
135	平戸北部地区	女性	55-59歳	若い人達が働ける職場があまりないと思うので、高校卒業するときに県外で働こうと思う人が多いと思います。
136	平戸北部地区	女性	55-59歳	子育て世代への給付金など。雨の日に外で遊べる場所もなく、平戸離れしている人も多い。病児保育など預けられる場所がない。
137	平戸北部地区	女性	55-59歳	職場が少ない
138	平戸北部地区	女性	55-59歳	職場が少ない
139	平戸北部地区	女性	55-59歳	資格を活かせる職場が少ない。
140	平戸北部地区	女性	55-59歳	最低賃金より 時給が 低くばらつきがある
141	平戸北部地区	女性	55-59歳	街が活気が無い ゆっくり食事出来る所が無い
142	平戸北部地区	女性	55-59歳	長く働ける会社が少なし給料も安い。
143	平戸北部地区	女性	55-59歳	現在の平戸市に魅力がなく活気がない 働ける場所が少なく、出て行く人が多い それは賃金の安さの割に民間アパートが高い
144	平戸北部地区	女性	55-59歳	職場がない
145	平戸北部地区	女性	55-59歳	企業が少なく
146	平戸中部地区	男性	20-24歳	どこの職場も人手不足
147	平戸中部地区	男性	35-39歳	職場が少ない。
148	平戸中部地区	男性	40-44歳	市内企業の給与が低い。産婦人科を含め、病院の種類が少ない。
149	平戸中部地区	男性	40-44歳	不便だから。
150	平戸中部地区	男性	40-44歳	平戸で働いていないのでわからない。
151	平戸中部地区	男性	40-44歳	子どもたちが残って生活できる環境を作らないといけない。
152	平戸中部地区	男性	45-49歳	仕事がない。
153	平戸中部地区	男性	45-49歳	職場が少ない。

■問7 平戸市は働き続けることができる環境にあると思わない理由

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
154	平戸中部地区	男性	45-49歳	職種が少ない。地域特性のしがらみ等があり、新規流入の方は受け入れられ難い。
155	平戸中部地区	男性	45-49歳	平戸市で働いていないから。
156	平戸中部地区	男性	45-49歳	職場が少ない。特に女性は活躍したり資格を活かせない。
157	平戸中部地区	男性	45-49歳	求人が少ない。
158	平戸中部地区	男性	50-54歳	職種の幅が少ない。
159	平戸中部地区	男性	50-54歳	職場が少ない
160	平戸中部地区	男性	50-54歳	人口減少が進み、続けられなくなっているのでは？
161	平戸中部地区	男性	55-59歳	若い世代が働けるところが少ない。だから子供らが県外市外に出て戻ってこない。
162	平戸中部地区	男性	55-59歳	職場が少ない。
163	平戸中部地区	男性	55-59歳	職場が少なく給与も低い。小学生高学年を預ける場所がない。
164	平戸中部地区	男性	55-59歳	過疎化が進行して、限界集落が発生しつつある為、働ける職場も少なくなる為
165	平戸中部地区	男性	55-59歳	子供達が将来的に働いていける職場が少ない
166	平戸中部地区	男性	55-59歳	人口減少が激しく、職場が少ない。
167	平戸中部地区	男性	55-59歳	経済的収入が確保出来ない
168	平戸中部地区	女性	20-24歳	移住一年目で年金暮らしをしているので、見えていないだけかもしれませんが、地場企業さんが少ない様に思います。
169	平戸中部地区	女性	30-34歳	若い人が働く場所が少ない。子育て世代にとって働きやすい環境がもっとあると良いと思う。
170	平戸中部地区	女性	30-34歳	安定した仕事が少ない
171	平戸中部地区	女性	35-39歳	職場が少なく、休みをもらおうと居づらくなる。
172	平戸中部地区	女性	35-39歳	人口減少。
173	平戸中部地区	女性	35-39歳	働ける職種が接客業などが多く、選べる範囲が少ない。
174	平戸中部地区	女性	35-39歳	自営の人には最高の環境だと思いますが 雇われて働いてる方々の賃金が安過ぎると思います。 子育て支援もあり待機児童の問題も平戸はかなり力をいれてくれていて感謝しています。 とにかく、賃金の上昇は必要です。
175	平戸中部地区	女性	40-44歳	職場は介護職もしくは保育所の手伝いぐらいしかない。他県から嫁いで来ても、職に就けるところがない。平戸へ行っても店が少ないから、特に他県から来たものは雇われづらい
176	平戸中部地区	女性	40-44歳	年齢が高くなると出来る仕事がない。
177	平戸中部地区	女性	40-44歳	世襲、公務員以外の働き口が少ない。 市内企業の賃金が安い
178	平戸中部地区	女性	40-44歳	若者の流出など、平戸で生活していくうえで就職や職種が限られてしまうと思う。
179	平戸中部地区	女性	40-44歳	・給料が安いから ・土日休みの会社がほとんどないか
180	平戸中部地区	女性	40-44歳	他の市に比べて職場が少ない。
181	平戸中部地区	女性	40-44歳	職種がない
182	平戸中部地区	女性	45-49歳	仕事が少ない。給料が安い。
183	平戸中部地区	女性	45-49歳	子供を預ける環境が整っていない。職場が少ない。
184	平戸中部地区	女性	45-49歳	会社が少ない。賃金が安い。
185	平戸中部地区	女性	45-49歳	働く場所があっても住む所がない
186	平戸中部地区	女性	50-54歳	職場までの交通の便が悪く、運転免許をもっていないと不便
187	平戸中部地区	女性	50-54歳	働く場所が少ない
188	平戸中部地区	女性	55-59歳	若い人の働く場が少ない。結婚をしない人が多い。
189	平戸中部地区	女性	55-59歳	働ける種類が少ないため、限られている。皆に合う職場がないと思う。交通の便も限られる。
190	平戸中部地区	女性	55-59歳	職場が少ないと思う。
191	平戸中部地区	女性	55-59歳	職場が少ない。給与が安いため職場を選びづらい。
192	平戸中部地区	女性	55-59歳	仕事の選択肢が少ない。
193	平戸中部地区	女性	55-59歳	賃金が安いので、子供達が市外県外へ出てしまう。

■問7 平戸市は働き続けることができる環境にあると思わない理由

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
194	平戸中部地区	女性	55-59歳	職場が少ない為、選べない。その為、嫌でもその職場で働くしかない。給料が安い。
195	平戸南部地区	男性	20-24歳	働ける場所がない。
196	平戸南部地区	男性	25-29歳	職業が限られており、選択肢が少ない。給与も低い。
197	平戸南部地区	男性	30-34歳	通勤距離がながくなる
198	平戸南部地区	男性	30-34歳	平均的に収入が、少ない。
199	平戸南部地区	男性	35-39歳	賃金が安い。
200	平戸南部地区	男性	40-44歳	職種によっては後継者がいなかったり、環境の変化、気候の変化などで仕事を続けていくのが難しい現状がある。
201	平戸南部地区	男性	40-44歳	一番近いコンビニ、病院まで20分はかかるなど遠過ぎる。インフラ整備が整っていない。職場が少ない。給料が安い。
202	平戸南部地区	男性	45-49歳	人手不足や様々な要因による事業継続が難しいところが増えて来たように思います。
203	平戸南部地区	男性	45-49歳	通勤距離が長い、通勤時間も負担 通勤費用負担が多い、車の年間走行距離が多くなり保険料など単純に会社からの補助では賄えない。 働き口が少ない、 通勤路も悪路、県道でも道まで雑草が出ていて中央線を超えて走行する車が多い、道路側の木がしげり影切りができていないため、風がひどく吹いた後は大きな木の枝や倒木などが多い。 田平地区とあまりにも同じ市内でも地域差が激しい。
204	平戸南部地区	男性	50-54歳	仕事がない。
205	平戸南部地区	男性	50-54歳	働き続ける企業が少ない。
206	平戸南部地区	男性	50-54歳	職が少ない。
207	平戸南部地区	男性	55-59歳	職種が少ない。
208	平戸南部地区	男性	55-59歳	仕事(種類)が少ない。収入が少ない。
209	平戸南部地区	男性	55-59歳	働く企業、職場が少ない。
210	平戸南部地区	男性	55-59歳	物価は高いが収入が低い。
211	平戸南部地区	男性	55-59歳	職場が少ない。
212	平戸南部地区	男性	55-59歳	職場が少ないですが、古い人がずっと居続けるので若い子が入りにくい。働くところがあれば、帰ってくる若者も増えると思う。
213	平戸南部地区	男性	55-59歳	仕事がない。
214	平戸南部地区	女性	25-29歳	職場環境が良くない。
215	平戸南部地区	女性	30-34歳	・産婦人科が少ない ・近くに保育所などがなく、将来子供が生まれることを考えると不安がある ・病院が少ない
216	平戸南部地区	女性	30-34歳	会社が少ない
217	平戸南部地区	女性	30-34歳	子育てしつつ働きやすい職場が少ない
218	平戸南部地区	女性	35-39歳	職種、職場が限られ、長く続けたいと思えるような職に出会える機会も少ないと感じる。
219	平戸南部地区	女性	35-39歳	給料が安いので、子供を大学まで行かせることが難しい。
220	平戸南部地区	女性	35-39歳	南部地区の職場が少ない。車が運転できないと厳しい。(送迎バスがあれば・・・?)
221	平戸南部地区	女性	35-39歳	えらべない
222	平戸南部地区	女性	40-44歳	職場が少ない。交通の便が悪い。
223	平戸南部地区	女性	40-44歳	働きやすい仕事が少ない。
224	平戸南部地区	女性	40-44歳	平戸の南部に行くにつれて職場も少なくなり、資格(看護師や介護士など)を持ってないと働く場所がない環境なので厳しいと思う。 北部方面に仕事に行きたくても距離がありすぎて通勤が厳しい。
225	平戸南部地区	女性	45-49歳	平戸は自然ゆたかで住んでいて気持ちが良い。しかし仕事や医療に対して不満は多い。第一次産業は頑張っているが手厚い支援がないと続けられない。(熱油高、機械の高騰など)。だからと言って熊本TSMCのように大企業を建設しても、せっかくの豊かな自然が汚染されることが分かりだした。未来の平戸のことを思えば観光も大切だが、今の仕事の継続と新しい仕事のチャンスを応援してくれるとよい。

■問7 平戸市は働き続けることができる環境にあると思わない理由

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
226	平戸南部地区	女性	45-49歳	職場が少なく、賃金が安い。
227	平戸南部地区	女性	45-49歳	職場が少ない。
228	平戸南部地区	女性	45-49歳	職場が少なく選択することができない。公共機関が整っていない。車を持っていないと働くことができない。
229	平戸南部地区	女性	45-49歳	企業が少ない
230	平戸南部地区	女性	50-54歳	職場が少ない。
231	平戸南部地区	女性	50-54歳	職場が少ない、職種が限られている。
232	平戸南部地区	女性	50-54歳	職業を選ばないと、パートとかもあるけど、自分がやりたい職業を選ぶなら、平戸を出ないといけない。
233	平戸南部地区	女性	55-59歳	職場がない。
234	平戸南部地区	女性	55-59歳	地域によっては不便が多い。スーパー、職場の交通の便、子供の預けるところもなくなってきていると思う。
235	平戸南部地区	女性	55-59歳	車がないと職が限られる。仕事も少なく…。先が少し不安です。
236	平戸南部地区	女性	55-59歳	若い人が全くいない。30～40代が少なく、結局10～20代に教えることになるが、年が離れてすぎていてコミュニケーションも難しい。
237	平戸南部地区	女性	55-59歳	建物が古い。古い建物が多いから、暗い印象がぬぐえない。視覚的に暗いから気分も上がらない。
238	平戸南部地区	女性	55-59歳	希望する職種の職場に限りがある。
239	平戸南部地区	女性	55-59歳	職場まで距離があったり、賃金が安い。
240	平戸南部地区	女性	55-59歳	人口減少、高齢化、職場、求人が無い。待遇、給料が安すぎ生活が成り立たない。収入を得るため、働くため、平戸市から出ざるをえない。
241	平戸南部地区		40-44歳	働く場所、環境が限られている。(働く職種が少ない)
242	生月地区	男性	25-29歳	職場が少ない
243	生月地区	男性	30-34歳	賃金が安い。
244	生月地区	男性	30-34歳	職の選択肢が少ない
245	生月地区	男性	40-44歳	職場が少ないため人口減少。
246	生月地区	男性	40-44歳	バス代が高く、通学に一人二万円以上かかる。
247	生月地区	男性	45-49歳	職の種類がない。
248	生月地区	男性	45-49歳	職場が少ない。
249	生月地区	男性	45-49歳	職場が少ない。
250	生月地区	男性	50-54歳	給料が安い。そのくせ住民税等、税金はあがるばかり。
251	生月地区	男性	50-54歳	人口の減少。
252	生月地区	男性	50-54歳	職場が少ない。
253	生月地区	男性	50-54歳	他市に職場を求めないといけない環境(多種多様な安定した職場が無い)
254	生月地区	男性	50-54歳	職場が少ない。賃金が安い。
255	生月地区	男性	55-59歳	働くところが無い。
256	生月地区	男性	55-59歳	職場が少なく、給料も安い。
257	生月地区	男性	55-59歳	年をとっても働き続けるには過酷な環境と思う。
258	生月地区	男性	55-59歳	職場が少ない。働き方に関する考えが古い。
259	生月地区	男性	55-59歳	職場が少ないし、働く環境が整っていないと思います。
260	生月地区	男性	55-59歳	仕事が無い
261	生月地区	女性		職場が少ない。
262	生月地区	女性		若い子が働くには職場がないし、あっても南部地区から遠い！！
263	生月地区	女性		賃金の低さ
264	生月地区	女性		職場が少ない
265	生月地区	女性		したい職種がない
266	生月地区	女性	25-29歳	職場が少ない
267	生月地区	女性	30-34歳	職種が少なすぎる。持っている資格など活用できないことある。
268	生月地区	女性	30-34歳	職場が少ない
269	生月地区	女性	30-34歳	車の免許がないと仕事にいけないことが多い。
270	生月地区	女性	35-39歳	20代～30代の人間が働き続けられるような職場が少なすぎる。
271	生月地区	女性	35-39歳	職場が少ない。同業種の職場の選択肢が少ない。職場まで遠い。
272	生月地区	女性	40-44歳	職場が少ない。

■問7 平戸市は働き続けることができる環境にあると思わない理由

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
273	生月地区	女性	40-44歳	働く職場が少ない
274	生月地区	女性	40-44歳	選べる職種も少なく、社会保険の整備、賃金が安い。有給をつかいたくても人手不足でシフト以外休めない。
275	生月地区	女性	45-49歳	職場が少なく、大企業がない。
276	生月地区	女性	45-49歳	仕事がない。人口減少。少子化。過疎化。地域に魅力がない。
277	生月地区	女性	45-49歳	平戸市以外に良い条件の仕事場があれば移動する
278	生月地区	女性	50-54歳	職場が少ない。
279	生月地区	女性	50-54歳	仕事の選択肢が少なすぎる。給料が安すぎる。
280	生月地区	女性	50-54歳	職場が少なく、雇用もない。
281	生月地区	女性	50-54歳	給料が低い。保育士、介護士の給料を上げてほしい。高くなければ続けることができない。
282	生月地区	女性	50-54歳	職場が少ない。
283	生月地区	女性	50-54歳	働ける職場が少ない。車がないと働きに行けない。
284	生月地区	女性	50-54歳	職場が少なく賃金が安い。
285	生月地区	女性	50-54歳	給料が他市町村と比べて低い気がします
286	生月地区	女性	50-54歳	職場が少ない、給与水準が低い、リモート勤務等が出来る職場が無い
287	生月地区	女性	50-54歳	職場が少ない
288	生月地区	女性	50-54歳	職場が少ないと思う
289	生月地区	女性	50-54歳	職場が少ない
290	生月地区	女性	55-59歳	選べる職場もあまりないし、顔見知りばかりで働きづらい。
291	生月地区	女性	55-59歳	他地区から転勤(学校)で来ているのでよくわからないが、仕事が少ないように感じる。
292	生月地区	女性	55-59歳	賃金の低さ、職場の少なさ、年功序列・男尊女卑の浸透率の高さ。
293	生月地区	女性	55-59歳	人口減少により会社の存続ができるか不安。
294	生月地区	女性	55-59歳	職種が限られるし、賃金も安い。また、若い人が働きたいと思う職場及び職種が少なすぎる。
295	生月地区	女性	55-59歳	選択肢が少なく、低賃金だと感じる。
296	生月地区	女性	55-59歳	人口が減っているため。
297	生月地区	女性	55-59歳	産婦人科の病院が無い。 企業が少ない。 飲食店等充実していない。
298	生月地区	女性	55-59歳	職場も少なく、賃金も低い。
299	田平地区	男性		職種(場)が少ない。給料も安い。
300	田平地区	男性	25-29歳	近くで働きたくても職がなく、車で30分以上通勤にかかる。定年退職しても、近くに働ける所がない。
301	田平地区	男性	25-29歳	給料が低い
302	田平地区	男性	30-34歳	公共機関が充実していないので、通勤が難しい。
303	田平地区	男性	30-34歳	希望の職場が少ない
304	田平地区	男性	30-34歳	職場が少ない、賃金が安い
305	田平地区	男性	35-39歳	職場がない。
306	田平地区	男性	35-39歳	職場が少ない。給料が安い。
307	田平地区	男性	35-39歳	給与水準が低い
308	田平地区	男性	35-39歳	魅力的な職場、企業が少なく感じる。
309	田平地区	男性	35-39歳	給与が低い 職場少ない 補助金などが不十分
310	田平地区	男性	35-39歳	近隣の小児科が少ない。産婦人科も市内にない。
311	田平地区	男性	35-39歳	給料が安く、子供が減っていく一方で未来がない気がする。
312	田平地区	男性	35-39歳	産業の乏しさと低賃金、保育園・学校のPTAや自治会等の半強制等もありますが、そもそも人口減によるマーケットが小さく、こと物販業者においては、スーパー以外、地域の実店舗を利用する人が少ないのではないかと感じます。
313	田平地区	男性	35-39歳	子育て中の職場の働き方の選択肢がない。
314	田平地区	男性	40-44歳	建設業の仕事が現状維持できるかわからない(発注量)。
315	田平地区	男性	40-44歳	職場が少なく、賃金が安い。

■問7 平戸市は働き続けることができる環境にあると思わない理由

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
316	田平地区	男性	40-44歳	賃金が安い。職場が少ない。子供の行事・体調不良時などで休みを取りづらい。
317	田平地区	男性	40-44歳	職場も少なく、少子高齢化も進んでいるから。
318	田平地区	男性	40-44歳	職場が少ない。
319	田平地区	男性	40-44歳	工場など企業が入りやすい場所や道が整っていないので仕事探すのは平戸市外とかになってしまう
320	田平地区	男性	40-44歳	信用できる病院がない 産婦人科がない
321	田平地区	男性	40-44歳	働ける産業が不足
322	田平地区	男性	45-49歳	県外に出た子供が働くところが少ない、給料が安い等で帰って来れない。
323	田平地区	男性	45-49歳	働く場所も少なく、業種が限られている。
324	田平地区	男性	45-49歳	職場が少ない。
325	田平地区	男性	50-54歳	賃金が安い。職場が少ない。
326	田平地区	男性	50-54歳	通勤手段が自力(自家用車)でしか職場に行くことができない。多様な方々の選択肢が限られる。また、職場外交流の場も年々少なくなっている。
327	田平地区	男性	50-54歳	職場が少ないと思います。
328	田平地区	男性	50-54歳	給料が安い。法令順守している会社が少ない。パワハラが横行しているため、安心して働けない。雇用主の都合で仕事を休みにさせられる。
329	田平地区	男性	50-54歳	職場が少なく給料が安い。
330	田平地区	男性	50-54歳	職場が少ないような気がします。
331	田平地区	男性	50-54歳	過疎化、限界集落→住み続けるのが困難。働く場所がない。
332	田平地区	男性	50-54歳	古い体質の職場が多く従業員を働かせてやっている、仕事を与えてやっているという考えの経営者が多い。 求人数もほとんど無く、そもそも市役所でもコネクションによる雇入れが残っている黒い状態で、少しでも良い環境を求めるなら都市圏(福岡、熊本)かそれより大きい場所に行くのは当たり前と思う。
333	田平地区	男性	50-54歳	人口減少が進む中、持続的に働けそうな職場が少なそう。また、若者が魅力を感じて就きたいと思う業種が少なそう。
334	田平地区	男性	55-59歳	給料が安い。
335	田平地区	男性	55-59歳	離島においては働く場所がない。
336	田平地区	男性	55-59歳	職場が少ない。雇用も少ない。
337	田平地区	男性	55-59歳	人口減少、景気悪し、所得低い、
338	田平地区	男性	55-59歳	魅力的な仕事が少ない
339	田平地区	女性	20-24歳	働く場所が少ない
340	田平地区	女性	25-29歳	働く場所が少ない
341	田平地区	女性	25-29歳	職場が少ない、賃金が安い
342	田平地区	女性	25-29歳	子どもが少なくなっているから。
343	田平地区	女性	30-34歳	子どもを預ける場所、仕事、収入、どれも我慢して妥協して暮らさなければならぬ。
344	田平地区	女性	30-34歳	給料が安い。
345	田平地区	女性	30-34歳	平戸市自体の経済がないので、職場が活気がない。
346	田平地区	女性	30-34歳	職場が少ない。
347	田平地区	女性	30-34歳	保育士なので 子どもが少なくずっと働けるのか不安
348	田平地区	女性	30-34歳	移住民には不向き。 周りが知り合いばかりで馴染めない。 賃金が最低賃金。
349	田平地区	女性	30-34歳	子供を預ける環境が整っていない。
350	田平地区	女性	35-39歳	人口減少、働き手の減少、高齢化に伴い、医療職であるが現場の負担が非常に大きくなっている。人員不足はこの職種も同じですが。
351	田平地区	女性	35-39歳	職場が少ないのと、賃金が低い時給の場合、最低賃金がほとんど。また、最低賃金を払っていない事業者もあると聞く。

■問7 平戸市は働き続けることができる環境にあると思わない理由

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
352	田平地区	女性	35-39歳	地方では人材不足、人手不足が深刻なため、負担が大きいわりに低賃金。子供が小さいときは実家の近くがいいが、ある程度大きくなれば都市部の方が職は選べるし子供の学校の選択肢が増えるので
353	田平地区	女性	35-39歳	仕事が少ない、病児保育がない
354	田平地区	女性	35-39歳	良い病院がない。(小児科も緊急時の対応ができてない)長生きできない。子供が大人になったら近くにいてほしいが、働く場所もないしオススメできない。
355	田平地区	女性	40-44歳	平戸で働いていないのでわからない。
356	田平地区	女性	40-44歳	職場が少ない。
357	田平地区	女性	40-44歳	同じ地域で子育て世代が多い職場は学校行事等重なることが多い為休みが取りにくい
358	田平地区	女性	40-44歳	雇用が少ない
359	田平地区	女性	45-49歳	職場が少ない。
360	田平地区	女性	45-49歳	給与水準が低い
361	田平地区	女性	45-49歳	障害者が働ける場所が少ない
362	田平地区	女性	45-49歳	仕事の選択肢が少ない
363	田平地区	女性	45-49歳	職場が少ない。賃金が安い。
364	田平地区	女性	45-49歳	子供を預ける環境が足りていない
365	田平地区	女性	45-49歳	賃金が低く、企業が少なく交通面が、悪いから
366	田平地区	女性	45-49歳	女性が正社員として安定して働ける職場が少ないように見える。
367	田平地区	女性	50-54歳	働く場所がそもそもない！！
368	田平地区	女性	50-54歳	職場が少ない。
369	田平地区	女性	50-54歳	職場が少ないと思う。自分は漁業で魚が少なくなっているの、子供を残したいとは思わない。
370	田平地区	女性	50-54歳	職場が少ない。
371	田平地区	女性	50-54歳	職場が少ない。給料が安い。
372	田平地区	女性	50-54歳	職場が少ない
373	田平地区	女性	50-54歳	市全体の職種が少ない シニアの働く場所が少ない
374	田平地区	女性	50-54歳	若い子が働き続けれる職場が少ない。
375	田平地区	女性	50-54歳	子供を預けるところがない 給料が少ない
376	田平地区	女性	50-54歳	職場がない
377	田平地区	女性	55-59歳	職場も少なく、子育て世代はやりにくい。
378	田平地区	女性	55-59歳	働く仕事が少ない。給料も少ない。
379	田平地区	女性	55-59歳	職場が少ない。
380	田平地区	女性	55-59歳	企業が少なく、賃金が安い。
381	田平地区	女性	55-59歳	働ける環境が少ない。朝が早い夜が遅い等、子供がいる家庭には難しい職場(ホテル業など)は求人も多いがちょうどよい時間帯(9、10時～15、16、17時ぐらい)の求人は少ない。働きたくても働けないという時期があった。
382	田平地区	女性	55-59歳	職種が少ない。
383	田平地区	女性	55-59歳	給料が安い、職場が少ない
384	田平地区	女性	55-59歳	従業員の高齢化 新規就業者がいない。
385	田平地区	女性	55-59歳	働きたいと思う職場がない
386	田平地区	女性	55-59歳	賃金が安いのに仕事内容が手間がかかります働き方が、まとまりない。働く人をそのきにさせない。
387	田平地区	女性	55-59歳	職場環境が整っていない。人材不足負担が多い 公的機関、銀行など仕事を休んで行かないと行けない。飲食店も少なく交通手段も限られている。
388	大島地区	男性		離島が多いのに本土での就業で本土の方と同じ条件を突きつけられる。台風前より本土での待機、宿泊費・食費は自分持ちなど。
389	大島地区	男性	55-59歳	賃金は安い、家賃が高い。
390	大島地区	女性	50-54歳	職場が少ない。
391	大島地区	女性	50-54歳	人口が減っていくと働き手・働く場所がなくなっていくと思う。

■問7 平戸市は働き続けることができる環境にあると思わない理由

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
392	大島地区	女性	50-54歳	人口が減り続けている。活力がない。これから住み続けることは危険と思っている。
393	大島地区	女性	55-59歳	職場の選択数が少ない。子供が急な病気の時など預けたりできる環境にない(実家が平戸ではないこともあり)。
394	大島地区	女性	55-59歳	身内で固めた環境なので！！
395	度島地区	男性	20-24歳	職場が少ない。
396	度島地区	男性	35-39歳	人がいない。
397	度島地区	男性	40-44歳	賃金が低すぎる。
398	度島地区	男性	45-49歳	人口減少、職種が減ってきていて限られる。
399	度島地区	男性	50-54歳	職場が少ない、選択出来る企業がない
400	度島地区	男性	55-59歳	人口減少が加速して行き経済が縮小多くの市民の所得減りすぽんでいき需要が減る負のスパイラルが加速して行く
401	度島地区	女性		企業が少なく、給与が少ない。
402	度島地区	女性	40-44歳	土日や夜間、子どもを預けるところがない
403	度島地区	女性	45-49歳	以前は平戸市内で勤めていたが、職場が企業縮小のためなくなり、十数年前から佐世保で仕事をしている。
404	度島地区	女性	45-49歳	職場が少ない
405	度島地区	女性	50-54歳	平戸には企業がほぼない。中小、零細企業は我が身で精いっぱい。未来を作る会社はごく一部なので、若年層が平戸に就職しようと思っていない。(選択肢に入っていない)
406	度島地区	女性	50-54歳	売上が少ない。
407	度島地区	女性	50-54歳	職場が豊富にないと思う

■問10 安心して妊娠・出産・育児できるような環境・社会にするための取組(その他)

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
1	平戸北部地区	男性	25-29歳	子供を遊ばせる場所がない。親子でゆっくり買い物する場所がない。
2	平戸北部地区	男性	30-34歳	産前が大変です。佐世保・伊万里に行くのに今の交通費助成は少ない。
3	平戸北部地区	男性	30-34歳	産婦人科がないのが非常に不安。
4	平戸北部地区	男性	40-44歳	休日保育や病児保育の充実。
5	平戸北部地区	男性	45-49歳	園児、児童、生徒になるにつれて減少していくことによる保護者の負担増が見込まれる。
6	平戸北部地区	男性	45-49歳	給食費の無償化等、子育て世帯への補助政策
7	平戸北部地区	男性	50-54歳	病気の時にかかる病院がない。
8	平戸北部地区	男性	50-54歳	子育て出来る環境は、働く場所があつてからこそ築きあげられることだと思う。育児休暇後の職場復帰が出来る環境整備も同時に必要
9	平戸北部地区	女性	30-34歳	小中学生が安全に遊べる施設の充実。
10	平戸北部地区	女性	30-34歳	小児科の選択肢が欲しい。安心して子どもの医療が受けられる環境とは言えない
11	平戸北部地区	女性	35-39歳	医療費の助成。1. に関して、まずは保育士の給料を上げるべき。内容の充実は働いてくれる保育士がいてできることであり、市長や公務員がどうこう言うてできることではありません！
12	平戸北部地区	女性	35-39歳	産婦人科、市内にほしい！！
13	平戸北部地区	女性	40-44歳	妊娠出産にはやや不安な環境だと思うが(産婦人科が近くにないなど)平戸は地震も少なく大きな災害が幸いなことに少ない(全国的に見て)と感じるので(今後はどうなるかわからないが)また自然に囲まれたのびのびと育児はできると思うので、それらを活かした何かがあったらいい。
14	平戸北部地区	女性	40-44歳	正直意識したことがないので分かりませんが、あらゆる費用負担を減らしてあげること、育児をしながら働きやすい変則型の雇用条件を受け入れる場所が増えるといいかとは思います。
15	平戸北部地区	女性	45-49歳	休日、夜間など小児が受診できる病院、医療機関の充実。
16	平戸北部地区	女性	45-49歳	医療費の無料
17	平戸北部地区	女性	50-54歳	地域で子育てができる仕組みを整える。
18	平戸北部地区	女性	50-54歳	医療機関の充実。
19	平戸北部地区	女性	50-54歳	教育や習い事の資源が限られており、市外への進学にはお金がかかる。
20	平戸北部地区	女性	50-54歳	10年前と比べると、子育てしやすい職場にはあると思う。
21	平戸北部地区	女性	50-54歳	手当などの充実。
22	平戸中部地区	男性	45-49歳	国の政策のみに終わらず平戸市独自の取り組みがいる。
23	平戸中部地区	男性	55-59歳	産婦人科の病院がないので、不便だと思います。
24	平戸南部地区	男性	30-34歳	夜間保育の拡充。
25	平戸南部地区	男性	35-39歳	核家族世帯での子育てをするにはもっと助成金を出した方がいいと思う。
26	平戸南部地区	男性	55-59歳	低所得者等の支援。
27	平戸南部地区	男性	55-59歳	安心して子育てできる仕事場を作ること。
28	平戸南部地区	女性	35-39歳	あちこちで上記のことをするのではなく、一つの場所に充実していると利用しやすい。
29	平戸南部地区	女性	40-44歳	相談窓口の一本化。療育や医療的ケア児へのサービス充実。近くでケアを受けられる環境が整う。
30	平戸南部地区	女性	40-44歳	こども園など育児は比較的恵まれた環境にあるが、妊娠出産となると医療機関までの距離が遠すぎて不安。五島などはオンラインで妊婦健診ができるときいているので、そのような仕組みがあってもいいと思う。
31	平戸南部地区	女性	45-49歳	南部地区に公園がない。
32	平戸南部地区	女性	55-59歳	産婦人科は無理でも助産師やアドバイザーによる平戸での相談窓口(トコトコのようなもの)を充実してほしい。

■問10 安心して妊娠・出産・育児できるような環境・社会にするための取組(その他)

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
33	平戸南部地区		40-44歳	子育ての環境の前に人口増だと思ふ。もっと若者たちが離れない環境が必要。
34	生月地区	男性	50-54歳	学費等補助。
35	生月地区	女性	35-39歳	経済的配慮。
36	生月地区	女性	40-44歳	親子で利用できる施設等の充実(室内施設)
37	生月地区	女性	50-54歳	私にはわからない。
38	生月地区	女性	55-59歳	上記は全て大切なことと思います。若い子育て世代の自由な意見をくみ取れる場所から話を伺って、足りていない必要な事柄から取り組んでいただきたいです。
39	田平地区	男性	30-34歳	小児科を増やす。夜間も対応できるようにしてほしい。佐世保まで行くことになる。夜間も佐世保の病院を紹介されるケースがある。
40	田平地区	男性	35-39歳	小学生以上の児童に対する給食のアレルギー対応の改善(保育園はできている)。
41	田平地区	男性	35-39歳	病児保育所の設立。
42	田平地区	男性	35-39歳	医療の充実
43	田平地区	男性	35-39歳	給与が低いため、子供を作る選択肢を持ってない。
44	田平地区	男性	35-39歳	PTA等の半強制を規制する、産婦人科等を誘致する、子供手当等のさらなる拡充。
45	田平地区	男性	40-44歳	メリッタキッズのような屋内でも遊べる施設があるといいです。
46	田平地区	男性	50-54歳	兵庫県明石市の政策を参考にする。
47	田平地区	男性	55-59歳	民間の地元の会社では育休の期間、休業補償等が大手企業・公務員の様に規定がない。あったとしても休んでいる間の補充人員がない等で育休も長く取れない企業が多いと聞く。
48	田平地区	男性	55-59歳	賃金が安い。
49	田平地区	女性	30-34歳	保育園などに預けられない(発熱等)場合の託児所などあればうれしい。
50	田平地区	女性	30-34歳	病児保育が必要
51	田平地区	女性	30-34歳	病児保育、24時間体制の小児科の設置
52	田平地区	女性	35-39歳	子供がいないのでわからない。添付資料だけではどの程度市民の役に立っているかわからない。
53	田平地区	女性	35-39歳	日曜保育。
54	田平地区	女性	40-44歳	学童クラブ利用料が高い。お弁当はできるだけ準備したくない。どこのおうちもほぼ共働き。専業主婦ならお弁当作れるでしょうが……。毎朝5時起きにお弁当は4時起きになりますが……。給食ありがとうございます！
55	田平地区	女性	45-49歳	小児科の充実。
56	田平地区	女性	55-59歳	出産・育児を安心してできる環境とは、犯罪などのない平和な環境、出産・育児にかかる費用を十分まかなえる経済力、そして周囲の理解や協力が豊かにある事等を意味していると思います。そして、それらを整えるには厳しいですが、地域社会の人々の道徳性の向上が欠かせないと思います。感情移入や他者への敬意などを住んでいる人々の心に育むような取り組みやそれを基盤として、経済の活性化を図る取り組みが必要と考えます。

■問13 女性が希望する雇用の場の創出について具体的な職種など

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
1	平戸北部地区	男性	25-29歳	短時間でも充実した仕事ができる場所。
2	平戸北部地区	男性	25-29歳	事務
3	平戸北部地区	男性	25-29歳	医療、介護関係
4	平戸北部地区	男性	25-29歳	事務、アパレル、イラストレーター、デザイナー、カフェ
5	平戸北部地区	男性	30-34歳	販売(ハンドメイド、小売店、インターネットを含む)
6	平戸北部地区	男性	30-34歳	市役所職員
7	平戸北部地区	男性	30-34歳	女性対象にアンケートを取るべきだと思います。
8	平戸北部地区	男性	35-39歳	給与の高い事務職
9	平戸北部地区	男性	40-44歳	事務
10	平戸北部地区	男性	40-44歳	事務、技術職
11	平戸北部地区	男性	40-44歳	大卒の女性に見合った事務系の職場
12	平戸北部地区	男性	45-49歳	事務職
13	平戸北部地区	男性	45-49歳	企業のフルリモート
14	平戸北部地区	男性	45-49歳	カフェやネイルサロン
15	平戸北部地区	男性	45-49歳	事務や営業、専門職
16	平戸北部地区	男性	45-49歳	デザイナー、キャリアコンサルタント、DTPオペレータ、教師、塾講師など
17	平戸北部地区	男性	50-54歳	技能職、営業、イベント
18	平戸北部地区	男性	50-54歳	会社員
19	平戸北部地区	男性	50-54歳	事務職、介護職
20	平戸北部地区	男性	55-59歳	機材オペレーター、技術職など。
21	平戸北部地区	男性	55-59歳	いろんな業種の事務職、特に交流人口の確保につながる職種
22	平戸北部地区	男性	55-59歳	事務
23	平戸北部地区	男性	55-59歳	事務
24	平戸北部地区	女性	20-24歳	エンジニア
25	平戸北部地区	女性	25-29歳	事務、パート、アルバイト
26	平戸北部地区	女性	25-29歳	事務
27	平戸北部地区	女性	25-29歳	専門職や営業など
28	平戸北部地区	女性	25-29歳	飲食業
29	平戸北部地区	女性	25-29歳	営業、エンジニア
30	平戸北部地区	女性	25-29歳	接客業、内職、アパレル
31	平戸北部地区	女性	35-39歳	事務・営業・サービス業
32	平戸北部地区	女性	35-39歳	事務
33	平戸北部地区	女性	40-44歳	事務職。他にも女性が働きやすい仕事。
34	平戸北部地区	女性	40-44歳	全てにおいて
35	平戸北部地区	女性	40-44歳	全職種(性差による得手不得手はあると思うが、男女関係なく就くことができるようすべき)
36	平戸北部地区	女性	40-44歳	正規雇用
37	平戸北部地区	女性	40-44歳	接客業以外。女性に限りませんが、家族を支える立場にある労働者が多いため、勤務時間にある程度の自由がある職種の方がよいと思います。
38	平戸北部地区	女性	40-44歳	職種でなく、時間(短時間)、リモートワーク等の柔軟な勤務形態なのかと思っています。
39	平戸北部地区	女性	40-44歳	職種というよりは、企業誘致と、女性が働きやすい環境を提供する
40	平戸北部地区	女性	45-49歳	個人が持っている資格等が活かせる雇用の場。
41	平戸北部地区	女性	45-49歳	医療職、接客業、テーマパークダンサー、力仕事ではなく危険でもない仕事。
42	平戸北部地区	女性	45-49歳	マーケティング コーディネーター
43	平戸北部地区	女性	45-49歳	事務
44	平戸北部地区	女性	50-54歳	ファッション関係のお店など

■問13 女性が希望する雇用の場の創出について具体的な職種など

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
45	平戸北部地区	女性	50-54歳	事務職
46	平戸北部地区	女性	50-54歳	看護師
47	平戸北部地区	女性	50-54歳	技術職
48	平戸北部地区	女性	55-59歳	事務職、販売員
49	平戸北部地区	女性	55-59歳	縫製業、ブライダル
50	平戸北部地区	女性	55-59歳	事務、在宅の職種
51	平戸北部地区	女性	55-59歳	全て
52	平戸北部地区	女性	55-59歳	技術職
53	平戸北部地区	女性	55-59歳	観光業、美容関係、パソコンを使った仕事、市の臨時職員等
54	平戸中部地区	男性	30-34歳	事務、営業
55	平戸中部地区	男性	45-49歳	エンジニア
56	平戸中部地区	男性	45-49歳	パートタイマーに対しての対応の充実化。
57	平戸中部地区	男性	55-59歳	営業、事務
58	平戸中部地区	男性	55-59歳	業種等選択肢が多くなれば良いと思う。
59	平戸中部地区	男性	55-59歳	営業、事務、エンジニア等、男性と同じ職種
60	平戸中部地区	男性	55-59歳	固定的な職種ではなく個々希望する職種
61	平戸中部地区	女性	30-34歳	事務
62	平戸中部地区	女性	30-34歳	営業(十分な賃金)
63	平戸中部地区	女性	35-39歳	工場など流れ作業。
64	平戸中部地区	女性	50-54歳	オフィスレディ ict
65	平戸中部地区	女性	50-54歳	事務
66	平戸中部地区	女性	50-54歳	子育てしやすい職場環境が整った職場
67	平戸南部地区	男性	35-39歳	事務
68	平戸南部地区	男性	40-44歳	介護士、看護師、事務
69	平戸南部地区	男性	45-49歳	事務
70	平戸南部地区	男性	45-49歳	企業の電話受付オペレーターセンターなどの誘致
71	平戸南部地区	男性	55-59歳	エンジニア
72	平戸南部地区	女性	30-34歳	サービス業
73	平戸南部地区	女性	35-39歳	出産しても働きやすい職場。
74	平戸南部地区	女性	40-44歳	安定した企業で福利厚生がしっかりしている、給料も十分であれば職種は関係ないのでは？とにかく働く選択肢が少ない事が問題。
75	平戸南部地区	女性	40-44歳	事務(医療事務、調剤事務)
76	平戸南部地区	女性	45-49歳	事務、企画
77	平戸南部地区	女性	50-54歳	システムエンジニア・加工業
78	平戸南部地区	女性	55-59歳	9:00~5:00、土日休みの雇用を整える。
79	平戸南部地区	女性	55-59歳	職種にこだわらず、雇用出来る企業を増やすべきだと思う。
80	平戸南部地区	女性	55-59歳	医療、福祉関連の待遇改善、雇用増員
81	生月地区	男性	45-49歳	事務
82	生月地区	男性	55-59歳	高齢者、子供と接する仕事。
83	生月地区	女性	18-19歳	サービス業
84	生月地区	女性	18-19歳	ヘアメイクアーティスト
85	生月地区	女性	25-29歳	事務など
86	生月地区	女性	40-44歳	人それぞれ希望は違うと思う。
87	生月地区	女性	50-54歳	全て
88	生月地区	女性	50-54歳	在宅での仕事など出勤に縛られない勤務体制
89	生月地区	女性	50-54歳	職種は問わず(適正のある人が男性のみの職場と言われるところにも入れるように)
90	生月地区	女性	50-54歳	事務
91	生月地区	女性	55-59歳	事務

■問13 女性が希望する雇用の場の創出について具体的な職種など

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
92	田平地区	男性	25-29歳	事務
93	田平地区	男性	30-34歳	事務、営業
94	田平地区	男性	35-39歳	販売員(カフェ店員)など、都会でしか経験できなさそうな職種
95	田平地区	男性	35-39歳	歯科衛生士
96	田平地区	男性	35-39歳	自宅でも働けるウェブデザインなど
97	田平地区	男性	35-39歳	事務職のイメージですが、そもそも職種以前に産業誘致等による業種(選択肢)拡大が必要ではないでしょうか。大企業の支社、支店などがあれば魅力的であると感じます。
98	田平地区	男性	40-44歳	将来の夢とかでパティシエとか言われてる子供が多かったけどなかなかその環境で仕事出来るところが厳しいと思いました。
99	田平地区	男性	45-49歳	女性の希望を聞いた方が良いと思う
100	田平地区	男性	50-54歳	半導体産業(工場)
101	田平地区	男性	50-54歳	それは若い女性に聞くべきで、何をしたいか何ものにしたいかは本人しかわからない。
102	田平地区	男性	50-54歳	リモートワークができる職種(デザイン、企画提案など)
103	田平地区	男性	55-59歳	IT。パソコンを利用した在宅ワークなど。
104	田平地区	男性	55-59歳	進学を大学・専門学校などする方が多く、学んだキャリアを活かせる場(会社)があると良い。
105	田平地区	女性	20-24歳	事務
106	田平地区	女性	30-34歳	看護師
107	田平地区	女性	30-34歳	医療職関係
108	田平地区	女性	35-39歳	事務
109	田平地区	女性	40-44歳	事務 接客業 サービス業
110	田平地区	女性	45-49歳	事務、エンジニア
111	田平地区	女性	45-49歳	事務
112	田平地区	女性	45-49歳	事務
113	田平地区	女性	45-49歳	広告代理店、金融業、
114	田平地区	女性	50-54歳	自営業
115	田平地区	女性	50-54歳	職種はわからないが在宅ワークで働ける仕事
116	田平地区	女性	50-54歳	女性の経験をいかした職種
117	田平地区	女性	55-59歳	ITエンジニア
118	田平地区	女性	55-59歳	リモートワーク
119	大島地区	男性	45-49歳	コールセンター、研究機関
120	大島地区	男性	50-54歳	事務
121	大島地区	男性		事務職等の増加が見込める企業誘致。
122	大島地区	女性	40-44歳	事務 販売 医療
123	度島地区	女性	50-54歳	事務職、介護職
124	度島地区	女性	55-59歳	島は仕事が少ない。ナース、事務。

■問13 若い女性の定着を図るための取組(その他)

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
1	平戸北部地区	男性	20-24歳	年配の方は仕事を辞めてほしい。
2	平戸北部地区	男性	25-29歳	中学生や高校生の女性にどんな町がよいか聞く環境。
3	平戸北部地区	男性	30-34歳	各企業の賃金の増加、上司の若返り。
4	平戸北部地区	男性	30-34歳	郊外型商業施設が近くない、交通の便が悪い事で嫌厭されやすいのではと思います
5	平戸北部地区	男性	40-44歳	街の賑わい。若い女性が住みたくなるおしゃれな街に。
6	平戸北部地区	男性	45-49歳	ウォーターフロント化、商業施設誘致などの都市化。
7	平戸北部地区	男性	45-49歳	住みたい魅力
8	平戸北部地区	男性	45-49歳	若者が出たいと考えるのは都会で生活したいと考えが多いと思うので行政がどうしても止められるとは思わない
9	平戸北部地区	男性	50-54歳	安心して子供が産める場所。給食の無料化。
10	平戸北部地区	男性	50-54歳	若い女性だけではなくて、若い人。
11	平戸北部地区	男性	50-54歳	上記にあげられる項目は、目標を掲げているだけで、目的を達成できるものとは思えない。仮にケーキ屋さんで働きたいと思ってもケーキの消費率が市内だけでは少ないので、ネット通販を主として製造する会社などが必要、ゴディバの工場とかあれば働きたいと思う女性はいると思う。リンガーハットの工場や、釣具メーカーの工場など、農水産業を活かした工場の誘致が必要。今から道路も整備され流通も良くなるし、地震津波災害の被害も少ない立地を売りに企業誘致をするべき、5000人雇用を目標にするべき、未来の夢の島に出来ないことはない。自衛隊の平戸基地も人口を増やす為には必要だし、水産大学や福祉医療大学の創立とかも若者を取り入れる為には必要
12	平戸北部地区	男性	50-54歳	都市部への流失は何をしても止まらないと思う。
13	平戸北部地区	男性	55-59歳	イケてる要素が少なすぎ。
14	平戸北部地区	女性	20-24歳	産婦人科等子どもを産み育てる環境を整える
15	平戸北部地区	女性	25-29歳	若者は生活する上での便利さから都会へ行っている。利便性の高い暮らしができる環境が必要だと思う。
16	平戸北部地区	女性	25-29歳	平戸に商業施設を作りショッピングやゲームなど楽しめる場所が必要かと思います
17	平戸北部地区	女性	35-39歳	職場内でも、すぐ噂が流れてくるので、地理的な窮屈感を感じる。
18	平戸北部地区	女性	35-39歳	商業施設を増やす。都会に出なくていい。アパレルショップなど。
19	平戸北部地区	女性	40-44歳	ショッピングしたり、おしゃれなカフェだったり、平戸にいたいと思える魅力的な施設があったり何か…。若い時はキラキラするいろんなことに憧れを抱いていると思うので、平戸にもそんな活気が溢れる何か(それはわからない)が必要なのかと思います。
20	平戸北部地区	女性	40-44歳	出ていくのを止めるより、Uターンを考えた方が良いと思う。
21	平戸北部地区	女性	40-44歳	企業誘致
22	平戸北部地区	女性	45-49歳	昔からある家父長制の風習を変える？あと、夫婦別姓の実現。
23	平戸北部地区	女性	45-49歳	女性の集いの場(ファミレスなど)、高校生等による暮らしやすい町づくり、娯楽施設(ショッピングやファミレス系)
24	平戸北部地区	女性	45-49歳	住宅に関して言えば、平戸は平均収入が低いと言われるのに、とても家賃が高く困っていると言う話を沢山聞きます。これでは住みたくても住めない状況。なんとかならないものか。
25	平戸中部地区	男性	40-44歳	住居のリフォーム等、市内在住者に向けた支援の拡充。
26	平戸中部地区	男性	55-59歳	何もない。魅力がない。市内全体だが特に宮の町周辺の寂れ方がひどい。活気がない。
27	平戸中部地区	女性	35-39歳	若い方々が外にいく事は仕方ないと思いますが、魅力的な場所なので、また都会を経験した後に戻ってきたい！と思えるような女性がチャレンジできる(起業や雰囲気作り)があれば良いと思います。
28	平戸南部地区	女性	30-34歳	給与が少ない
29	平戸南部地区	女性	40-44歳	移住者を受け入れる環境、空き家や土地の賃貸・譲渡に関する手続きの簡便化など。平戸に移住したいがすぐ移り住める家を探すのに苦労しているという声を聞きます。
30	平戸南部地区	女性	50-54歳	男性の収入だけで生活(結婚生活)をできる環境作り。

■問13 若い女性の定着を図るための取組(その他)

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
31	平戸南部地区	女性	50-54歳	田舎は不便、ダサイというイメージの改善。商業施設の充実など。
32	平戸南部地区	女性	55-59歳	子供を預かる体制が当たり前にある環境づくりが必須。
33	平戸南部地区		40-44歳	女性だけじゃなく、若者たちが離れないような環境が必要だと思う。
34	生月地区	男性	45-49歳	県庁を平戸に持ってくる。
35	生月地区	男性	55-59歳	もっと外から人を(男性)を呼び込むべき
36	生月地区	女性	40-44歳	人口減少により町や学校の役員になる割合が増えているため、さらに人口減少につながっている気がします。
37	生月地区	女性	50-54歳	給料安すぎる。税金高すぎる。
38	生月地区	女性	55-59歳	やっぱり子育てするなら平戸だよね！と子育て世代が転入してくれる様な支援がいいですね。
39	田平地区	男性	35-39歳	所得に応じた若者への家賃補助、カフェなどチェーン店の誘致を行い、若者の居場所をつくる
40	田平地区	男性	35-39歳	商業施設の充実。
41	田平地区	男性	35-39歳	公的な婚活パーティー等は税金の無駄遣い・デリカシーがないと感じます。それよりも個人が婚姻を考えるには所得の増加が第一だと思います。所得増加及び婚姻が成立した後のサポート(上記チェック各項目)に注力、アピールするべきではないでしょうか。
42	田平地区	男性	35-39歳	若い女性がいても、ほとんどが男性側の問題の方が大きい方思います。
43	田平地区	男性	40-44歳	女性が定住するにあたって何を求めているのか？ボトムアップからの戦略が必要
44	田平地区	女性	30-34歳	企業を誘致し、職業の選択を増やす。
45	田平地区	女性	30-34歳	アパートで独居でもいい広さの部屋が増えてほしい。
46	田平地区	女性	30-34歳	共働き世帯に対応してほしい。病児保育の開設やドライブスルーができる飲食店、出前など、病気になった時に頼ることができない。
47	田平地区	女性	35-39歳	娯楽施設やショッピングモールなど、気軽に楽しみに行ける場を作る
48	田平地区	女性	40-44歳	・所得が多くなれば、働きたい人も増えるのでは？職業を絞るより、収入の方を考える。都会で働いた方が収入があるから。・婦人会問題。必要なのかどうか…。・若い女性から見て楽しむ場所がない。癒しスポットなど。
49	田平地区	女性	50-54歳	田舎なのに家賃が高い。
50	田平地区	女性	50-54歳	長崎県全体が賃金が安い為、女性と言わず若者の流失は増える一方だと思う。
51	大島地区	女性	20-24歳	もっと若者が寄りたくなるような買い物ができる場所の提供。スタバ・ロフト等。
52	度島地区	男性	35-39歳	高い給料で働ける男性の増加
53	度島地区	男性	40-44歳	多方面からの子供を作り育てる環境のモデルになれるような市にできれば、女性のみならず自然と人は増えると思う。

■問17 「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくりができているかの回答理由

No.	居住地	性別	年齢	「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくり	自由記述
1	平戸北部地区	男性	20-24歳	全くできていない	この事に関係する方々は、県外に目を向けて学ぶべき。
2	平戸北部地区	男性	20-24歳	全くできていない	自分で運転できる今は、病院受診にしる買い物にしる簡単に行けるが、老後はどうすればいいのか不安。
3	平戸北部地区	男性	25-29歳	全くできていない	仕事がない。買い物する場所が少ない(楽しくない)佐世保、福岡まで行っている。平戸で買い物しようと思わない。何もない。遊ぶ場所がない。ほぼコンビニしか行かない。平戸って言った何もないよねって言われる。
5	平戸北部地区	男性	25-29歳	全くできていない	そのような、住みたい住み続けたいと思えるまちづくりをしているようには市民からは見えない。しているのであれば、何をしているのか教えて欲しい。
7	平戸北部地区	男性	30-34歳	全くできていない	イオンモール等の室内で過ごせるショッピングモールがない。子供用品を買う場所がない(西松屋・赤ちゃんホンポ・バースデー等)。平戸保健福祉センター(田平)施設が古すぎる。子育てひろばがあるのに、トイレが汚い。(子供用のトイレやオムツ替えのスペースがない)小児科、子供の病院がなさすぎる。
9	平戸北部地区	男性	30-34歳	あまりできていない	好きだけど、不便だなと感じることが多い
10	平戸北部地区	男性	30-34歳	全くできていない	エレナが田平に移転したので平戸市中心部には大きなスーパー無くなり、市民の方々は不便を感じております。マックバリューのようなチェーン店の誘致をお願いしたいです。また、平戸市にはマンションがないので高さ規制を緩和し、自然の外観を損なわない程度のビル建設を進めて欲しいです。
12	平戸北部地区	男性	30-34歳	あまりできていない	産婦人科がない。習い事などの教育環境が整っていない。
13	平戸北部地区	男性	35-39歳	あまりできていない	平戸大橋の渋滞がひどい。
15	平戸北部地区	男性	35-39歳	全くできていない	家賃が高すぎる 今の平戸で家賃平均6万は異常だと思う
18	平戸北部地区	男性	40-44歳	全くできていない	バランスが悪い
19	平戸北部地区	男性	45-49歳	全くできていない	理由がありすぎて、書けない！問13のアンケートがそもそも間違い。きもちわるい！
20	平戸北部地区	男性	45-49歳	あまりできていない	外から人を呼び込むことに力を入れているが、それだけではなく住民が住みやすい環境を作ることへの取り組みが弱い。溝の蓋が壊れていてもそのまま。カーブミラーが錆びて危ないのにそのまま。三角コーンだけ置かれていてそのまま放置。ケガしてもいいのか？
21	平戸北部地区	男性	45-49歳	全くできていない	人口減少により活気(にぎわい)が全く感じられなくなった。人口減少の一番の理由は何と言っても労力の場を選択できないほどの少なさ。労力の場、雇用の場の拡大を望むばかりである。
22	平戸北部地区	男性	45-49歳	あまりできていない	近い将来を鑑みて「歴史依存の平戸」ではなく、先端的センスを取り入れた臨海都市化、工業地域化を視野に入れたまちづくりを目指してもらいたい。また、若者向けにマリンレジャー、アウトドア、広面積のイベント会場を作り、市外からも平戸に来てもらい、平戸に住んでみたい！！と印象付けも大事と思う。平戸第2大橋の早期着工を願う！！

■問17 「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくりができているかの回答理由

No.	居住地	性別	年齢	「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくり	自由記述
24	平戸北部地区	男性	45-49歳	あまりできていない	どのような取組をしているか、わかりにくい。
25	平戸北部地区	男性	45-49歳	あまりできていない	30年前と変わらない。 生活道路が使いにくく狭い、特に常灯の鼻にあるオランダ館付近の道が危ない、夜は釣り人の車、昼はカメラ持ったままの観光客が車道へ急に飛びだしてヒヤリとすることもある。 平戸大橋の田平側入り口交差点をなんとかして欲しい、それが出来てからか平日の朝と昼間の大橋での工事による渋滞が酷い。 また、長い車列が常灯の鼻からハッキリと見えて何だか異様な風景だ。
26	平戸北部地区	男性	45-49歳	全くできていない	全く変化がないから。緩やかに死に向かっている。
27	平戸北部地区	男性	50-54歳	あまりできていない	人が減っていった寂しい町になっている。
28	平戸北部地区	男性	50-54歳	あまりできていない	若い女性の流出もそうなのかもしれないが、圧倒的に若者が魅力を感じる町づくりが進んでいない。映画1つ見るにも佐世保まで行かなければならないのは如何なものか。歴史、景観もちろん大切。一方で、もっと若い世代を意識した施策も大切。
29	平戸北部地区	男性	50-54歳	全くできていない	時間をつぶす場所が少ない。どこに行くにも車がないと不便(交通機関が使いづらく不便)。大型商業施設がない。
30	平戸北部地区	男性	50-54歳	あまりできていない	若い人が集まって遊ぶ場所がない。小さいモールやゲームセンター、マックやミスドといったものがあるといい。コメリやナフコ、ドラモリばかり。親が日用品を買う所だけでは若い人もおもしろくない。入口のガチャガチャやダイソーのクレーンゲームをしている若い人を見ると可哀そうに見える。
31	平戸北部地区	男性	50-54歳	あまりできていない	何かしてるんですか？伝わってきません。
32	平戸北部地区	男性	50-54歳	全くできていない	市役所職員が市民の何%必要なのか 妥当な職員の数なのか精査する必要がありそう
34	平戸北部地区	男性	50-54歳	あまりできていない	平戸市だけでなく、地方都市の財政規模で住み続けたいまちづくりを行うこと自体が難しいと思う。
35	平戸北部地区	男性	55-59歳	あまりできていない	高齢者が日用品、食料品を買う場所が車(タクシー等)で行かないとない。上記が出来る場所が市街地に少ない。町の中に道の駅等を作っても良いと思う。旧エレナ跡地など。
36	平戸北部地区	男性	55-59歳	あまりできていない	市内の経済が活性化されず、他からの進出などもなく働く場所も少ない。また、最先端の技術や生活支援もなかなか受けることができない。また、柱となる産業も育ておらず、人口の流出は現状では食い止めることも難しい。特に教育については、大学をはじめ専門学校等、通学できる施設も少なく、一旦流出した人口を戻すことも難しい。
37	平戸北部地区	男性	55-59歳	あまりできていない	商売を続けられる環境にない。
38	平戸北部地区	男性	55-59歳	あまりできていない	道路の整備が不十分。

■問17 「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくりができているかの回答理由

No.	居住地	性別	年齢	「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくり	自由記述
39	平戸北部地区	男性	55-59歳	あまりできていない	まずは産業の少なさが悲しい。あと、移住者への受け入れが少ない(移住対策の不足)。市外へのアクセス不足(公共交通)。観光等、平戸市はアピールが主に県外へのアピールが足りていない。平戸市は地理的に災害に強い事をアピールして、企業を誘致してみてもどうか？
40	平戸北部地区	男性	55-59歳	あまりできていない	小型モジュール炉(SMR)を取り入れ、平戸市の電気代を無料化する。
41	平戸北部地区	男性	55-59歳	あまりできていない	いろんな事業に広く対応して、どっちつかず、どこにでもある田舎の市になっている。住み続ける為にはまず産業、企業誘致が大切であり、核となる事業があつてこそ、周りの環境が変わってくる。
42	平戸北部地区	男性	55-59歳	あまりできていない	取り組みが目に見えない。
43	平戸北部地区	女性	20-24歳	あまりできていない	精神障害者雇用や生活をサポートしてくれる場所が佐々町にあるから。
44	平戸北部地区	女性	25-29歳	あまりできていない	市外への交通の利便性が良くなっても、市内の買い物の利便性が低い。同じようなホームセンターが建つばかりで、子育てに必要なお店が一つもなく、必ず市外へ買い物をしないといけない。今欲しいものがすぐ手に入らないのはすごく不便。
48	平戸北部地区	女性	25-29歳	あまりできていない	小児科の無さ、対応の悪さ。子供が悪天候でも遊べる室内施設が無い。職場が少ない(資格が無くても安定して働ける場所)
49	平戸北部地区	女性	30-34歳	あまりできていない	人口が減り続けているため、今まで以上に買い物をする店舗が減り、バスやタクシーの運転手不足も考えられるので、車の運転が難しくなってから住み続けるのは大変であると思う。観光資源が多くあるなら、そういった所に地からを入れて観光客を増やす、需要が高まれば仕事も増える、人も集まり栄えると思うが、市内の方でそのようなヤル気がある方が少なく感じる。このまま過疎化が進行すれば、仕事も減少、学校も閉校となってしまうかもしれないという危機感のある人も少なく感じる。
50	平戸北部地区	女性	30-34歳	あまりできていない	若い人が外に出ていって現状が証左なのではないですか？ 例えばですが、移住を検討してる人に対して住みやすさをオススメしようとは思いません。 若いうちは収入が少なく貯蓄できず苦勞し、年老いてからは医療機関の不足や交通の便が不便な点で苦勞すると思うから。
51	平戸北部地区	女性	30-34歳	全くできていない	通勤時間帯の渋滞が平戸大橋の信号機・道の変更で増していて不便。さらに他県からの来客が道がわかりづらいためか間違い事故の元。 平戸市役所職員が通勤で送迎してもらって、路駐して待っていることがあり、事故の元。警察署の前でもあるのに警察は取り締まったりしていない。市役所職員に甘いのでは？ 交通に関しては生活のスムーズさに繋がると言うから考え直してほしい。
52	平戸北部地区	女性	30-34歳	全くできていない	産婦人科や小児科の体制が不十分。安心して医療を受けられるよう、医療機関の拡充を希望。

■問17 「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくりができているかの回答理由

No.	居住地	性別	年齢	「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくり	自由記述
53	平戸北部地区	女性	30-34歳	あまりできていない	田平を除く平戸に雇用を増やして欲しいです 平戸大橋手前のT字路(ファミリーマートのそば)に左折専用車線を作って欲しいです
54	平戸北部地区	女性	35-39歳	あまりできていない	こう言ったアンケートを度々目にするが、あまりと言うかほとんど改善できていないように感じる。古き良き歴史という概念が強すぎる。娯楽施設もないし、立ち寄れるファミリーレストランもない。目新しいチェーン店(ミスト・マックなど)もない。古いお店ばかりで観光目的(数日程度の滞在)なら良いかも知れないが、それでもちょっと立ち寄れる家族連れで入れる店、一人でも入りやすい店が全くないので、近々平戸からの引っ越しを考えている。暮らすには飽きがきます。そして、1か所に集中して似たような店を建てすぎ(ドラモリ、ダイレックス、コスモス、コメリ)。ラウンドワンのような、雨でも関係なく子供も大人も楽しめる場所が必要ではないでしょうか。このままだと若者も含め、人口流出はやむを得ないと思います。
55	平戸北部地区	女性	35-39歳	全くできていない	若い世代が減少しているのに、雇用創出・企業誘致・娯楽施設(飲食店なども)が出来ていない。商店街の兼ね合いで全く作れないと噂で聞く。理解できない。これから数十年後を考えると、とてもこわい!! 年寄りばかりの市になって人口もどんどん減少していく。若い世代が移住しやすい・したい市ではない。
56	平戸北部地区	女性	35-39歳	あまりできていない	病院が不足している。産婦人科は特に市内に1軒もなく皮膚科や眼科等も選択肢がない。買い物は通販があるので使用できる人は困らないが、自分が年を取った時にその時代のサービスを利用できるとも限らない。今は車もあり、不便ながらに暮らしていけるが、老後住みたいと思える魅力が伝わらない。
57	平戸北部地区	女性	35-39歳	全くできていない	子供用品を購入できる場所がとても少ない。ホームセンターばかりはいらない。今ある建物、場所を有効活用するべき。若者を移住させたいならIT企業を誘致したりする必要があると思う。ネット環境さえよければ、どこでも働けるから。以前テレビでやっていた、ビフォーアフターの建物建築はどうなったのか? 平戸城を变に改築するよりも、ビフォーアフターの改築の方が話題になるし、地元の人でも利用しやすかった。今からでも実行してほしい。
58	平戸北部地区	女性	35-39歳	あまりできていない	家賃が高い。給料が安い。
59	平戸北部地区	女性	35-39歳	全くできていない	働くところもなければ、買い物もするともなくて交通機関もなくて魅力がない。観光に力を入れているのはわかるが、住んでいる地元の人へのことは全く考えられないので、ずっと住みたいと思うはずがない。歳を取ったら余計に不便で困ることがわかってるので、そのうち島から出る予定。町内会のなどの地域の関わり方も時代にあってない。

■問17 「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくりができているかの回答理由

No.	居住地	性別	年齢	「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくり	自由記述
60	平戸北部地区	女性	35-39歳	あまりできていない	外食するところがほぼない。仕事後に惣菜買いにスーパー行っても売ってない。自炊か冷食等に頼るしかない。車がないと移動しにくい。介護タクシーもない。介護施設も空き待ちでずっと待っている方がいる。生活が困窮していても関係性がない親族がいるため生保になれない。親族調査をきちんとしてほしい。身寄りがいない方へのフォローがない。問題あっても病院が相談するまで他から相談あっても介入できなかったといわれる。このアンケートにも失望。結婚しても子どもいない人等色々いるのに配慮にかける。これ以降答える気しない。
63	平戸北部地区	女性	40-44歳	全くできていない	(問19全ての項目において)専門家、外部の企業や人達の意見を聞いたりして取り入れてください。このままでは、本当にヤバイと思います。もっと人がいなくなり栄えなくなります。税負担など増えるのは負担ばかりになります。
64	平戸北部地区	女性	40-44歳	あまりできていない	子供や年寄りの事を最優先すべきなのに違う事で予算を費すのはどうなのか。
65	平戸北部地区	女性	40-44歳	全くできていない	子育て支援はあるが独り身の支援が全くない
67	平戸北部地区	女性	40-44歳	あまりできていない	若い人が永住したいと思う魅力かない。高校生が卒業しても市内への就職は出来ない。
68	平戸北部地区	女性	40-44歳	あまりできていない	18の回答としては、正直よくわからないです。平戸市も地域によって住みやすさがありますが、私は平戸北部地区にいるためある程度便利だとは思っています。ただ物価高になる中で、やはり最低限の住まい、食費の確保と考えた時に公的な補助はそんなに足りているとは思わないです。他の市がどうなのかは分かりませんが、生活が苦しいと感じています。それが別の町にいけば解消できるのかはよく分からないです。
69	平戸北部地区	女性	45-49歳	あまりできていない	病院がどこに行けばよいかわからない。ファミレスがほしい。
70	平戸北部地区	女性	45-49歳	あまりできていない	高齢者への対応(医療の充実)。労働者の給料を上げる(特に保育士、介護士は上げる必要あり)。
71	平戸北部地区	女性	45-49歳	あまりできていない	毎回このようなアンケートに当たり回答しているが、何かが変わった実感がない。
72	平戸北部地区	女性	45-49歳	あまりできていない	日用品を買いえる店が少ない。移住者を受け入れる住民の意識が低い。(平戸にずっと住んでいる人から、何も無い平戸になぜ来たのか？若い人は出ていくものだと言われると、とんでもない所に来たという印象を受ける。初対面なのに嫌なら出ていけと言われてたり、回覧板を受け取れなかった時に近所の人から、ドアをぶち壊そうかと思ったと脅迫めいたことを言われた。)
73	平戸北部地区	女性	45-49歳	あまりできていない	過疎化の心配。子供達が大人になる時代を考えるととても住み続けたい・・・とは思えないような？
74	平戸北部地区	女性	45-49歳	全くできていない	住み続けるためには仕事が必要だが、職場が増えるどころか多くの店や企業が閉まっている。企業誘致に力を入れるべきだと思う。保育園無料化なども近隣市町村より導入が遅ければ効果はないと思う。

■問17 「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくりができているかの回答理由

No.	居住地	性別	年齢	「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくり	自由記述
75	平戸北部地区	女性	45-49歳	あまりできていない	若者の市外流出が色々増しているが、学生時代から市外の土地と比較すると、子供達が子供同士で集える場がない事もとても大きいと思います。高校の近くに時間をつぶしたり飲食できる店もなく、不便を感じています。ドラッグストア等は多くでき、必要品の購入は便利になったが、同じ地区にかたまっていることで子供や年配の方には便が悪く、日々の生活には暮らし難さを感じる面も…。ファミレスのように年齢を問わず行きやすいお店を1つでも作ってもらえると良いのでは…。
77	平戸北部地区	女性	45-49歳	あまりできていない	市民が住む町のことに無関心 企業を誘致するより市内企業を強化したほうがよいし、移住者を増やすより、頑張っている市民を応援したほうがよい。エネルギーがあるところには人が集まると思う。交流人口関係人口が増えてくると思う。
78	平戸北部地区	女性	45-49歳	あまりできていない	犯罪が少なく、安全なところが住みやすいところだと思います。しかし、バスが減便になったり、徒歩圏内に買い物するところが無く、歳をとって、運転が出来なくなった時に困るのが想像でき、不安になります。
79	平戸北部地区	女性	45-49歳	全くできていない	大型のショッピングモールなどあれば休みの日に遊びに行く。今はなににもないので洋服買うのもどこかに出ないと行けない。若い人は住み続けたいと思う。環境が良くない
80	平戸北部地区	女性	45-49歳	あまりできていない	平戸には沢山の自然、歴史、イベント、機関があるのに、ないものばかりに目を向けている気がします。ほのあかり事業など、あるものを活かしたまちづくりをもっと意識してはどうか。溢れんばかりの有りすぎる素晴らしい資源を全く活用できていない事が問題。
81	平戸北部地区	女性	50-54歳	あまりできていない	年を取った時に、買い物はどうするか？医療や介護サービスがどうなるか？など不安がある。
83	平戸北部地区	女性	50-54歳	あまりできていない	公共交通機関、医療を受けるための環境等、年々不便さを感じている。
85	平戸北部地区	女性	50-54歳	あまりできていない	土地柄なのか閉鎖的で閉塞感すら感じられる市だから。イベントもどこかでやったものと似たようなものが多い。
86	平戸北部地区	女性	50-54歳	あまりできていない	のどかで自然があつていいのだけど、結局子供は仕事がなく県外へ出ていき、先では子供が来てもいいよとか言ってくれば子供のそばで暮らしたいと思うのが本音ではないでしょうか。
87	平戸北部地区	女性	50-54歳	あまりできていない	交通の便が良くないので、年を取ってからの買い物、通院は大変になると思う。
89	平戸北部地区	女性	50-54歳	あまりできていない	公共交通機関、医療環境に不安がある。
90	平戸北部地区	女性	50-54歳	あまりできていない	子育てが終えてから50代以降の方が楽しめる施設があればいいのでは？食べ物がおいしい平戸。もっとおしゃれなお店やランチができるところがあれば遠くからでも観光客が来るし、地元の人でも楽しめるのでは？温泉などの利用も地元の方は安く利用できるシステムを考えてほしい。子供達が帰省しても遊ぶところがなく、佐世保等に行ってしまうため、平戸でもお金を落とせるような場所を作してほしい。

■問17 「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくりができているかの回答理由

No.	居住地	性別	年齢	「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくり	自由記述
92	平戸北部地区	女性	50-54歳	あまりできていない	現在の施策は、若者、移住者に向けられているものが多く、長く住み続けている市民や高齢者に向けた施策が少ない様に感じます。
94	平戸北部地区	女性	55-59歳	あまりできていない	問15問16の回答の通り、改善の余地が大いにあると思われるため。
95	平戸北部地区	女性	55-59歳	あまりできていない	医療機関、医師、信頼し難い。
97	平戸北部地区	女性	55-59歳	あまりできていない	安心して暮らすことができる環境の良さは満足しています。
98	平戸北部地区	女性	55-59歳	全くできていない	高齢者の買い物等のサポートが少ない。今後買い物難民が増加すると思う。平戸大橋が何らかの理由で通行止めになった時の不安が強い。災害等があった時の対処は？
99	平戸北部地区	女性	55-59歳	あまりできていない	平戸市北部地区のタクシーが不足している。介護タクシー業者が平戸市は現在いない。
100	平戸北部地区	女性	55-59歳	あまりできていない	住み続けたいと思っても、就職や進学などで市外、県外へ出てしまうと、やりたい仕事が平戸になかったり、通勤に時間がかかるので、市外に住んでしまう現状がある。自然が豊かで気候も穏やか、内心では子供達にも住み続けてほしいと思うけれど・・・。
101	平戸北部地区	女性	55-59歳	あまりできていない	食事ができる店が少ない インバウンドなど観光振興を考えてもとても少ない
102	平戸北部地区	女性	55-59歳	あまりできていない	職場が少なく、常に空いてる食事処も少ない。若い人にとっては、人口が少なく、出会いの場も少なく、服などを買うところがない。子供の教育はレベルが低く、大学などに行くときに不利だと思います。ただし高齢者にとっては、交通の便などを除けば、自然に囲まれゆっくりと過ごすには良い所だと思います。
103	平戸北部地区	女性	55-59歳	あまりできていない	交通の便が悪い
104	平戸北部地区	女性	55-59歳	あまりできていない	大都市と変わらない家賃の高さ
105	平戸北部地区	女性	55-59歳	全くできていない	私は中年で住み続けますが、子供達は県外へ出て働いているが、平戸市に帰ってきて何をする？
106	平戸北部地区	女性	55-59歳	あまりできていない	交通機関が悪い 何をするにも不便
107	平戸中部地区	男性	30-34歳	全くできていない	増えるのは、放置された土地や木や竹や草ばかり。道路にまで影響が出ているのが現状。仕事面においても、かなり狭い範囲で選ばなければならないのも不満がある。
108	平戸中部地区	男性	40-44歳	全くできていない	医療機関が整っておらず、将来に不安を感じる。公園が少なく、子供が遊ぶ場、地域の人が集う場が少ない。教育の環境が整っておらず、市外、県外の学校が選択肢になっている。市内在住者向けの支援が少なく、特に住宅が古く住めなくなったら市外、県外への移住をすると思う。
110	平戸中部地区	男性	45-49歳	あまりできていない	若年層が働く場を作り出してもらえたらいい。
111	平戸中部地区	男性	45-49歳	あまりできていない	平戸の北部(田平)には住んでいる人が多い。中部・南部への対応が不十分と思う。
113	平戸中部地区	男性	55-59歳	あまりできていない	住みたい訳ではないが、住まざるを得ない環境。家を守っていくためだけに残っている。

■問17 「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくりができているかの回答理由

No.	居住地	性別	年齢	「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくり	自由記述
114	平戸中部地区	男性	55-59歳	全くできていない	問17で、どの場面を見たら、実践しているのがわかるのか。全く知らない。平戸市内から中南部方面へバスの本数は激減、タクシーも充実していない。自分たちも運転できなくなるとどうやって買い物するか。「ある物で食べる」となると健康維持することもできなくなる。不便性が目立ち活気もなく、魅力もないため子供達も地元を離れる。これから年は確実にとっていくが、不安しかない。自然はありすぎ、草ボーボー。市も頑張っていると思いますが、自分たちの子供は平戸に帰ってきて就職したりと地元に残っている子供を持つ職員さんは何%いるのでしょうか？
115	平戸中部地区	男性	55-59歳	あまりできていない	県の中で平戸市は確実に衰退している。働く場が無いので高校を卒業後に残る人が少ない。企業の誘致等働く場が必要ではないでしょうか。
116	平戸中部地区	男性	55-59歳	あまりできていない	人口減少が続いているから。
119	平戸中部地区	女性	30-34歳	あまりできていない	子育て世代にとっての働く環境(条件があわない)だったり、市外まで行かなくても子供達を外で遊ばせる公園、遊び場があるととても良い。子供が病気の時にすぐに対応できる小児科がもっとあると良い。(現状、熱があると発熱外来にまわされ、かかりつけの小児科の先生に診てもらえない。)
120	平戸中部地区	女性	30-34歳	あまりできていない	十分な給料をもらえる正社員雇用先が少ないと思う
121	平戸中部地区	女性	35-39歳	あまりできていない	高齢者が多く若者の負担が大きすぎる。車がないと生活できないのはわかるが、高齢者の運転があぶない。車を使わなくてもいいような何か対策をしてほしい。
122	平戸中部地区	女性	35-39歳	あまりできていない	平戸温泉を、温泉スタンドではなく道の駅を含めた温泉施設を作ったら良いんじゃないかと思います。ふるさと納税等で資金を捻出すれば、市民の声や納税してくれた方にも使い先としての姿勢が見えます。 近年は市長の1人でふるさと納税を使用しているようですが。 もっと見える形で成果のあることに投資をしませんか？ 市外からの集客も見込め雇用も見込めます。 地域の若い方々や個人事業主のかた、チャレンジしたい方がチャレンジできるような広場も合わせて作ると良いと思う。
123	平戸中部地区	女性	40-44歳	あまりできていない	若者の流出は今に始まった事ではない。自然は素晴らしいが、生産年齢がいなければ税金も減る。市はどのように対策を講じて、どんな変化があるのだろうか

■問17 「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくりができているかの回答理由

No.	居住地	性別	年齢	「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくり	自由記述
124	平戸中部地区	女性	40-44歳	あまりできていない	・衣料品を買うのには佐々あたりまで行かないと思うような物が売っていない ・商業施設が1店舗くらいあるとわざわざ佐世保あたりまで出かけなくてもすむ ・老後が心配 近所にスーパーもないため車がないと買い物にも行けないのに、免許返納後などはどうなるかとすでに心配している
125	平戸中部地区	女性	40-44歳	あまりできていない	病院に良い医師がいない、適切な医療が受けられない、企業がないので生活して住むのには向いていないのかもしれない。
126	平戸中部地区	女性	45-49歳	全くできていない	人口も減って、人手不足を感じる。土地も空き地や空き家があるので、整備して商業施設やアミューズメントパークなど作ってほしい。観光地ではあるが、普段の生活では、バスの数も少なく、タクシーも少ない。運転できなくなれば住めないと感じる。高齢ドライバーも多く、事故が心配。
127	平戸中部地区	女性	45-49歳	あまりできていない	税金が高い。 平戸市は高額のアパートばかりなので市営の団地をもっと造って欲しい。 母子家庭や若い単身者でも住みやすいような。妊婦だけでなく病気で遠方の病院に通院される方にも交通費が支給されるようにして欲しい。
128	平戸中部地区	女性	50-54歳	あまりできていない	土地の整備ができていない。数十年前の杜撰な取引のおかげで、家を建てられなかった。業者が悪いのはもちろんだが、市の管理もよくないとおもう。救済して欲しい。
129	平戸中部地区	女性	50-54歳	あまりできていない	人口減少が止まらないから
130	平戸中部地区	女性	50-54歳	あまりできていない	まだまだ不便なところがたくさんある。特に中部、南部地区になるとバスなどの交通の便も悪くなり、高校に行くにしても不便、尚且交通費などかなりの負担がかかる。塾や習い事も難しいところがある。 高齢者にとっては移動手段がなく不便である。このままだと住み続けるのは難しくなるのは仕方ないのかもしれない。
131	平戸中部地区	女性	50-54歳	あまりできていない	市外への若者の流出がとまらない、地方でもやりたい仕事ができたり、ネット環境などを充実させたり、テレワークなどに特化したまちづくりなどができたら、都会からも人が来るのでは？自然と物価の安さ、住みやすさをアピールできれば良いのではないかと、個人ではできない事なので、ふるさと納税の時のように全国にアピールできるようになればいいのではないかと
132	平戸中部地区	女性	55-59歳	あまりできていない	自家用車がないとどこにも行けないこと、買い物など。働く場所がないので、経済的にもきつい。娯楽の場所がない。
134	平戸中部地区	女性	55-59歳	あまりできていない	人口減少に歯止めがかかっていない。以前に比べて急激に朝の通勤時等の車の数が減少している。やはり若い子は出会いの場や刺激を求めて都市部へ出たがり、高齢になってくると子供達が外に出ているため、いずれはそちらに移り住んだりしている。どう人を呼び込むか、そこが一番の課題だと思っています。

■問17 「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくりができているかの回答理由

No.	居住地	性別	年齢	「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくり	自由記述
135	平戸中部地区	女性	55-59歳	あまりできていない	地域の行事が多く、古い習慣があり、面倒だと思う。改革が必要。道路だが、カーブが多く狭い。運転しにくい。高齢者になって運転できるか不安。ファミレスがあれば助かります。
136	平戸中部地区	女性	55-59歳	あまりできていない	若い人が働きたいと思えるような職場がありません。給料が安い(県外と比べて)。介護施設のスタッフ不足がある。遊ぶところもないので、市外に出ていくしかない。病院の待ち時間が長い(市民病院)。市役所(支所)の職員はあんなに沢山必要なのか？
137	平戸中部地区	女性	55-59歳	あまりできていない	結婚して平戸に住んで30数年になります。子供もみな独立して夫婦での生活です。今は車も運転することができ、市外など不自由なく移動もできますが、いずれ免許証も返す時期がくれば、大変な生活になる事に不安を抱きます。高齢者の移動手段など考えてもらいたいです。こちらに住めなくなれば、子供達のいる場所へ引っ越すことにもなると思っています。そういう方はたくさんいらっしゃると思います。
138	平戸南部地区	男性	25-29歳	あまりできていない	フェリーの料金が安いこと。本数が少ないこと。公共交通機関の少なさ。(中学校や高校までの交通手段)
139	平戸南部地区	男性	40-44歳	あまりできていない	若者が働く場が少なく、市外へ出ていくばかりで高齢者のみの集落が増えており、活気がなくなっている。
140	平戸南部地区	男性	40-44歳	全くできていない	スーパーマーケットやドラッグストアなど日用品売り場が北部に集中している。飲み屋が南部にない。少ない。交通機関の種類の少なさ。
141	平戸南部地区	男性	45-49歳	全くできていない	とにかく道路事情が悪い。側道をあと両端30センチ程舗装すれば雑草が道にせり出して来ないと感じます。 かげ切りもしっかりと行ってください。走行車の上に倒木や枝が落下して事故になってからでは遅いです。 観光地でありながら、水産加工品などだけでなく様々な特産品を集中してアピールするモールを作るなどよいかも！ 例えば、オーダースーツの採寸を出張ブースで行い、完成品は自宅に配送されるショップがあったり、ショップのブースによっては自分で真珠貝の核を入れて数ヶ月後にハガキなどで知らせて再度来てもらい取り出しをするなどがモールの中で出来る。乾燥したアゴの粉や海苔、アオサ、小エビなどのブレンドを自分でできオリジナルのふりかけやお茶漬の素が作れるコーナー。 など観光に特化したアミューズメントモール！を第三セクター主体で行って地場産業の活性化をするなど行政の努力が乏しい。
142	平戸南部地区	男性	55-59歳	あまりできていない	高齢者が暮らし続けるための環境。公共交通機関が整っていないためにどこに行くにしても不便。
143	平戸南部地区	男性	55-59歳	あまりできていない	まずは若い男女が働けて、生活ができるかである。後継者はいても出会いがなく、仕事へのやる気も出ないような状況と思う。
144	平戸南部地区	女性	25-29歳	あまりできていない	移動時間がかかり過ぎる。

■問17 「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくりができているかの回答理由

No.	居住地	性別	年齢	「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくり	自由記述
146	平戸南部地区	女性	30-34歳	あまりできていない	「あなたの為にやってあげている」と地域住民から執拗なメール、電話、夜間の待ち伏せやアポなしで自宅周囲をうろつく(刃物を持っている男が見守りカメラに写っていることもあった)等の事があり、安心して住めませんでした。本当に親切な方もいたのですが、人との距離間を保てない方が多いと感じます。当方、女性の一人暮らしなので、恐怖でしかなかったです。
147	平戸南部地区	女性	30-34歳	あまりできていない	人口が減っているためそう感じた
148	平戸南部地区	女性	35-39歳	あまりできていない	平戸の南部地区では、やはり高校進学の時点で市外へ出てしまうことが多いと感じる。交通機関も少なく、通学への不便さから、親が送り迎えを行う。そうすると親も市内、なければ市外へ働きに出た方が良くなる。だったら交通機関も整い、仕事も選べる市外へと移り住むとなる悪循環となっているのではないかと思います。
149	平戸南部地区	女性	35-39歳	あまりできていない	まず、平戸の中で固執している世界で、もう少し県外移住者の受け入れに対して、平戸市が柔軟で多様性であるべきだと思います。
150	平戸南部地区	女性	35-39歳	あまりできていない	県外に住む知人から、よく平戸はいい、移住したいけど仕事がないというのは、100%言われます！！移住者に対しての、仕事の優遇等大きく打ち出しても良いと思います！！平戸に住んでくれる、新婚さんに対して1年間の家賃の何かしらの補助等もあったり、平戸市内のホテルで結婚式を挙げるカップルには、その費用を50万～100万補助をする等のメリットもあれば、また新しい動きがあるかもしれません！！まず、平戸に住んでくれる人を増やす為に大きな動きをしてほしいです！！小さな道路工事は税金無駄という声もよく聞きます。南部に住む住民としては、北部へ行く為のトンネルを希望します！！
152	平戸南部地区	女性	40-44歳	あまりできていない	ファミリーレストランがない。ファーストフード(マクドナルドやモス)が近くにあってほしい。
153	平戸南部地区	女性	40-44歳	あまりできていない	高齢者のへのサービスは充実していると思います。ただ、日常的な買い物など、少々不自由な点は見受けられます。子供に関しては小学生くらいまでは最高の環境だと思うのですが…。中学・高校になると、選択肢がぐっと減ってしまい、市外の子供に比べると(塾に通うにも遠すぎる、入りたい高校があっても、通学の面から断念せざるを得ない)など不自由が出てきます。特に南部は小学生のうちから習い事の選択肢も少ないと感じます。子供のための環境が良いものになれば良いなと思います。
154	平戸南部地区	女性	40-44歳	あまりできていない	色々と考えているのはわかるが、あまり効果がなかったり的外れなことばかりのように感じる。働く場所も重要だが、高校を出てからの学びの場(大学など)が近くにならないことも人口流出の原因の1つだと思う。高卒で県外に出てそのまま帰ってこないから若者が減っている。

■問17 「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくりができているかの回答理由

No.	居住地	性別	年齢	「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくり	自由記述
155	平戸南部地区	女性	40-44歳	あまりできていない	中山間地域に住んでいるが荒れ地が多い。農家に対して農業を続けられるような支援がもっとあっていいと思う。昨今の情勢を鑑みても、食糧自給は大事だと思う。地産地消を推進してほしい。
156	平戸南部地区	女性	40-44歳	全くできていない	他の市に比べていろいろな面で遅れていたり、すごく不便さを実感する(他の市から嫁にきたので)若い人達が働ける場も少なく、子供が高校進学時期になると、平戸市にある二校以外に進学を考えるなら通学も難しくなるので考えてしまう。
159	平戸南部地区	女性	45-49歳	あまりできていない	利便性は低いと思う。病院、買い物全てに車が必要で、おまけにバスも回数が少ない。高校へ行くにも不便なため早くから市外で生活せざるを得ない。老後もサポートされていても24時間対応でもなく、全てサポートするとなるとお金も負担になる。
160	平戸南部地区	女性	45-49歳	あまりできていない	働ける場所が少ない。公共交通機関が充実していないため、高校生の通学が難しく、市外の学校を選ぶことがある。市外にあるファミレスなどの家族全員で楽しめる飲食店がない。
161	平戸南部地区	女性	50-54歳	あまりできていない	南部地区は特に医療機関が少ない上に、バス等が紐差で乗り換えなければならない。不便。バスも少ない為、買い物に行くにもためらってしまう。
162	平戸南部地区	女性	50-54歳	全くできていない	公共交通機関の便が悪い。高齢になり、車の運転ができなくなった時の交通の便が悪い。買い物や病院などへ行くことが不便である。
163	平戸南部地区	女性	50-54歳	あまりできていない	私はここで住み続けたいと思っていますが・・・(地元ですから)。中高卒業したら大半が平戸を出ていきます。さて、どれくらいの方が平戸に帰ってくるでしょうか？帰ってきて住みたいと思うのでしょうか？小さい頃から平戸の魅力をまずは家庭で地域で学校で伝えていかないといけないと思います。”平戸を何とかしたい”という人が増えてくれるといいですね。(最終的には人間性です。心豊かな住民が増えると平戸市全体は良くなると思います。余談ですが・・・)
164	平戸南部地区	女性	50-54歳	あまりできていない	自分は車があるのでそこまで不便さは感じませんが、公共の交通機関が少ないです。利用者が減っているのが仕方ないですが、交通機関が乏しくなっていくのが寂しいです。車のない方、県外から実家に帰省される方、観光で来られる方などは不便さを感じると思います。
165	平戸南部地区	女性	50-54歳	あまりできていない	南部地区方面はバスも廃止になり、どこに行くにも車での移動となる。外出もままならなくなると、家に閉じこもる毎日になりそう。
166	平戸南部地区	女性	55-59歳	全くできていない	雇用を生み出し、子育て環境の良さをタイアップで進めるべき。
167	平戸南部地区	女性	55-59歳	全くできていない	陸にある(住む所)場合は、車があれば済むことだが、運転できない者は不便。市街地だけが暮らしやすい市だと思う。離島で暮らす者として、不安要素はいっぱいだ。せめて災害の時の対策は、万全に整えていただきたいものだ。

■問17 「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくりができているかの回答理由

No.	居住地	性別	年齢	「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくり	自由記述
169	平戸南部地区	女性	55-59歳	全くできていない	交通が不便(公共交通機関の便数が少ない) 乗合タクシー等便数を増やせないのだろうか 医療体制が良くない(緊急時対応が遅い) 下水道の整備が不十分 職場が少ない(働きたくても働き先が無い)
170	平戸南部地区	女性	55-59歳	あまりできていない	とにかく雇用体制の充実。 歩道の充実。 心身の健康作りの島、レジャーアイランドに近付く といいのでは。
171	平戸南部地区		40-44歳	あまりできていない	大型連休などで来るのには良いが、移住となると 難しい。若者たちは地方の大都市に出てしまおう と思う。もっと商業施設(遊ぶ場所)、色んな職種が あった方が良い。この先どんどん人口は減るばか りだと思えます。若者たちが残ってくれるようなと ころを作らないと思えます。例えば、賃金アップ など重要だと思えます。
174	生月地区	男性	45-49歳	全くできていない	どこに行くにも遠く不便。ゆめタウンなど商業施設 もなくとても不便。
175	生月地区	男性	45-49歳	全くできていない	子育て世代には住みにくい市です。お金がかかり 過ぎます。私達も早く市外に出たいです。
176	生月地区	男性	45-49歳	あまりできていない	人口減が止まらない。働ける場所を作る。
178	生月地区	男性	50-54歳	あまりできていない	若年層の流出。IターンUターン者が定住するた めの職場の少なさ。職種の少なさ。多人数が勤める 会社もしくは工場の企業誘致が必要。
179	生月地区	男性	50-54歳	あまりできていない	地域の繋がりの強さが強すぎて、若者が流出して いるような気もする。
180	生月地区	男性	50-54歳	あまりできていない	空き家が多い。交通の不便さ。少子化と高齢化、 全国どこでも同じ問題だとは思いますが、対策があ まり目に見えてない。
181	生月地区	男性	50-54歳	あまりできていない	定住者を増やすには、地元で安定的な選べる職 場がないと厳しいと考える。 他市に働きに出ると移動時間など地理的環境の 悪さから地元に住み続けるより他市に住んだ方 が良いという考えになってくる。
182	生月地区	男性	55-59歳	あまりできていない	働く場所がないと人口は減ると思えます。
184	生月地区	女性		あまりできていない	買い物する場所が圧倒的に少ない。親子でもし くは夫婦で、カップルで遊べる施設が少ない。魅力 がないところには人は集まらない。
185	生月地区	女性	18-19歳	あまりできていない	具体的にどのような政策をしているのか情報が 入ってこない。
187	生月地区	女性	25-29歳	あまりできていない	子どもの医療や必要なものを買う場所の少なさ。
188	生月地区	女性	25-29歳	あまりできていない	もっと見直す点が多々ある
189	生月地区	女性	35-39歳	全くできていない	住み続けてほしいであろう若者世代に向けて、興 味を持てるような発信をしてほしい。
190	生月地区	女性	35-39歳	あまりできていない	年齢的に車で移動できるので支障はないが、移 動手段が車以外になった時、バスの時間や路線 で不便に感じると思う。平戸高校はバスが出るの に、北農や鹿高まではなぜバスを出してくれない のかなど、高校生の通学のしにくさがある(今、小 中の子供がいるので送り迎えに対する不便さ)。 一人親に対しての経済的支援の拡充をしてほし い。所得だけ見られても、一人で四人育ててい ると支払うものも多く、子供との時間を減らして仕事 をしている状態も身体的にきつい。

■問17 「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくりができているかの回答理由

No.	居住地	性別	年齢	「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくり	自由記述
191	生月地区	女性	40-44歳	あまりできていない	急病の子供の診察をしてくれる病院が近くになさすぎる。子育て支援をもう少し充実してくれると助かります。人口減少で子供が少ない。地元にいるにすぎているせいか、病院の看護師や医師の態度が悪い。そのためあまり信用もできない。
192	生月地区	女性	40-44歳	あまりできていない	子ども達をこの場所で育てるにはお金がかかりすぎる。
193	生月地区	女性	40-44歳	全くできていない	市からのこのようなアンケートに何度か答えてきたが何が改善されたのかわからない。
194	生月地区	女性	45-49歳	あまりできていない	離れて暮らす高齢者の買い物や、時間を共有したりつぶせる場が少なく、常に気にかけなければならず、心配してしまう。また、子育てにおいて、地元高校に通うにも交通費も高く、市外に出すことも交通の便が悪く出せず、選択する際に本当に頭を悩ませ、家族ごと他県へ行く人も多く悲しくなる。
195	生月地区	女性	45-49歳	あまりできていない	出産する施設が近くにはない。子供の医療費無料化(18才まで)。
196	生月地区	女性	45-49歳	あまりできていない	ふる探(ふるさと探検隊)みたいなのをまたやってほしい。
198	生月地区	女性	45-49歳	あまりできていない	メリットがあってもデメリットの方が大きい
199	生月地区	女性	50-54歳	全くできていない	おばさん・おじさんなど年寄りが口うるさい。働くところがない。バスの便が少ない。バス代タクシー代が高い。いい病院が近くにはない。
200	生月地区	女性	50-54歳	あまりできていない	高齢者が多く若者が少ない為、職場でも人数がいらない。負担が大きい。
201	生月地区	女性	50-54歳	あまりできていない	何かと不便、車がなければ佐世保まででも1日かかる。バスやMRはやたら高い料金。歩いてなんてとんでもない。店が遠い。
202	生月地区	女性	50-54歳	全くできていない	平戸市は働くところが限られているので、若い人には難しいと思う。がんばって働いても給料は安いし、税金、保険料で引かれるのが本当に悲しいくらいに多いです。
205	生月地区	女性	50-54歳	あまりできていない	地域に密着した住民が満足出来るようなきめ細やかな行政サービスが足りていない気がします。
206	生月地区	女性	50-54歳	あまりできていない	住民の高齢化率が上がること・やがて高齢者が物故していくことは明白で、若年・中高年世代の意識を行政主導で変えていかないと、経済も地域活動も先細りしてしまうが、まだまだ危機感が足りない。
207	生月地区	女性	55-59歳	あまりできていない	住みたい、住み続けたいと思うだけの魅力がない。自然と人のあたたかさ(知り合いが多くいる)が住み続ける理由。
210	田平地区	男性	30-34歳	全くできていない	公共交通機関が少なく利便性が悪い。若い人の遊び場が全くない。高齢になってからの事を考えると市外への移動時間、地理的環境も悪く、買い物をするにも移動しなければいけない(もし車の免許がなくなった場合の買い物、通院などが不便すぎる)。若い人が遊べて、医療関係もしっかりしている環境があれば市外に出ていく人も減るのではないかと思う。
211	田平地区	男性	30-34歳	あまりできていない	給料の高い大企業がないため
212	田平地区	男性	30-34歳	あまりできていない	利便性が低い
213	田平地区	男性	35-39歳	あまりできていない	活動がよくわからないから。

■問17 「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくりができているかの回答理由

No.	居住地	性別	年齢	「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくり	自由記述
215	田平地区	男性	35-39歳	あまりできていない	若者向けの娯楽施設がない、ショッピングモール等の商業施設がないため欲しい物を買うために市外や通販を使うことが多いため
216	田平地区	男性	35-39歳	あまりできていない	人口減少
217	田平地区	男性	35-39歳	全くできていない	人口も少なくなってきたし、将来性を感じることが出来ない。老後のことを考えると、市外へ移り住もうと考えている。買い物も不便。休みの日になどに、家族でゆっくり遊ぶことができるような施設がない。結局市外へ出向くので。
218	田平地区	男性	35-39歳	あまりできていない	市外から転居しましたが、やはり前住居地と比べて全ての面において暮らしづらくなったと感じるからです。
219	田平地区	男性	35-39歳	あまりできていない	いまだに観光にばかり力を注いでいる気がする。地盤である住民の満足度をあげてこそ観光も活きるものだと思う。もっと(地方都市を除いた)他の地域の事例など学ぶべき。地域の人含めて内側内向きの目線での思考ばかりが多く、外から見た時の考え方が足りない。 基本の衣食住から考えた時に食は物価も安く自炊は困らないが地元で働いてる家族向けの「外食業」が乏しく感じる、共働きが当たり前の時代なので必ずしも自炊が正解とはならない。衣と住が壊滅的、空き家バンクも相談したことあるが相場を無視した価格設定でうんざり、移住者への定住促進のやる気を感じない。売ってる物件もリフォームありきですぐに住めないし、結局金がかかる、家建てたがマシじゃないか？と素人でも容易に考えるレベル。これから国全体として過疎化が予想される(地価も下がる一方)なかで容易に家を建てようとはならないのが実際。 交通の便について、高速道路IC予定地が市内から実際に遠い場所なのは危機だが、県北住民として西九州新幹線が佐賀を通れば武雄から本州まで一気にアクセスしやすくなるのだから早く実現してほしいところ。
221	田平地区	男性	40-44歳	あまりできていない	交通機関が少なすぎる。
222	田平地区	男性	40-44歳	あまりできていない	仕事が無いこと！！
223	田平地区	男性	40-44歳	あまりできていない	平戸市の取り組みの実感がない為！
224	田平地区	男性	45-49歳	あまりできていない	平戸大橋の渋滞、松浦までの高速の未開通。道路の拡幅までのスピードが遅い(軽しか入らない)。害獣駆除への助成金をUPしてほしい。マイナンバーカードのコンビニ対応を早くしてほしい。釣り観光客以外の呼び込みをもっと拡大して、観光収入をもっとUPして市民に還元してほしい。
225	田平地区	男性	50-54歳	あまりできていない	子育てには優しいが、高齢者への取り組みはあまりされていない気がする。生鮮食品や日用品が買えるように、移動販売車など検討してほしい。(免許を返納して足が悪く、バスなどの利用がしづらいため、そうしている人が他にもいる)
227	田平地区	男性	50-54歳	あまりできていない	税金が高い。物価が高い。老々介護に対する支援が少ない。浄化槽点検が多く出費が嵩む。
228	田平地区	男性	50-54歳	全くできていない	固定資産税は高い。中間層には厳しい生活。住宅ローンを組み、家を建てたが、平戸市内に住んでいる者が家を建ててもなんの補助金もなく、とても残念。平戸市に家を建てたことを後悔している。市民に優しい平戸市であってほしい。

■問17 「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくりができているかの回答理由

No.	居住地	性別	年齢	「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくり	自由記述
229	田平地区	男性	50-54歳	あまりできていない	宅地の整備。産婦人科がない。小児科が少ない。
230	田平地区	男性	50-54歳	あまりできていない	高齢になっても運転しなければ買い物も出来ない状態であることと、少ないとはいえ歩行者がいる道路が安全とはいえない状態のままにされている。 特に田平に新しく作られたパイパス付近は通学路であるにもかかわらず、永田団地前は狭く交通量が増えて、しかもかなり速度を出して走行する車が多い。 交差点には信号機の設置も急ぐべきと思う。
231	田平地区	男性	50-54歳	あまりできていない	若者が安心して働きたくなる職場が少ないのではないかと思います。生活基盤が安定して初めて住み続けたいと思うのではないかと思います。
232	田平地区	男性	55-59歳	あまりできていない	人が住みやすい町にするためには、人が集まるように仕向けなければならない。自然と人が住むような町にしてもらいたい。インフラ面・医療面等、お金の部分で負担を強いられると思います。
233	田平地区	女性	20-24歳	あまりできていない	お店がどんどん無くなっている
234	田平地区	女性	30-34歳	あまりできていない	車がないと移動できない。バスの便数が少なかつたり市外へ行くときの乗り継ぎがうまくいかない時間設定である。値上がりしているが賃金は上がらない。小児科や産婦人科が少なく、市外に行かないといけない時がある。土地代が高い。塾や習い事などが種類が少なく、場所が遠い。
235	田平地区	女性	30-34歳	あまりできていない	働ける場所が少なく、賃金が低い。子供を幼稚園に行かせているが、預かりの休みが多い為、パートを休まないといけない。田平に関しては、土地が割と安い、水道や下水道に多額の費用がかかるケースが多い。市が補助や上下水道工事をやってくれれば、家を建てやすくなると思う。
236	田平地区	女性	30-34歳	あまりできていない	産科医かお産をする場がない。雨天時、子供を遊ばせる(休日)場がない。
237	田平地区	女性	30-34歳	全くできていない	福祉、医療が充実していない
238	田平地区	女性	30-34歳	全くできていない	お年寄りになると運転ができなるのでバス運行を増やすなど対応してほしい。 田平地区の、買い物場所がエレナやフレッシュマートまで行かないといけないので南地区にもスーパーがほしい。 コインランドリーもない。 北地区に人が集まるのはスーパーなどがあるからではないのか。 平戸市外からの移住人だか歳をとってからは住みにくい。と感じている現時点で就職は、市外なので。
239	田平地区	女性	30-34歳	あまりできていない	子供を預ける環境が整っていない。

■問17 「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくりができているかの回答理由

No.	居住地	性別	年齢	「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくり	自由記述
241	田平地区	女性	35-39歳	あまりできていない	たくさんの制度があるが、市民に対するリフォーム補助があったら、生活の質の向上に繋がると思うし、子供が大きくなっても安心して戻ってこれるのではないかと思う。空き家になったとしても、状態がよければすぐに買い手はつくと思う。子育て面では医療機関が少ないので市外の病院までいけないといけませんが、それ以外は支援制度は充実しているので満足している。
242	田平地区	女性	35-39歳	あまりできていない	地元、職場も平戸、家も建てたので住むけど家建ててなかったら住みたくない。
243	田平地区	女性	35-39歳	あまりできていない	泊まれるお城など観光に力を入れていたり、昔の景観を損なわないようにすることも大切だと思いますが、住んでいる人の暮らしやすさを優先した政策をしてほしいと思います。子供も気軽に連れて行けるようなチェーン店などがあればいいなと思います。
244	田平地区	女性	40-44歳	あまりできていない	私的には満足。子供は遊ぶところがない。結果子供が増えない。
245	田平地区	女性	40-44歳	あまりできていない	田平地区は行事が多いです。運動会やバレー大会、ソフトボール大会、マラソン大会。全てほぼ強制のようなものです。やりたい人だけやるようにして欲しいです。拒否すれば嫌な目で見られ、真面目な人が損するような感じです。そういうややこしい街にわざわざ土地を買って住みたいとは思いません。こうやってアンケートできるのですから、そういう行事が必要なのか？やりたくない人がどれ位いるのか？など数値化して欲しいです。
246	田平地区	女性	45-49歳	あまりできていない	医療を受けるための環境の良さに関しては不満です。子供が小さい時に休日診療を利用したかったが、小児科の先生がいなくて、子供は診れないとの理由で断られた。また、地域のつながりの強さに関してはどの地域もある事だと思うが、あそここの家はあそこだと噂を立てる人がいて、それを聞いた時は嫌な気持ちになった。
247	田平地区	女性	45-49歳	あまりできていない	高齢者の足となる公共交通機関がすくないため、超高齢者が自動車の運転をしている。小児科受診の為、佐々、松浦まで行く人が多くまた産婦人科はもっと遠くまで受診しないといけいない。学校の教員不足なのか、産休の代理の先生が来ていないためその他の先生への負担増。ひいては子供達への教育格差が出ている。
248	田平地区	女性	45-49歳	あまりできていない	今後年を取り車の運転ができなくなった際の通院や日常の買い物に非常に不安を覚える。タクシーも減ると免許返納をためらう人も多いと思う。実際に、危険運転をしている高齢者も多い(一時停止しない。方向指示器を出さない。周りを見ていない)。
249	田平地区	女性	50-54歳	あまりできていない	高齢者相手の仕事をしている。環境はいいだろうけどみんな交通の便の悪さに困っている。若い人が流出しているので、独居老人が増える。
250	田平地区	女性	50-54歳	あまりできていない	税金が高すぎる。水道代も高い。
251	田平地区	女性	50-54歳	あまりできていない	公共交通機関が充実していないこと。タクシーが1つの会社しかなく不便なところ。

■問17 「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくりができているかの回答理由

No.	居住地	性別	年齢	「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくり	自由記述
252	田平地区	女性	50-54歳	あまりできていない	活気がない 閉塞感がある
254	田平地区	女性	50-54歳	あまりできていない	他県から来たばかりですが住むところがやはり不便。自然が多くのもんぶりはいいいですがこの状況が当たり前で生活してきた人には良いですが、インフラ整備が大切かと。
255	田平地区	女性	50-54歳	あまりできていない	観光には良いが、住み続けていくには、若い人達が集まりやすい施設やショッピングモール等ない
256	田平地区	女性	50-54歳	あまりできていない	子供の入学が控えているにも関わらず、住宅を出ていかなければならず、引越しと転校をしなければならなかった、住居を決めるまでの期間を設けるなど、少し融通をきかせてほしい。滞納しているならまだしも、滞納もしていないのに、子供に負担がかかってしまうというのは、どうなのか？皆さんそうしている、決まりだからという理由で転校しなければならないというのは子育てをしている親としては不満しかない。色々決まりはあるだろうが、急な引越しと転校の手続き、入学、本当に大変だった。学童も無理だとは思いますが、各学校にほしい。 あと、今 婦人部は解散している所が多いがまだ地区に残っているところがあり、若い人は勧誘されている人もいるが、仕事上参加出来ないことが多く断ったら、田平から出て行けと言われ、他の市に引越しをされた方もいる。そういう話を聞くと、住みやすい場所とは言えない。
257	田平地区	女性	50-54歳	あまりできていない	もっと細かく、個人レベルのニーズを考えた公共の力が必要だと思う。困っている人のニーズと提供するサービス(お金の使い所)がマッチングしていないと感じる
258	田平地区	女性	55-59歳	あまりできていない	大型スーパーマーケット(イオンモールのような)の出店が望ましい。色々な種類の店が入ることで経済も回るとし、イベントなどができれば集客が見込め、文化の活性化も図れると思う。
259	田平地区	女性	55-59歳	あまりできていない	年を取っていくと、不便なことばかりだと親を見て思う。自分の子供が県外へ出ていき帰って来ない。働く場所や交通が不便などがある。自分が望んでいる商業施設が近くにない。
260	田平地区	女性	55-59歳	全くできていない	物価は上がるばかりで給料が安すぎ。もっと住民のことを考えてほしい。もっと働く場所があればいいと思います。若者は出ていくばかりです。
266	田平地区	女性	55-59歳	あまりできていない	もともと平戸市で生まれ育った方々には住みやすいかもしれませんが、田舎特有の地域の繋がりの強さで他の地域から移住した時に負担になる。
268	田平地区	女性	55-59歳	あまりできていない	企業誘致
269	田平地区	女性	55-59歳	あまりできていない	郷土愛や助け合いや支え合う優しい気持ちの人が以前に比べて少なくなっている。 弱者に対する行政の対応が、役職の人数人でしょうが、悲しい対応や態度が気になります。
271	大島地区	男性		あまりできていない	若者の定住環境の整備が必要だと思う。
272	大島地区	男性	45-49歳	あまりできていない	人口減少の速さがそれを物語っている。
273	大島地区	男性	55-59歳	全くできていない	所得が低く家に残る理由がなければ、福岡や関西など所得が見込める地域へ移住せざるを得ない。利用はともかく平戸市の街中に買い物ができる場所がない。コンビニはあってほしい。

■問17 「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくりができているかの回答理由

No.	居住地	性別	年齢	「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくり	自由記述
274	大島地区	女性	40-44歳	あまりできていない	若者にとっての魅力があまりない。産婦人科小児科が足りない。子育て世代の拠り所や集まれる場所がない。保育所の状況が良くない。
276	大島地区	女性	55-59歳	あまりできていない	会議等の集合時間についても島民の移動のことは全くお構いなし。ならばリモートの活用を充実させてほしい。高齢者が多く、人口は少なく地元でやるべきことで、目一杯忙しい。無駄な時間を強要してくる機関に協力している暇はない。
277	大島地区	女性	55-59歳	あまりできていない	大型スーパー等ができてでも自家用車で行かないと利用できない。高齢者や子供でも利用しやすい場所に建てるか、循環バスがあればいいと思う。
278	度島地区	男性	35-39歳	あまりできていない	子供の減少を身をもって感じるため。
279	度島地区	男性	40-44歳	全くできていない	平戸市民の人間性が今の平戸を作っていると思う。現状に満足してはいけなさそうだけど、それほどまでに手を広げて貧欲になれない感じ。だけどプライドが高いので、新しい意見に対して素直に首を縦に振らない。最近では若い力がどこそで頑張っているの、うまくまとまって丸となればいいと思う。たった3万弱の市民なので、夢のある未来への視点と一方向にまとめることが平戸の未来を作れると思う。
280	度島地区	男性	45-49歳	全くできていない	地元の高校に通わせてスポーツもさせたいが、寮や下宿が全くないので、結局違う高校からスポーツを諦めさせなければならなくなる。もっと離島の子供達の事を考えてほしい。高齢者ばかり優遇されてそれ以外の年代の人たちはみんな我慢してる。だから、みんな出ていくんだと思います。子供が出ていけば、親も出ていきます。
281	度島地区	男性	55-59歳	あまりできていない	平戸に昭和の時のような活気が無いと思います 取り戻すのは平戸市単独では無理だと思います 日本中の地方も 国からの補助金等増やさないと国の緊縮財政では市長がだれがやっても同じだと思います 明治大正時代人口少ない時代もそれなりに自給自足で暮らして行けましたが 今の時代電気スマホ家電製品などで金かかり収入無いと生活出来ない金を配るか かからない暮らしが平戸で出来るようにすれば人口も増えていいのでは

■問17 「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくりができているかの回答理由

No.	居住地	性別	年齢	「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくり	自由記述
283	度島地区	女性	45-49歳	あまりできていない	度島からフェリーで平戸にでてきても、バス代が値上がりして、家計の負担になっている。 例えば、オランダ商館??平戸バスセンター??メルカド??市役所前??未来創造館??亀岡神社??OKホームセンター??セブンイレブン??エレナをどこからどこまで乗っても一回100円のバスがあればといつも思っている。 (ほかに、DAISOあたりと、シーライフひらどあたりも入りたいが、方向がちがうから難しいか。) ちなみに、山口県徳山市にそういうバスがある。平戸交流広場から、エレナまでのバスが無料でいつも助かっているが、8人までしか乗れないから、時々、希望の時刻のバスに乗れない?利用者の少ない日もあるから、なおさら、大きな市内ぐるりんバスができてほしい。 あと、平戸??佐世保の往復券2700円も復活してほしい。毎月の通院がある。今、片道1800円。900円も値上がりしているの、昼食代が惜しい。せめて、往復3000円とか。
284	度島地区	女性	50-54歳	全くできていない	離島は特に時化ると薄香行になるが、タクシーが少ないので、大きな買い物した時は利用しづらい。バスの本数も少なく感じる。移動も車を持っていないとどこにも行きづらい。車2台いるので車検など補助があっても良さそうに感じる。島での移動も車がいるし、平戸へ行っても車がいる。税金ばらまきする前に30~50代にも何らかの補助をしてほしいと感じるばかり。子供や年寄りばかりいい思いをしていて、30~50代にはほとんど何もないと感じています。
285	度島地区	女性	50-54歳	あまりできていない	交通の利便性をもう少し改善してほしい。TAXIが1社しかなく、なかなか配車してもらえなかったりするの、たまに困っています。
286	度島地区	女性	55-59歳	あまりできていない	医療の充実。佐世保の病院を紹介され、遠くて不便。娯楽施設が少ない。ジャスコなど大型ショッピングセンターが近くにあればよい。エレナも遠くなって不便。介護施設を増やしてほしい。でも人手不足!!

■問19 子育て支援の充実に関するアイデアや充実が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
1	平戸北部地区	男性	20-24歳	公園の整備。さくら馬場公園をもう少し考えてほしい。ボール遊びもできない。日影がない。小学生が遊ぶ、集うところがなくてかわいそう。
2	平戸北部地区	男性	20-24歳	市外へ通学する高校生への交通費の支援があるといいかなと思う。公園や(例えば交流広場)、小さな子と散歩や遊びに行っても草が生え過ぎていたり、水道(手洗い場)も水が出ないところがあるので、環境を整えてほしい。
3	平戸北部地区	男性	20-24歳	子どもの、発達障害が増加傾向にある。平戸にはそういった子どもを受診させる病院、施設等がありません。義務教育期間からから豊かな教育を受けさせるには、そういった施設が身近にあった方がいいと考えます。
4	平戸北部地区	男性	25-29歳	仕事や交通が悪いから、結婚子育てしようと思わない。他県に出ようと思う。
5	平戸北部地区	男性	25-29歳	直接的な給付金や、生活必需品の配布など
6	平戸北部地区	男性	25-29歳	・平戸市で子育てをする場合地理的に延長保育料を無償化にしてほしい。(月20時間を上限に無償などでもありがたい) ・上記の回答と矛盾しているが～を上限に無償化ではなく全て無償化にする勢いで取り組んでもらえるとなお良い。
7	平戸北部地区	男性	30-34歳	メリッタキッズのような室内で日・祝日に遊べる場所が欲しい。子育てひろばトコトコがキレイな場所にあつたらもっと良い(保健センターのトイレが汚い)。小学生の学童が無料になって欲しい。給食費が免除になったら助かる。
8	平戸北部地区	男性	30-34歳	産前に産婦人科に行くのが遠い。平戸市に産婦人科がないのだから交通費の補助はもう少し出してあげた方がよい。産後の環境はとてよくなっており、子育てはしやすいです。
9	平戸北部地区	男性	30-34歳	郊外型の商業施設に子どもと過ごせるエリアが併設されているような場所があれば良いと思います。
10	平戸北部地区	男性	30-34歳	市内に産科がないことはすごくマイナスだと思います。市内で出産できるようにして欲しい。
11	平戸北部地区	男性	30-34歳	観光事業に注力する。特に個人の観光客へのアプローチを行う。
12	平戸北部地区	男性	30-34歳	産婦人科をつくる、
13	平戸北部地区	男性	30-34歳	少子化が顕著なので、子どもを増やすための取り組みが必要だと思う。天候に関わらずのびのびと過ごせる施設があるとありがたい。それは、子どもだけではなくどの世代の人でも活用できると思う。
14	平戸北部地区	男性	35-39歳	子育てしやすい町をアピールし、移住定住につなげる

■問19 子育て支援の充実に関するアイデアや充実が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
15	平戸北部地区	男性	35-39歳	児童手当は現在の最高額が15000円というのは安すぎる。最低でも今の倍の30000円はあっても良いと思う。それも義務教育を終了するまで一律で。 また、現金以外の給付方法として10～30%を上乗せして平戸市内で利用できる期限付き商品券も選択肢にすれば市内の小売店に確実に還元され地域の活性化に繋がると思われる。 注意事項としては、 1.日本国籍を持たない親子には給付しない。(ルールを悪用する外国人が市内に増えて治安が悪くなる可能性を排除するため) 2.タバコや酒等、児童に関係無いものは買えないように小売店とも協力し徹底すること。(親の嗜好品や児童に関係の無い物を購入しているのが発覚した場合は即時児童手当の停止をする事を明記しておく事は必要。また、商品券を他者に譲ることが出来ないように、アプリ等で支払いができれば不正が困難になると思われる) 3.子供が2人目以降はさらに高いパーセンテージのサービスを付与する。(市内国内の日本人が増える事は未来への投資である) 上記のことが実行されたら、子供を持ちたい夫婦が移住して来たり、市の税収が増えたりといったことにも繋がり、子供がいる家族以外にもメリットが出てくると予想される。 給食費無償や教育費無償も効果はあるかも知れないが、児童手当の充実の方が市全体を考えるとメリットが大きいと個人的には思う。
16	平戸北部地区	男性	35-39歳	子供の病院をネット予約にして欲しい 診察の終わってから精算までが遅い
17	平戸北部地区	男性	45-49歳	若い夫婦目線で考えると、子作りをし子育てをしていく過程で、養育に見合う収入が得られるかが一番の問題だと思う。20数年後、子供が平戸にいてくれる状態を作り上げられるのは行政の力が大きいと思う。現状では子育て支援は充分にできていると思う。
18	平戸北部地区	男性	45-49歳	待機児童などないのでは。市の規模から考えれば現状で妥当だと思う
19	平戸北部地区	男性	45-49歳	相談体制の充実
20	平戸北部地区	男性	45-49歳	日本をより大切にする教育を市独自で行う。 道徳の授業を復活させる。 万国共通の英語を重視する。
21	平戸北部地区	男性	45-49歳	学生の市政参加
22	平戸北部地区	男性	50-54歳	親子があつまれる場所がない。文化センターでフリマでも行うといいと思う。そういう場所があれば集まった人たちの会話が増え、子育てに関しての良いアイデアも出るのではないかな。いたるところにご意見箱を置くと良いと思います。
23	平戸北部地区	男性	50-54歳	市民の意見を集約してアイデアがたくさんあってもそれを活かせる実行力がある人が必要
24	平戸北部地区	男性	50-54歳	中高生の教育支援やスポーツ支援をして、市外に行かなくてもいいようにしては。 このままでは平戸市から高校がなくなり、そうすると親もいっしょに市外に出ていきます。そうなるとなかなか帰って来ないと思います。
25	平戸北部地区	男性	55-59歳	子育て支援はかなり頑張っていると思う。
26	平戸北部地区	男性	55-59歳	市内高校の就職、公務員等への進路を作っておける。
27	平戸北部地区	男性	55-59歳	子育て支援については、平戸市だけでなく全国の自治体で取り組まれており、子供の教育費や医療といった支援の充実が必要と思う。また、学校が分散させることでの通学の問題なども、平戸市で子供を育てる上ではマイナスとなる。平戸市全体で子供を育てていく仕組みづくりが大切である。特に高齢者を子育てにどのように組み込むか、仕組みづくりが必要である。
28	平戸北部地区	男性	55-59歳	子育て家庭への支援がまだ足りてないと思う。特に中高生の子供がいる世帯への支援、支給が不十分。
29	平戸北部地区	男性	55-59歳	結婚、出産に対する支援事業。出会いの場の提供。
30	平戸北部地区	男性	55-59歳	特に無いし期待してない。

■問19 子育て支援の充実に関するアイデアや充実が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
31	平戸北部地区	男性	55-59歳	以前と比較すると充実している。
32	平戸北部地区	女性	20-24歳	親が社会から孤立してるから。
33	平戸北部地区	女性	25-29歳	どんどんよくなってきていると思うので無い。
34	平戸北部地区	女性	25-29歳	妊娠出産してもフレックスタイム制度などを各企業で導入して働きやすい職場がほしい 小児科、産婦人科を増やして育児や出産をより快適で安全なものにしてほしい
35	平戸北部地区	女性	25-29歳	保育所等の人員増加や、両親の時間外勤務に対する対応など。
36	平戸北部地区	女性	25-29歳	小児科が少なすぎる。 子供の遊べる施設がない。 テーマパーク的な施設が欲しい。
37	平戸北部地区	女性	25-29歳	お金が無いと子育ても、子供を持ちたいという気持ちもなくなってしまう。まずは若者の所得増大が大切ではないかと思う。
38	平戸北部地区	女性	30-34歳	雨の日に子供がのびのびと遊べる場所が無いので、使われていない施設や放置されている場所を有効活用してほしい。入場料〇〇円、ボール遊び、マット運動、なわとび(長縄)等、運動不足の解消につながる内容であるとなお良いと思う。また、ライフカントリーの草スキーや遊具を復活させることはできないか。
39	平戸北部地区	女性	30-34歳	医療期間の充実を希望。ほとんどの母親が平戸市外の病院を受診するために30分から1時間かけて通院している。保育無償化の取り組みはかなり評価できる。また、現金給付とは別にミルクやオムツ代のチケットなど現物給付の支援があれば嬉しい。
40	平戸北部地区	女性	30-34歳	有料でもいいので、屋内型の広場が欲しいです。夏場に遊ばせる場所に困りました。異常気象が続き、今後もますます暑くなると思うので、検討していただきたいです。
41	平戸北部地区	女性	30-34歳	遊戯施設が全くない。雨の日や遊びに行くとなると佐世保にいく
42	平戸北部地区	女性	35-39歳	助成券など補助はあるようだが、産院がないことにびっくりしたところでは。いざという時、近くに病院がないと不安だと思いますし、何とかならないものでしょうか？
43	平戸北部地区	女性	35-39歳	保育料がここ数年で無料になりましたが、その分、別の税金等で負担になっている。無料にするより、継続的に支援できる対策があればいい。
44	平戸北部地区	女性	35-39歳	平戸市に産婦人科を誘致してほしい。産後の検診代も佐世保市と同じように無料にしてほしい。
45	平戸北部地区	女性	35-39歳	休日保育の充実・・・ファミサポは正直不安があり、値段的にも使用したいと思えません。支援センター、遊ぶ場所・・・大村市のおむらんどのような場所があれば。子供を連れていけるレストランもあるといい。
46	平戸北部地区	女性	35-39歳	小児の医療費助成。子育て世代の(未就学児)いる家庭の賃貸補助。ランドセル代1万円補助。平戸は家賃が高い。
47	平戸北部地区	女性	40-44歳	子供が遊ぶ場所、アスレチック、公園が少ない 陸上競技とかできる環境があれば市外にできることもすくなるのでは？
48	平戸北部地区	女性	40-44歳	子供が3人以上の所には車の税金を補助してもらいたい。 2人までは軽でも乗れるけど、3人以上は普通車になるので税金が痛い。
49	平戸北部地区	女性	40-44歳	子育て支援も大切だけど独り身の世代が取り残されている

■問19 子育て支援の充実に関するアイデアや充実が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
50	平戸北部地区	女性	40-44歳	地域で子どもを育てていこうという意識が強く、子どもを育てやすい環境だと感じました。 改善点を上げるなら ・学童保育所を含めた保育・託児施設の人員不足解消 給与が低いいためか人員確保に課題があるようです ・図書館の更なる充実と活用 子どもの教育を真剣に考えている移住者は図書館の質を見ます。図書館の質はその地域の文教への関心を反映するので。平戸市図書館は他地域になかなか類を見ないほど素晴らしい館ですが、例えば現在、平戸小学校では放課後に近隣の図書館に立ち寄ることができないそうですし、図書館への公共交通のアクセスも悪いですが、そういう点がやや気になります。
51	平戸北部地区	女性	40-44歳	高校生の就職先を市内に誘致出来るような、企業を招いて欲しい。
52	平戸北部地区	女性	45-49歳	市内に雨天時でも遊ばせられるような施設があってもいいのかなあと、特に子供が小さい時には感じた。
53	平戸北部地区	女性	45-49歳	産婦人科などの医療充実。
54	平戸北部地区	女性	45-49歳	0歳～3歳児を育てているときは社会とのつながりが少なく、それぞれの家庭環境もありますが、個人的に「親育ち講座」や「トコトコ」は救われたと思っています。
55	平戸北部地区	女性	45-49歳	産婦人科・小児科が必須。税金のバラマキよりも雇用と収入のUPを。優秀な人材が市外に流出していれば、平戸市の学力は低下していく一方。そうすると優秀な子は市外の学校を選ぶようになり、市外で就職し・・・と負のサイクルになっていると思う。
56	平戸北部地区	女性	45-49歳	さくらば公園のように、人の目につきやすい場での公園設置。スポーツを楽しめる広場（バスケットなど）乳幼児の支援充実以上に、それから先の子供への支援を充実してもらえると、不安が減る（給食など・・・）。図書館や支援センターなどと併設して、レストランやカフェ、広場があると良い。
57	平戸北部地区	女性	45-49歳	出産の経験がないので、支援の充実状況がよく分かりませんが、まずは、市内に産婦人科があるといいなと思います。
58	平戸北部地区	女性	45-49歳	遊ぶ施設があればよい
59	平戸北部地区	女性	50-54歳	一人で抱え込まないように、田舎の良さを活かして地域で子育てできるように、保育園とか老人施設とか障害者施設とか・・・ボーダレスに、皆で関わりあったり、支えあえたりできる仕組み。
60	平戸北部地区	女性	50-54歳	相談の場。発達センターのような検査ができる医療機関。
61	平戸北部地区	女性	50-54歳	サービス（支援）の受けてのニーズに合っていない。
62	平戸北部地区	女性	50-54歳	身体を使って遊べる施設が欲しい。
63	平戸北部地区	女性	50-54歳	今は子育てから離れてしまっていてわかりませんが、医療費、子供はかからないのでしょうか？県外に住む姉のところは子供の医療費はかからずいいなと思っていました。
64	平戸北部地区	女性	50-54歳	子育ての経験がないので、すみません、イメージが全くわかりません。
65	平戸北部地区	女性	50-54歳	海水浴や山登り、農林水畜産業の体験など、平戸市でしかできない教育や思い出作りがあったら良いと思います。
66	平戸北部地区	女性	50-54歳	発達に支援が必要な子ども達の支援の場と、それに従事する人をもっと増やしてほしい。
67	平戸北部地区	女性	55-59歳	ボランティアや安い価格で子供を預かってもらったり、勉強や趣味を教えてもらったりすると、親としては良い環境だと感じるのではと思います。
68	平戸北部地区	女性	55-59歳	仕事を持つ親が勤務中に子供が熱出したりけがしたりした時に親に代わって保育園のお迎え(場合によっては、病院へ連れて行ってもらう)のサービス

■問19 子育て支援の充実に関するアイデアや充実が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
69	平戸北部地区	女性	55-59歳	まず、産科が今は無いのが第一問題 夜中産気づいても、佐世保まで車で これでは人口は増えないし、小児科が少ない。 まず婦人科ですね
70	平戸中部地区	男性	30-34歳	親子で遊べる施設や交流のできる公園など増設し、イベント事をもつ と企画し実行してほしい。
71	平戸中部地区	男性	35-39歳	保育園(幼稚園)～高校卒業まで学費、給食費、医療費など育てる ための費用を無料にする。
72	平戸中部地区	男性	40-44歳	各地区に1つは公園が欲しい。産婦人科。母親、父親が子育てしな がら働ける環境や支援。
73	平戸中部地区	男性	40-44歳	現在、取り組みの強化をお願いします?
74	平戸中部地区	男性	40-44歳	産婦人科のある病院を復活させる
75	平戸中部地区	男性	45-49歳	子育て世帯と高齢者をつなぐ。高齢者は教育、指導の立場ではな く、多種多様な人生経験、思考、立場との接触により、多くの刺激を 受けることを期待したい。接触の機会を増やす。できれば施設。
76	平戸中部地区	男性	45-49歳	中学生、高校生へのバス代の補助。将来平戸に戻ってくる若い人へ の補助。
77	平戸中部地区	男性	45-49歳	核家族だと子育てしながらの仕事は大変です。親と同居しておじい さんおばあさんにも孫育てを協力してもらう。
78	平戸中部地区	男性	50-54歳	出生から中学校を卒業するまで医療費・教育費を無料にする
79	平戸中部地区	男性	55-59歳	自分たちが子育てしていた時に比べれば、保育料無償化や医療費 等かなり改善されているにも関わらず、子供達が少ない現状。今、 子育ては終わっていますが、他の地域と比較すると、子供を中心と したイベントの少なさ。(キッズのみのスポーツイベントや夏休み中 の工作作成するためのイベントなど)地域の行事とは別に、イベント を開くこと。子泣き相撲を見ても、祖父母、親戚、たくさんの応援が あっている。にぎわっている。子育て支援の視点のズレも感じる。
80	平戸中部地区	男性	55-59歳	平戸市に住む他人の子どもに対する愛情が自分の子ども達が他自 治体に居る高齢者に少ないため。
81	平戸中部地区	女性	30-34歳	中南部地区に図書館の近くに広い公園が一緒あれば、休日は楽し めると思います。
82	平戸中部地区	女性	35-39歳	中部地区には公園(アスレチック)がなく、外に遊びに連れ出せな い。近場に公園があれば助かる。昔ながらの考えが、嫁にとって不 満だらけなので、おじいちゃん・おばあちゃんに対しての今と昔の違 いを伝える場を強制参加で行ってほしい。
83	平戸中部地区	女性	35-39歳	充分やっています。
84	平戸中部地区	女性	40-44歳	ファミサポの活性化 ベビーシッター 三世帯同居ばかりではないことを市は認識してほしい。学童保育も 対応が遅かったと思っています。
85	平戸中部地区	女性	40-44歳	平戸市は未就学児までの子育て支援に対しては他所の地域より充 実していると思います。 保育料無料も、自分の子どもたちの時代は働きに出ても保育料で給 料がほとんど残らないような状況でした。 ただ自分の子どもたちが大きくなってきて思うことは、小さい子ども がいる世帯だけの支援の充実だけではなく小中学校の給食費の無 料化なども考えていただけたらと思います。 小さい子どもを育てている家庭だけが優遇されているように感じるこ とがあるので、他にもお金を使うところはあるのでは?と思います。
86	平戸中部地区	女性	40-44歳	中部、南部地区には子供が遊ぶ公園がない
87	平戸中部地区	女性	45-49歳	産婦人科が市内にないため、まずどうにかしてほしい。小学校も閉 校し、中学校圏域でも子供の数が少ない。学力がもっと上がるよう に、放課後はそのまま塾にしたり開放してほしい。夏休み、冬休み、 春休みなども。
88	平戸中部地区	女性	50-54歳	立地が悪いので、活性化は難しいと思う。

■問19 子育て支援の充実に関するアイデアや充実が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
89	平戸中部地区	女性	50-54歳	人口現象により、子供達の学びや運動の機会が失われている。親も働いているため、送り迎えが不可能で諦めざるおえない。能力があっても、生かしてやれない。
90	平戸中部地区	女性	50-54歳	両親が安心して仕事ができる環境や地域での子供の見守りなど、昔の地域のようにあの子はどこの家の子などがわからなくなってきた、時代の流れなのかもしれないが災害時などを考えると地域が子供に近くなった方がいいと思う。
91	平戸中部地区	女性	55-59歳	若者の出会いの場が少ない。女性も少ないが、結婚に前向きでない男性も多い。例えば子供ができて、保育園の送迎や就学しても、低学年の時は子供を見ってくれる人が少ないと女性は働きにくい。学童保育の充実は必須。また、夏休み等の長期休みの時の支援もいると思う。
92	平戸中部地区	女性	55-59歳	子育てをしたことがないのでよくわからないが、安心して働ける場所、時間、お金がないのではないのでしょうか？
93	平戸中部地区	女性	55-59歳	子供を産みたくても近くに産婦人科がない。子供の急な発熱などで仕事を休むと、職場にイヤな顔をされる。休みづらい。熱があっても預かってくれる保育所があれば…と思う。男親も交代で休んでいるが、あからさまに文句を言われる。査定に響いて給料が下がった。
94	平戸南部地区	男性	25-29歳	オムツのゴミ出しを無料にしてほしいです。
95	平戸南部地区	男性	30-34歳	夜間保育できるところを増やしてほしい。遅出や夜勤でも出勤できるように。
96	平戸南部地区	男性	30-34歳	娯楽施設を増設。 小さい子が遊べる公園の改善。 若い子の遊べる施設を建てる。
97	平戸南部地区	男性	40-44歳	ファミレスがあると助かる。外食するにも遠出が必要なため。
98	平戸南部地区	男性	45-49歳	少子化の中、地区ごとにある児童館は重要ですが、市内中心部に総合児童館というか、小学生までの子どもが親子で遊べる場所があると良いと思います。そこに行けば、市民は育児についての悩みが話せたり、アドバイスがもらえるなど安心して育児が出来る施設で、もちろん市外からの利用も利用料を徴収する事で利用可能に子ども連れの観光客の利用も想定し、育児相談などから移住につながるなども考えられるような多機能施設。
99	平戸南部地区	男性	55-59歳	地域住民の生の声を聞いてほしい。
100	平戸南部地区	男性	55-59歳	職場と密接な子育て環境の充実。
101	平戸南部地区	女性	30-34歳	将来、平戸に戻ってくる子に対し、給付型の奨学金を与える。
102	平戸南部地区	女性	30-34歳	①不妊治療にかかる費用の負担。 人工授精では1回に1万円かかる。 ※松浦市では助成金があるため。 ②子どもが遊べる場所が少ない 思い切って有料のアスレチック施設を作る。 (平戸は海が綺麗で、自然も豊かなため体験型施設があると良い) 県外からの集客も見込める。 市内在住者は割引にする等工夫をして、 子育て世代が住みたい！と思うような空間を演出する。 ▼参考 Sport & Do Resort リソルの森
103	平戸南部地区	女性	30-34歳	傷病児看護できる保育園が増えてほしい
104	平戸南部地区	女性	35-39歳	夏休みなど長期休みなどになると特に、近くに子ども食堂などの利用できる場所が欲しいと感じる。そういった所に人が集まり子育ての悩み、不安を相談できると、一つの場所で支援が充実すれば、利用しやすくなるのでは？と思う。気楽に相談したり、悩みを解決してくれる場所が必要ではないかと思う。

■問19 子育て支援の充実に関するアイデアや充実が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
105	平戸南部地区	女性	35-39歳	平戸市の企画課の政策企画班が考えてください！！
106	平戸南部地区	女性	35-39歳	日曜日にも特別な理由があるとき、子供を預かってくれる場所がほしい。
107	平戸南部地区	女性	40-44歳	部活動が地域移行しているなかで、地域にどのような運動サークルがあるのか、最初はさっぱりわからなかった。人づてやに聞いて参加しているが、小・中学校の入学の時点で紹介があってもいいと思う。
108	平戸南部地区	女性	40-44歳	子供達のがのびのび遊べる環境施設(大きな公園)が少ないので大人も軽いウォーキングができるような、子供から大人なまでゆっくり楽しめるような公園ができればいいなど。
109	平戸南部地区	女性	45-49歳	まずは医療が不十分。小児科の専門医が少なすぎる。そのために佐々まで足を運ぶ場合もある。また、公園も少ない。
110	平戸南部地区	女性	45-49歳	市内の高校生の通学のための公共交通機関の充実。ファミレスなどがあると、平日仕事や育児で疲れた親たちの助けになると思う。
111	平戸南部地区	女性	50-54歳	子供が小さい頃から平戸市内で多くの体験ができる環境を作って欲しい。
112	平戸南部地区	女性	50-54歳	子供は地元の学校で育てることが望ましいが、最近では高校から市外の高校に進学する子も多く、塾に行くのも、市外まで車のおくり迎えも珍しくない。 上の学校に行き、免許を取ろうと思えば、市外に出て自立し、そのまま他県での就職に繋がる人が多い。
113	平戸南部地区	女性	55-59歳	保健師さんの活用で、子育ての相談、妊婦の相談、子供を預けられる環境を整えてほしい。子育て支援サポートが当たり前の環境づくりを。
114	平戸南部地区	女性	55-59歳	保育資格は必要だが、子育てが終わった世代で子供好きで預かりたいと思う方々に手伝ってもらえればいいと思うのだが、(預かる所の減少で)環境を整えることが大事だと思う。
115	平戸南部地区	女性	55-59歳	予算も必要でしょうが・・・若い親さん達の仕事が多くあり、保育などの専門の方の募集をして頂ければと思います。
116	平戸南部地区	女性	55-59歳	平戸高校の生徒の数が減ってきている。ほとんどが市外へと・・・。地域に合った学科(水産・農林業)とか3年間でなにか資格を取れるようにしたら、もっと地元に残る子供達が平戸高校へ行くようになるかもしれませんね。
117	平戸南部地区	女性	55-59歳	保育園や幼稚園などに場所の提供と協力得ながらおやこ参加のものづくりや遊び体験を行う。 その際、大学生等のボランティアを募り手薄な人材を補充する。
118	生月地区	男性	40-44歳	給食費(小中学校)無償化。
119	生月地区	男性	45-49歳	子育て世代の税金の免除。
120	生月地区	男性	45-49歳	安心して出産出来る環境整備
121	生月地区	女性	18-19歳	産婦人科が近くにないから、小さくてもいいから近くに欲しい
122	生月地区	女性	25-29歳	気軽に利用できる支援センターが少ないことと場所が狭い。 もう少し広いところがあると人が多くても利用しやすい。
123	生月地区	女性	25-29歳	気軽に相談できる窓口などがあればいい
124	生月地区	女性	35-39歳	市民の経済的負担の軽減(光熱費、水道、ガス代の補助金など)子育て世代への給付金や市内で利用できるお買物券などの給付。
125	生月地区	女性	40-44歳	育休で1年間収入が減るところを市からの支援金を給料同等に出してもらえば、移住者も増えるのでは？誕生日祝い金を5～6才まで欲しいです！
126	生月地区	女性	40-44歳	子育てをしやすく住みやすい環境を作るために支援を充実させ、もっとSNSなどでアピールしていった方が良くはないか。
127	生月地区	女性	40-44歳	生月地区に住んでいますが、高校生のバス定期代が月3万円近くになる。そのため生月から平戸、田平へ家を建てたりしてどんどん人口が減っていったのが現状です。もっと隅々の町まで見るべきです。これでは生月地区では子どもを育てられなくなります。どうかしてほしいです。

■問19 子育て支援の充実に関するアイデアや充実が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
128	生月地区	女性	45-49歳	市・町・地域・活気がない。
129	生月地区	女性	45-49歳	学校の老朽化が進み、学ぶ環境としてはがっかりすることもあります。トイレの使用禁止(故障)が長く続いています。また、室内で遊べる環境が少ない。雨の日でも遊べる場所がほしい。(メリッタ佐世保のような施設)
130	生月地区	女性	45-49歳	公園の遊具の充実、公園の数はあるが遊具がどこも一緒！景色がいいのでいい公園を！
131	生月地区	女性	50-54歳	中学高校で部活でお金がかかりすぎる。定期券代が高すぎる。食べ盛りなので、お米券が欲しい。子ども手当を毎月振り込んで欲しい。高校まで病院代を0円にして欲しい。
132	生月地区	女性	50-54歳	子供を持つ親は誰でも悩みがある。聞いてくれる人がいると助かる部分があるはず。
133	生月地区	女性	50-54歳	子育てのことはわからない。
134	生月地区	女性	50-54歳	県内に高校、大学が少ないのでどうしても県外へ行くことになるので、補助金があれば平戸市から出ていけないのではと思います。実際、家族で近くへ引っ越して出て行ってしまい人口が減ってます。
135	生月地区	女性	50-54歳	少子化のため、合併必要。子供が産まれたらお祝い品とか、平戸市で子育てしたいと思わせる何かが必要。
136	生月地区	女性	50-54歳	そもそも出産可能な産婦人科がないので、子育てをする地域として最初から選択肢から外れてしまっています。親や親戚がいるという縁で平戸に住むことによって子育てしやすい環境ということに気づくことが出来ますが、ほんのひと握りです。今いる数少ない子育てをしている保護者を大事にすることが外せない視点だと思います。
137	生月地区	女性		子育て教室や、母親学級などの開催をもっと多くするべき。(無料で)若い親子がもっと活用できる施設を増やすべき。(室内遊具がある場所等)市が企画して親子レクレーション(自然を活かした)等。発信して(他県の人にも)田舎の魅力を伝えるべき。
138	田平地区	男性	30-34歳	平戸市に住むと受けれる手当等を知らないの、市役所等で聞かなくても、みんな知ってるぐらい分かるように、宣伝等をして欲しい。
139	田平地区	男性	35-39歳	日・祝日も子供の預かり先があるとよい。
140	田平地区	男性	35-39歳	姉妹園のある保育施設は保育、育児の情報のアップデートや共有はできていて良いが、そのほかの園の一部では遅れていると感じるので、可能であれば市内の園同士での意見交換、共有を行ってほしい。集まるのが難しいのであれば、ウェブもしくはLINE等での共有等でも良いと思う。
141	田平地区	男性	35-39歳	共働きが多い為
142	田平地区	男性	35-39歳	給食費無償化
143	田平地区	男性	35-39歳	子どもを保育園に預けているが、保護者の負担が他市よりも多い。これでは本市では子育てをしたいと思わない。 また、子どもが軽度の病気のときでも預けることのできる施設があるとよい。 どうしても仕事が休めない時もあると思う。
144	田平地区	男性	35-39歳	雨の日でも遊んだりできる、遊具がある施設があると嬉しい。保育士さんやカウンセラーの人がいて、子供が遊んでる間に色々話を聞いてくれる人がいると嬉しい。公園も晴れた日でないといけないし、子供が多いとワンオペで外に連れて行くのは億劫。雨の日は家で静かに過ごすしかないの。見当違いの回答でしたらすみません。
145	田平地区	男性	35-39歳	子育て支援の充実というよりは、地域の将来である子どもにリソースを全振りするべきだと考えます。子供手当のさらなる拡充もそうですが、出産一時金、給食関係(給食費負担軽減や給食内容)、小児科の誘致等を進めるべきだと思います。市民センター等を利用した疑似映画館においては、子ども向けのアニメ放映を企画する等、子ども第一で考えて行けたらと思います。また、PTAの半強制等も規制するには法的根拠に欠けますが、何かしら一石を投じる機会があればと感じます。

■問19 子育て支援の充実に関するアイデアや充実が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
146	田平地区	男性	35-39歳	産婦人科が近くにないのは不安ですね。 また小児科も、北川病院がありますが待ち時間が非常に長く、基本的に市外に行ってます。セカンドオピニオンのため複数あったが安心ですね。 北部・田平地域の公園は比較的綺麗に整備されてると思いますが、有料(市民プールほどだとありがたいが)でもいいので雨天や冬用の未就学児童向けの屋内遊具施設があればと思います。
147	田平地区	男性	40-44歳	子供がいないのであまりわかりませんが、少子化ですので今のままでいいです。
148	田平地区	男性	40-44歳	子育てマイホーム支援事業を積極的にやってほしい。
149	田平地区	男性	40-44歳	産科、婦人科が必要。
150	田平地区	男性	40-44歳	子供が遊べる施設が少ないと思います。雨天でも遊べる施設があるといいと思います。
151	田平地区	男性	40-44歳	母親に対するフォローはあるが父子家庭に対してはあまり無い。(知らないだけかもしれないのですが子育てのなか結構不安なときもあったりします)
152	田平地区	男性	40-44歳	雨の日に利用できる屋内遊具施設があるといいと思う
153	田平地区	男性	40-44歳	高額所得者に対する子供手当の廃止。もしくは段階的な支援金の拡充
154	田平地区	男性	45-49歳	若い女性に残ってほしいor来てほしい場合、出産、医療、学費(高卒まで)を無償化することで流出をおさえ、流入を増加させたいと思う。まちづくり(コミュニティ推進の1.8億円)の費用はちゃんと活用されていますか？それより上記の無償化に使った方がインパクトもあり、人口も増え、税収も増えると思う。地域子育て支援拠点事業、具体的に何にいくら使っていますか？妊婦健康診査にかかる交通費等を一部ではなく、全部助成に。
155	田平地区	男性	50-54歳	子育て支援に関しては十分だと思う。保育士や幼稚園教諭など、働いている人を大切にする対策も必要ではないかと感じる。
156	田平地区	男性	50-54歳	子育て前に男女の婚姻の促進が重要である。1. お金のない夫婦が結婚するときは資金の貸し付けを行う(無利子)。2. その返済額はのちに誕生する子供の人数によって減免する。(例えば子供1人につき減免額は1/4 or 1/3 or 4人産めば返済額はゼロ)
157	田平地区	男性	50-54歳	今から小さい子を育てていく人は、少し前より恵まれている気がする。自分たちの子育て中の時は、子ども手当も今のうちに充実していなく、生活が苦しくて子供を預けて仕事もできなかった。今はまだ良いと思う。助けてもらえる所がたくさんある。
158	田平地区	男性	50-54歳	給食費の無償化。
159	田平地区	男性	50-54歳	・子育て支援については国策で行うべきだと思います。 ・保育園の先生方の処遇改善をし働きやすくする必要があると思います。 ・教育水準が低すぎます。もっとレベルを上げるような取組が必要だと思います。底上げも大切だと思いますが、伸びる生徒をもっと引き上げていくことが大切だと思います。
160	田平地区	女性	20-24歳	オムツプレゼントがほしい
161	田平地区	女性	30-34歳	通学路などイノシシの通り道でもあるため、危険でしかない。改善も何もできていない。市に伝えても何もしてくれない。子供を学校に送るのも大変。
162	田平地区	女性	30-34歳	学校給食費無料。家賃やローンの手厚い減税。病後児保育。
163	田平地区	女性	30-34歳	いくつか子育て支援の方法を市の方で提案してもらい、アンケート等を取ったらどうでしょうか？
164	田平地区	女性	30-34歳	産科医がいらない。→安心して産めない。30W頃より佐世保に泊まり込める施設を作りたい。
165	田平地区	女性	30-34歳	学校給食費の補助金額拡大 医療の負担額の見直し希望

■問19 子育て支援の充実に関するアイデアや充実が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
166	田平地区	女性	30-34歳	病児保育を開設していただきたい。 移住してきたので 両親や祖父母など市外にいる。 病気になった時に市外にいる身内に 預けにいか、市外の病児保育に預けるか 仕事を休む選択をしないとけなくなるので それがすごいストレスです。
167	田平地区	女性	35-39歳	保育料、学童料、給食費などの無償化が増えると助かる。あと、子供達の遊び場ももう少し増えてほしい。子育て世代が住みやすい環境だと若い人も増えるんじゃないか。
168	田平地区	女性	35-39歳	休日の雨の日に子供が遊べるような施設が近くにないので空いている土地に室内の娯楽施設があったらいいと思います。
169	田平地区	女性	40-44歳	子供が安心して遊べる場があったらいい。家の中でゲームしている子ばかり。親子で参加して楽しめるイベントがもっと増えたらいい。レジャーが平戸にはない。子供にも若い女性にも。男の人は釣りにでも行くから平戸は最高だと思う。キャンプ場はあっても、施設が整っていないか、高額。
170	田平地区	女性	40-44歳	病後児保育の充実が必要
171	田平地区	女性	40-44歳	学校は先生が足りてないかと思います。 授業だけで一杯一杯な為、子供たちや保護者の問題が大型になってからどうしようも出来ないような所にくるまで何もしてなかったとなってしまうと思います。 先生の数を増やしたり、先生じゃなくても相談する方やカウンセラーなどを常時学校に置くべきかと思います。
172	田平地区	女性	45-49歳	緊急があった場合、安心して診てもらえる病院。
173	田平地区	女性	45-49歳	核家族、夫婦共働きが多くなってるので 仕事で休みが取りにくい状況の場合に 体調が悪い子供を見ってくれる有料施設 小さい子供が遊べる、室内の遊具のある施設 佐世保の名切にあるような施設
174	田平地区	女性	45-49歳	子育て支援もですが、産む施設が無いのが非常に気になります。臨月の長時間運転の不安や陣痛時の交通手段が確実でない理由で複数産むのをあきらめました。家族には頼れずタクシーで通院するのは現実的でない距離ですが、みなさん、家族が仕事を休んで支援しているのでしょうか。
175	田平地区	女性	50-54歳	在宅ワークでもできるような企業の雇用促進。
176	田平地区	女性	50-54歳	四季があまり無くなってきた近年であります自然の豊かさの意味の中にある問題を知っていくことも必要かと。 子供たちにも自分の生活する平戸市がどういうところなのか、他県の人にしっかり説明出来るくらいの知識があったりすると素敵かなと。 学んでいくうち子供たちが成長し、その問題を解決出来るような救世主も現れたりすると教える大人達にも夢がある気がします！ 熱意を持って平戸のことを必死に話すそんな講師が子供たちに分かりやすく熱意を持って教えれば伝わればと。
177	田平地区	女性	50-54歳	学童を各学校に配置する
178	田平地区	女性	50-54歳	子供ができなかったため具体的にわからない
179	田平地区	女性	50-54歳	子ども達が自ら学びたいと思えるモデルケースの情報発信
180	田平地区	女性	55-59歳	もっと広い施設があればいいと思う。
181	田平地区	女性	55-59歳	将棋・囲碁・習字・茶道・俳句・絵画・茶道・華道・ピアノ・昔遊び・読み聞かせなどお年寄りに教えを乞いながら、子供達を見守ってもらう(犯罪に巻き込まれないために)。保健師(常駐)にサポートしてもらう。

■問19 子育て支援の充実に関するアイデアや充実が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
182	田平地区	女性	55-59歳	子供が例えば県内の大学に入学した場合の入学金や授業料等を配慮したり、平戸市内に就職した場合の特典(金銭)的な優遇などあれば良いか？
183	田平地区	女性	55-59歳	郷土愛を育む授業 食育 地域の魅力体験型 田植え 稲刈り 餅つき 魚裁き方や、野菜を育てる など生きていく上で大切な事 災害時の知識やアイデアなど、小さい頃に学事が大切だと思う
184	大島地区	男性		産婦人科・小児科等の充実が必要。
185	大島地区	男性	55-59歳	離島においては塾もないので、子供がいる住宅については端末を無償で貸与し、オンラインでの学習ができる環境を作る。
186	大島地区	女性	30-34歳	産婦人科がないことが1番不安要素です。交通費とかより、何かあった時にすぐ受診できない不安感です。妊婦にとって安心できる環境が整うことを願います。
187	大島地区	女性	40-44歳	高校生までの医療費の無償化。保育料の無償化。給食費の無償化。今後の平戸市を支える子どもにお金をかけずに、平戸の未来はないです。子育て世代を全力で支えるべき。
188	大島地区	女性	50-54歳	小学生までの児童は学童保育、中学生以上は部活動を社会体育化し、地域で子どもたちを見守る体制を強化する。
189	大島地区	女性	50-54歳	小さな子供を連れてゆっくりできるカフェ(子供達が本を読んだり、積み木をして遊ぶスペースがあるといい)
190	度島地区	男性	35-39歳	一部地域で行われている、ランドセル買い上げ時の補助金等、子育て支援を取り入れる。特に大分は子育て支援に力を入れていると聞いています。
191	度島地区	男性	40-44歳	子供ができる環境＝安定した仕事がある事だと思う。
192	度島地区	女性	45-49歳	子育て支援は充実していると思います。産科が遠方にしかないの、陣痛タクシーも充実すると良いと思います。(タクシー会社も減少しているので、救急車との連携なども)
193	度島地区	女性	45-49歳	子ども向けのイベントをたくさん開催してほしい。田平公園でみんなで遊ぼう??とか、古着のおゆずり会とか、フリーマーケットとか。 雨の日でも遊べる場所もほしい。 あと、平戸バスセンターから、図書館や公園、シーライフひらどに行けるバスを作ってほしい。人気が出ると思う。 動物とふれあえる場所もあったらいいと思う。

■問19 産業振興に関するアイデアや振興が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
1	平戸北部地区	男性	20-24歳	事業主の方々に、アイデアや意欲がわく指導者でもいたらいいいの にと思う。やり方がわからないのでは？と思う。
2	平戸北部地区	男性	20-24歳	せっかくの観光地が自然のみで、平戸のよさを売っているの、川 内の馬体験のような、自然?アクティビティを取り入れた方がいいと
3	平戸北部地区	男性	25-29歳	他の観光地みたいに、お土産屋の通りがあると町がにぎやかになる と思う。YouTubeのイベントとかをすると人が集まると思う。ハウステ ンボスとか入れなかったと聞いたことがあります。先の事を考えて平 戸に職場を増やしてほしい。
4	平戸北部地区	男性	25-29歳	これは頑張ってるように思う。色々なところで催しの広告を目にする 場面がある。波佐見陶器まつりのように全国からも訪れるような催し があるとさらにいいのかもしれない。
5	平戸北部地区	男性	30-34歳	ショッピングモールが欲しい。買い物をする場所がなくて困る。毎回 佐世保や伊万里まで行かないといけなくて遠い。
6	平戸北部地区	男性	30-34歳	平戸市の町中に、ゆっくり入れる店が少ない。飲食店などが作れ る、作りやすい町にしたい。
7	平戸北部地区	男性	30-34歳	専門的な教育機関(農業や水産業の大学など)があれば活性化する と思います。
8	平戸北部地区	男性	30-34歳	耕作放棄地の問題を解決し、農地の斡旋を行う。
9	平戸北部地区	男性	30-34歳	中野はかまぼこだけでなく、鄭成功を生かし、台湾グルメなど推して いく。
10	平戸北部地区	男性	35-39歳	おまつりなど大きな行事の宣伝不足。平戸の街中でしか宣伝がない ため、本当に観光客にお金を落としてほしいかわからない。
11	平戸北部地区	男性	35-39歳	様々な魅力がありすぎて、共に高めあう反面突出したものもなく、目 立つものの足を引っ張る傾向にあると感じる。
12	平戸北部地区	男性	35-39歳	外国有利の太陽光パネルなどの補助金は廃止し、その代わりに薪 風呂や薪ストーブ等の生活設備に補助金を出すというのはどうだろ うか。 全国的にも森林や田畑を管理することが困難になり荒れてきてい る。そんな里山などに人間が入って行って無駄な木を切って管理し 薪を燃料にする事は、電気代高騰対策や自然景観の維持に繋がる。 また、寿命が数十年の太陽光パネルよりも薪の方が持続可能な エネルギーとして優秀であり家が火事になったとしても有害物質が 流れ炎が消えにくい太陽光パネルよりも安全であると考えることが できる。消化器等にも補助金を出すのも良いかも知れない。 時代に逆行するようだが、昭和のような生活環境を市全体で取り組 む事は他の市と差別化され、そういった生活に憧れる移住者の獲得 に繋がる可能性は高いと思われる。 米農家としては、農業機材への補助金や米専用の商品券等があると 助かると思う。私の地域でも今の代で田んぼは辞めるとか機械が 壊れたら辞める等の声を聞く機会が多い。根本的解決策では無い が、有事の際に主食の米が足りなくなるのは避けなければならない。 そういった観点からも米作りの意欲を無くさせないような政策が 必要だと思う。
13	平戸北部地区	男性	35-39歳	渡海人祭りの開催地の変更
14	平戸北部地区	男性	40-44歳	平戸の街並みについて、住環境と観光産業等が混在し、今後アル ベルゴディフーズを進めるには、交通事故等のリスクなどを考えると 分離した方がいいと思う。観光客を求める雰囲気をもった町を別 の場所を作ってそこを観光産業地にできないだろうか。
15	平戸北部地区	男性	45-49歳	農林水産業等の生業はあるが、どこも年配の方々が労働する上で、 ITに対する苦手意識が多いと見受けられる。近代的な商売の手法を 敬遠されずに幅広く伝える、教える方法・手段を見出して、講演、講 和してもらいたい。〇〇塾、〇〇学習では参加は難しいと思う。
16	平戸北部地区	男性	45-49歳	十分だと思う

■問19 産業振興に関するアイデアや振興が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
17	平戸北部地区	男性	45-49歳	市街に行かなくてもすべてのものがそろそろ商業施設の充実
18	平戸北部地区	男性	45-49歳	ソーラー発電や海上発電はいらない。自然を破壊する行為で、特にソーラー発電は鎮火が難しい事と外国人による泥棒を招き、治安悪化の一因になる。 外国人による無人島や水源地、墓地等などの不動産所持を原則禁止、罰則規定するなどの条例を急いで作るべきだ。 沢山あるけど、静岡、埼玉、群馬、熊本、大分、山口、沖縄の各県では、外国人と地域住民とのトラブルが発生しており、教育が必要。 放置すれば全ての産業振興の足枷になる。
19	平戸北部地区	男性	45-49歳	料飲業組合、商工会、観光協会が全く働いていない。
20	平戸北部地区	男性	50-54歳	市役所の行政手続きでもミスがとても多い。(アンケート内に脱字もあり)こういうところをまずしっかりと。
21	平戸北部地区	男性	50-54歳	大々的なイベントを行ってみては。渡海人まつりくらいのイベントを増やして、それ以上の大きいものでも良いと思う。出店は高いので安いブースをたくさん出すと物も売れると思うし、産業振興も理解してくれると思う。
22	平戸北部地区	男性	50-54歳	呼子のイカのように、特産品は一つに絞る事
23	平戸北部地区	男性	55-59歳	ふるさと納税を活用した支援が重要と思う。(今まで以上に)
24	平戸北部地区	男性	55-59歳	市街地が空き地、シャッター閉めになっているのに対策がない。
25	平戸北部地区	男性	55-59歳	水産資源に関しては、ブランド化を推進し、良い商品を高く買ってもらうような品種を増やすべきである。また、そのためには広告を積極的に活用する必要がある、SNSを活用した広告などあまり費用のかからない、しかもアピール力のある手段を活用するなどし、これまでとは違った方法も取り入れることも大切である。ターゲットは博多・北九州など近くて訪問しやすいところを視野に。
26	平戸北部地区	男性	55-59歳	豊富な観光資源に恵まれながら充分活用できていない。十八銀行跡地など、オランダ商館と対比して歴史博物館として大英博物館の英国商館日記を展示すると、英語圏の東南アジアの観光客も集客できる。宝の持ち腐れ。もっと活用してほしい。
27	平戸北部地区	男性	55-59歳	平戸市の商店街の活気のなさにはあきれ。海産物については、もっと県外主に都市部へのアピールをした方が良いと思う。
28	平戸北部地区	男性	55-59歳	新しいものが入りにくい。例えば、パイオマス。水産において、パイオマスでエサを作る。
29	平戸北部地区	男性	55-59歳	食事が出来る瀬戸市場みたいな場所が多くあり、瀬戸市場にはない夜間にも対応出来るような施設が各地にあればいい。何と言っても平戸は新鮮な食材を売りにして欲しい。
30	平戸北部地区	男性	55-59歳	企業誘致
31	平戸北部地区	女性	25-29歳	市外地と平戸市を結ぶ道をもっと近くしてほしい
32	平戸北部地区	女性	25-29歳	畜産や農家、漁業者と外部の方々と交流を進め、コラボ企画やコラボ商品などPRをする。
33	平戸北部地区	女性	25-29歳	分かりません。
34	平戸北部地区	女性	25-29歳	平戸の水産は他県にもっとアピールすべきでは無いかなと思う。
35	平戸北部地区	女性	30-34歳	歴史的な観光資源等、大人向けな観光地であると思うので、もっと小さい子連れでも楽しめるものがあると良いと思う。唐津市呼子町にある海中展望船や海中レストランのようなものは大人と子供両方楽しめるのではないかな。農林関係はもっと体験型の事業を行うのはどうか。(くだもの狩りやきのこ狩りなど。)
36	平戸北部地区	女性	30-34歳	木引田町付近の商店街に路上駐車がが多く、買い物しにくくて危険なので、商店街に駐車場を増やしてほしいです。
37	平戸北部地区	女性	30-34歳	近隣の県外からのドライブ客などが多い点が活かしていない。豊富な水産資源や平戸和牛と言ったら食のツールを活かしたり、海に囲まれた自然豊かな景色や歴史は県外からの観光客に活用の仕方によってはかなり魅力的だと思う。飲食店や宿泊施設はあるものの、不十分。若者向けのおしゃれな宿やレストランや富裕層向けの隠れ家的な宿や高級路線のレストランなどがあっていいと思う。

■問19 産業振興に関するアイデアや振興が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
38	平戸北部地区	女性	35-39歳	松浦はアジフライの聖地化に成功している。平戸は肉も魚も魅力があるのにコレ！といったものが思い浮かばない。休日はレストラン等どこも列ができているので、食べ歩きグルメがあればいいのでは？商店街が湯布院のようになれば楽しいと思う。
39	平戸北部地区	女性	35-39歳	地元のお菓子屋さんと共同で新しいお菓子の開発。アプリで野菜、コメ、工芸品、魚釣りをして(養殖とか)実際にそのものが届くようにする。川内かまぼこ作るとか…。アプリ開発をする→IT企業の誘致→若者増える→地元のものを消費してもらう→観光客増えるかも。海があるので、相撲以外のスポーツに力を入れる(ボート、ヨットなど)。サップ、ジップラインを通す。観光に来て遊ぶところが少ない。アルベルゴ・ディフーズタウン…そういうのではなく、家族で移住できるようにする。移住希望者の希望を叶える(支援する)。
40	平戸北部地区	女性	40-44歳	何代も続くお店もあると思うので、物づくり体験を家族でしたり、食材であれば料理教室を開いて地産地消を目指す。生産者のことも知れる。
41	平戸北部地区	女性	40-44歳	平戸市ではとても品質の高い農林水産物が生産されますが、DX化の遅れによる販路の開拓に課題があるようです。メールやホームページの活用、Officeツール、会計ソフト等の使い方といった、ごく基本的な足元のDX化が遅れているため、SNSやAI等といった「流行っているように見える」施策を導入しても効果や持続性が薄く、取り組みへの意識も低いようです。 このことは平戸市の民間企業だけではなく行政にも見られる課題であると思っています。まずはいつまでも電話とFAXから脱却しないと、どの産業であれ今後の販路拡大は難しいのではないのでしょうか。
42	平戸北部地区	女性	45-49歳	入りづらい店構えが多い。
43	平戸北部地区	女性	45-49歳	メディアをうまく利用して、全国へ平戸の産業を伝える。
44	平戸北部地区	女性	45-49歳	平戸と言ったらコレ！という特産物があればイメージしやすい。ミスタードーナツならぬヒラドーナツを作ってみたらどうか。キッチンカーでドーナツを売っているのを見たことがある。「本土と繋がった最西端」をもっとアピールしていいと思う。車必須の生活なのに、ガソリンスタンドが少なすぎる。
45	平戸北部地区	女性	45-49歳	日本の自給率38%の問題が心配…。農業や漁業で働く人たちの生活保障を打ち出して、平戸で安心して農業・漁業を続けていけるようにしてほしい。同じく平戸市で商売を営む人たちにも。大型チェーン店が多い中、個人事業は大変だと思う。
46	平戸北部地区	女性	45-49歳	佐世保バーガー、松浦アジフライ…と同じように平戸といえば〇〇というものが欲しい。市と商店街、第一次産業の皆さんで力を合わせて取り組むべき。
47	平戸北部地区	女性	45-49歳	市内の空き家の紹介。周りに探している人がたくさんいますが、個人ではなかなか探せないの、市が公表してくれるといいのになあと思う。
48	平戸北部地区	女性	45-49歳	魚、平戸牛、かまぼこ、果物など、たくさんの美味しいものがあるので、海渡人まつりだけではなく、色んな形でアピールをしていけたら、良いと思います。ネット販売の充実や、ツーデーウォークなどのイベントの際に、販売スペースを設けるなどしてはどうかと思います。

■問19 産業振興に関するアイデアや振興が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
49	平戸北部地区	女性	45-49歳	海の磯焼けが問題になっているが、それを率先して研究、開発する会社や研究機関、もしくは学校などを誘致して、平戸で取り組む事で水産商工業が盛り上がれば良いと思う。 また、農林関連は、魚や肉に負けず劣らず素晴らしい素材が沢山あるので、その素材を使った「料理の鉄人」みたいなお料理コンクール（2024年の使用食材は平戸しいたけ！など）を毎年開催して活性化させるとか、楽しい企画で盛り上がったら良いと思う。 また、人口減少等により耕作放棄地や手付かずの山なども沢山出てきていると思うので、子供達が楽しく遊べる公園や、農業施設などにするなど、あるものを活かすことでそこに雇用が生まれたり、人の流れが生まれたら良いと思う。
50	平戸北部地区	女性	50-54歳	自然を活かした産業をアピールし、若者に興味を持ってもらう。耕作放棄地を貸し出したり、譲ったりして高齢者に指導してもらい、若者が作る村づくりなど。それぞれの産業に対する研修。
51	平戸北部地区	女性	50-54歳	後継者の減少。農業では食べていけないと思われる状況が続いていくと、耕作放棄地が更に増えてしまう。寂れた商店街を見ても、商売できる土地だと思えない。漁業は飛魚（あご）、うちわえびなどの特産品（目玉となるもの）で他よりも希望があるように思える。
52	平戸北部地区	女性	50-54歳	魚が捕れる海づくりが必要。
53	平戸北部地区	女性	50-54歳	町ごとのおまつり、イベントなどで特産物などを積極的にPRして、地域外からも訪問したくなるような機会を作って欲しい。市民のインスタなどで平戸市を紹介PRする機会を市が支援してもいいと思う。
54	平戸北部地区	女性	50-54歳	お魚の工場や野菜の加工所、どんどん都会へ出荷したらよいのではないかと思います。
55	平戸北部地区	女性	50-54歳	企業誘致が無理なら、徹底した「食料供給基地 平戸」に舵を切る
56	平戸北部地区	女性	50-54歳	・磯焼けを防ぐ為に、ブルーカーボンの導入。→雇用の増加 ・雇用の場の創出。例えば、森林の仕事に従事する若者を増やすための工夫。→新上五島の森林組合は、若者が多く元気だと聞いた事があるが、参考にできないか？
57	平戸北部地区	女性	55-59歳	商店街の活性化、空き物件への企業（商店）の誘致。
58	平戸北部地区	女性	55-59歳	主旨から離れた回答になりますが、平戸市内でイベントを行う時に、活性化の為にやっているのであれば、トイレの場所、トイレの定期的巡回、休憩場所（子供連れ、高齢者に配慮した）ゴミ問題（販売場所がゴミ箱も設置等）そこまでしっかり行っていただきたい。
59	平戸北部地区	女性	55-59歳	加工して都会でも売れる商品を開発すると良いと思います。ドライフルーツとか干し芋などはされていますが、その他にも食べる花とか冷凍野菜など開発できると儲けるのではと思います。
60	平戸北部地区	女性	55-59歳	各商店街が 一齐に 売り出し(安売り)があると 少しは人通りが増えるのでは？
61	平戸北部地区	女性	55-59歳	観光が沢山あるにも関わらず、アピールが下手 もっともっと観光へ力を入れて欲しい 観光バスを全く見なくなった
62	平戸中部地区	男性	20-24歳	農業関係のもっと条件の緩い補助事業を増やしてほしい。使える補助事業を増やしてほしい。
63	平戸中部地区	男性	40-44歳	農林、水産について職業訓練のような制度があってもいいのでは。商業については、買う人がいないといけないため、在住者を増やすか市外、県外への販売経路を構築しないといけないと思います。工業はインフラの整備（道路）。
64	平戸中部地区	男性	40-44歳	農産物、海産物を平戸ブランドを作ってシェアを拡げて行く。特に生産者にメリットを上げ、生産者を拡げて地元に残る工面を増やす。
65	平戸中部地区	男性	40-44歳	呼子のイカは平戸のイカと言われるように平戸市は素材の宝庫です。呼子並に高くしても売れるのではないのでしょうか？
66	平戸中部地区	男性	45-49歳	次世代は一次産業が重要視されてきているので、その分野への支援を強化する。人を育てる重要性。

■問19 産業振興に関するアイデアや振興が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
67	平戸中部地区	男性	45-49歳	平戸市は島なので、環境が整っていないとその影響は短期間で現れると思う。里山を見直し、山の整地、川の整備、海の美化に努めなければならないと思う。それには、それぞれに応じた事業を充足させ、雇用につなげてほしいと思う。
68	平戸中部地区	男性	45-49歳	企業の誘致を進むべき。
69	平戸中部地区	男性	55-59歳	今、インスタ等でどんな田舎でもおいしい店、インスタ映えする店等があれば、口コミで広がる。中南部もおいしい魚もある。酒もある。釣りもできるのに、そんな店はない。「アルベルゴ・ディフーゾタウン」推進してる？どこ？地元の強みを広げていないのも原因なのでは。まちづくり協議会が活かされているのか？
70	平戸中部地区	男性	55-59歳	山林が沢山有るので有効活用出来ないか検討する価値あり。キャンプ場を整備して年間貸し出す仕組み等。サバゲーの施設等レジャー目的で人を呼び込む等。
71	平戸中部地区	男性	55-59歳	自治体をはじめ他者からの支援に要求し、自らアイデア及び振興に尽力する考えが希薄なため。
72	平戸中部地区	男性	55-59歳	第一次産業は環境保全の面からも重要 温暖化、自然災害全てに環境の変化がある 人間が環境破壊していると言っても過言ではない?? したがって第一次産業には多面的な貢献を理解して保護的な施策をしないと後継者が出て行く??
73	平戸中部地区	女性	35-39歳	平戸温泉を、温泉スタンドではなく道の駅を含めた温泉施設を作ったら良いんじゃないかと思います。ふるさと納税等で資金を捻出すれば、市民の声や納税してくれた方にも使い先としての姿勢が見えます。 近年は市長の1人でふるさと納税を使用しているようですが。。 もっと見える形で成果のあることに投資をしませんか？ 市外からの集客も見込め 雇用も見込めます。 地域の若い方々や個人事業主のかた、 チャレンジしたい方がチャレンジできるような広場も合わせて作ると良いと思う。
74	平戸中部地区	女性	40-44歳	企業誘致。 企業の社員が転居して来て、若い世代が増える。
75	平戸中部地区	女性	45-49歳	水産は問題は感じない。商工業は平戸市の一部地域だけ充実して、全地域は不足している。
76	平戸中部地区	女性	45-49歳	農家や漁業の売り物にならなかった物の詰め放題イベント
77	平戸中部地区	女性	50-54歳	立地が悪いので、活性化は難しいと思う。
78	平戸中部地区	女性	50-54歳	林業や農業などやってみたい人などを全国から募集して、体験合宿など開催してみても？団体生活になるとその人の性格や協調性など、これから生活するうえで欠かせないところも見えるのではないかな。
79	平戸中部地区	女性	55-59歳	近年は磯枯れしている場所も増えているらしい。。五島などでは高校生に小さいウニを駆除してもらったりしているらしい。地域では漁業組合員だけしか磯に行けない。もっと見直してほしい。入漁料を取って、磯に行ける仕組みを作ってほしい。また、農業応援隊みたいな団体を作る方法等、コンサルタントを派遣してほしい。草払い等、シルバー人材センターは車や機械は自分で用意しないといけないので、必要な資材は用意できる環境を作ってほしい。
80	平戸中部地区	女性	55-59歳	よくわからない。
81	平戸中部地区	女性	55-59歳	農業も高齢化。後継者がいない。農機具が高い。あまり使用しなくても買わなければならない。シェア出来たらよいと思う。
82	平戸南部地区	男性	40-44歳	後継者不足なので、後継者への優遇措置をとる。補助金の種類を増やす。

■問19 産業振興に関するアイデアや振興が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
83	平戸南部地区	男性	40-44歳	飲食チェーン店など有名どころを南部にも作って欲しい。北部にばかり集中してしまうのでインフラを確実に充実させれば南部にも作れて人口も増えると思う。
84	平戸南部地区	男性	45-49歳	新たに始める人ばかりでなく、地元で継続して頑張っている人への助成。
85	平戸南部地区	男性	55-59歳	中南部地区への充実。
86	平戸南部地区	男性	55-59歳	効率の良い販売形態。
87	平戸南部地区	女性	30-34歳	20代、30代の新規就農者を増やす。 農地や家の確保が必要なため、市で補助金等を強化する。 大村市？か長崎市？では、空き家をリノベーション(市が負担)している。
88	平戸南部地区	女性	30-34歳	平戸城下町などで、人を呼び込めるイベントの拡充 山などはオートキャンプ場など増やしてはどうか？
89	平戸南部地区	女性	35-39歳	水産に関わりたいと考える子も多いが(小学生)代々と受け継がれている水産業が漁獲量の減少とともにつぶれてしまっている。外からの研修者、跡継ぎを呼ぶのも大事だと思うが、こういう子供達の将来の夢を守ってくれる平戸であってほしいと願う。
90	平戸南部地区	女性	35-39歳	平戸市の企画課の政策企画班が考えてください！！
91	平戸南部地区	女性	35-39歳	使われていない田んぼは沢山あるから、県外の人に利用してもらえるような、田んぼや畑のレンタルシステム等作ってみてはどうですか？田植え体験、稲刈り体験など。
92	平戸南部地区	女性	40-44歳	家は兼業農家だが、別の仕事をしているの農業の知識はなく、土地の利用に今後困ると思う。栽培しやすい作物や初心者向けの農業講習などをして、耕作放棄地を少なくする取り組みをしてほしい。また、後継者がいなくても農地が存続できるような仕組みができれば嬉しい。
93	平戸南部地区	女性	45-49歳	平戸の米・肉・魚・加工品・塩・味噌・醤油。たくさんの資源に囲まれ、古くから親しまれてきた品々を平戸のブランドとして発信していけたらと思う。続けていくのがやつの産業です。手厚い保障を含め、受け継いでいける補助など必要。
94	平戸南部地区	女性	45-49歳	地元の商店街も大事だがもっと外部からの参入を増やしてほしい。
95	平戸南部地区	女性	50-54歳	農業、漁業を活かした体験学習を増やす。専門学校生や大学生が学べる場の提供。
96	平戸南部地区	女性	50-54歳	私は30年以上他県で過ごして数年前平戸に帰ってきました。自分が子供の頃の平戸市とはたいぶ変わって住みやすくなっていると思います。大きなホームセンターやスーパー、コンビニ、ドラッグストア、100円ショップなどがあってかなり便利になりました。歴史や自然も豊かで毎日綺麗な景色が見れることに感謝しています。魚も野菜も都会より安くて美味しいです。 SNSなどのインターネットの影響力は現代社会において絶大だと思います。観光地や移住地としてもっとアピールできるように上手にインターネットやメディアを使って知ってもらいたいです。また、今住んでいる市民にも良い所に住んでいるだと実感してもらいたいです。
97	平戸南部地区	女性	50-54歳	よく分からない
98	平戸南部地区	女性	55-59歳	瀬戸市場を南部にも作り、前津吉港から佐世保間のフェリー(車を載せられる)を作り、交流人口に繋げ、南部瀬戸市場に人がワンサカ。そして、雇用も生まれる。
99	平戸南部地区	女性	55-59歳	自分は水産に関わっているが、温暖化のためなのか年々漁獲量も減っていく中、新たな漁業方法とかその許可を取得するためのサポートをやってもらいたい。農、水、商でも、それに使用する機械も高い。後継者がいるところは資金をもらっているのに、レンタルとか何かないだろうか。
100	平戸南部地区	女性	55-59歳	地域を盛り上げるため、市外からの呼び込みも必要だと思います。
101	生月地区	男性	45-49歳	平戸市として埋もれかけている小さな企業等をSNSを使い宣伝(全力で)する。あと、頑張っている人とかも良い。

■問19 産業振興に関するアイデアや振興が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
102	生月地区	男性	50-54歳	魚釣り客に対して、例えば釣った魚を捌きますよ！とか、魚を調理しますよ！といったお店があってもいいのではないかなと思う。バイク客に対して、1泊できるコンテナの宿泊施設なんかあればと思う。
103	生月地区	男性	55-59歳	平戸の農産物はこれだと言えるものを作り、支援していく。農林水産、稼げるとアピールする。
104	生月地区	男性	55-59歳	農林も水産も素材を料理して食べさせてくれるお店の出店支援や民泊等の普及。SNSの活用による草の根運動。気楽に休憩出来るスポット等を増やしてはどうでしょうか
105	生月地区	女性	25-29歳	Instagram等で広告する。
106	生月地区	女性	40-44歳	博多まで直通の道路の早急な整備をして、物流がスムーズになり、地域の活性化に繋がると思います。工場地帯を作ってください！お願いします！働くところをまず作ってください。企業を誘致すると税収も上がります！
107	生月地区	女性	40-44歳	観光がしやすいように、道路脇の整備が必要なのではないか。（草が生い茂っている場所など）
108	生月地区	女性	45-49歳	平戸地区はタクシーの撤退で、高齢者が多く住んでいるのに不便。サポートや代替交通手段を考えてください。生月地区も、タクシーの土・日なし。個人タクシー、ライドシェア、何か対策はないでしょう
109	生月地区	女性	45-49歳	魚が美味しいのにアピールがたらない。 魚が高い。食べるところがあっても駐車場がない
110	生月地区	女性	50-54歳	働くところがない。会社を作って欲しい。
111	生月地区	女性	50-54歳	水産業系で働いているが、地元（生月）のPRをもっとした方が良い。
112	生月地区	女性	50-54歳	若い人が県外へ出てしまい、農林業をする人がいなくなって、田畑を手伝ってくれるような団体を増やす。
113	生月地区	女性	50-54歳	道をきれいにする。伐採作業。
114	生月地区	女性	50-54歳	畜産は瀕死の状態です。振興が必要なアイデア以前の問題なので、早急な対策をお願いしたいと思います。 農家が里山を守ってきたこと、農家が辞めてから気づくのは遅いです。土地は藪が生い茂り、除草作業が追いつかない状態になるのは目に見えています。かなりの予算が必要になるし継続的な除草は難しいでしょう。それより農業を続けられる支援をして農家に里山を守ってもらった方が長く平戸の土地を守ることになると思います。
115	生月地区	女性	55-59歳	ドラッグストアは多いが、衣料・雑貨店が少ないなあと思います。
116	生月地区	女性	55-59歳	平戸の自然豊かなところが大好きで、生月島では町民が島を大切にしているのが伝わってきて、とても共感できます。初めて行徳料を払って磯物を獲ったり、先日は椿の実を拾いましたが、ご近所の方々がアドバイスをしてくださいまして楽しみの一つになりました。自然を残して魅力的な島にするため、お子さんの頃から授業やイベントなどで島の豊かさを学び楽しさを知ること、後に島で収入に繋がる新たな事業をしてくれるのではないかと感じました。
117	生月地区	女性		他市や他県で展開している商業施設をもっとたくさん受け入れ、充実した暮らしができるようにしなければならない。他店舗を受け入れたくない田舎の根強い反対がないようにすればもっと住みやすくなると思う。
118	田平地区	男性	30-34歳	平戸市は水産業のイメージはついているがあまり、農林のイメージがないので、農林についてもPR活動等を頑張してほしい。
119	田平地区	男性	35-39歳	農業や漁業に関する支援は良く耳にするが、商業等の支援がよくわからない。観光事業も大事だが、その反面、地元の間が飲食店に気軽にいきづら価格設定になっていっている。利用する側の使い分けだとは思いますが、若い人は市内ではなく市外（多いのは佐世保等）にお金を落としていると思う。
120	田平地区	男性	35-39歳	ふるさと納税を楽天市場やヤフーショッピング等でも寄付できるようにした方が良い。 それで購入者が増えれば、市も産業も少しは活性化するのでは。

■問19 産業振興に関するアイデアや振興が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
121	田平地区	男性	35-39歳	平戸のブランドを作り上げて、ネット販売に力を入れてみてはどうでしょうか。 平戸という地名をもっと売り出して付加価値をつける。スーパーキッズたちを世に排出し、その子たちが育った平戸！その平戸産のものだったら買ってみたい！と購買意欲を掻き立てる。
122	田平地区	男性	35-39歳	そもそもマーケットが小さく、店舗単価も通信販売大手に比べて不利で、その部分は覆すことは難しいと感じます。実店舗がある程度顧客を抱えているスーパーやドラッグストアにおいて、地域小売店の商品を抱き合わせ販売する等、何かしら対策が必要です。農林水産業についてはやはり行政のアピールありきではないかと思います。ブランド化や市内に限らず市外・県外に向けたアピール、販売経路の拡充が必要ではないでしょうか。
123	田平地区	男性	35-39歳	①中心地における駐車場の不足。 駐車場がない割に空き地みたいなのは増えてるのだから余計にモヤモヤする。観光客がキョロキョロと駐車場を探す様子をよく見かける、また「食べ歩き」のようなことができないとザビエル教会や松浦資料館などを個別に車で向かわれてしまうので、お店にも立ち寄られない、出店も増えないの悪循環だと思います。そして有料駐車場が多いが無料だからこそ気軽に立ち寄れるものではなかろうか。交流広場は2h無料だが立地も端っこだし、ご飯を食べて散策となると果たして2時間で足りるだろうか。 ②商店街におけるエレナ跡地の景観の悪さ。 ただでさえ商店街でも大きな建物なだけに、中心にその「廃墟」があるのは非常に非常に印象が悪い、これは早急に対処すべき。エレナ跡地は①であげた駐車場の立地としてもちよūdいいし本当に勿体無い。個人的にはここに平戸新鮮市場のようなイートイン可能な物産店が入れば地元客と観光客と二重で集客できるのではとも思う、城や平戸港も見える良いロケーションだと思う。 ③飲食店の外観について ほとんどの飲食店が店内が見えない。何を提供する店なのか分かりづらいほか、敷居が高く見えてしまい単純に「初見で入りづらい」。市外の観光地、極端な例だと海外へ旅行した際に入りやすいお店は店内の雰囲気がよく分かるお店ではなかろうか。 教会群など世界遺産になったタイミングはSNSの普及とも重なり非常にチャンスだったのに、まんまとそのチャンスを逃したところか活かしてないと思います。それまでツーリング客を除けば高齢者の観光客が多かったが、SNSの普及により「バエ」を意識してカメラを首から下げた若者の観光客がそのタイミングで増えたように思いますが、上記のような現状で困惑している若い旅行者を同時にかなり見ました。確かに客としてお金を落とす単価は高齢者に劣るかもしれませんが、この先リピーターもしくは就職・移住の可能性のあるのはかれら若い世代です。 ④夏の花火大会を平戸と田平で分ける理由はなに？？ 商工会どうしのゴタゴタのような噂は聞か、同時に開催すれば県内でも大きな規模の花火大会になりそうなのに。平戸大橋を挟んで両側から打ち上げるとかものすごく価値があると思う。当日の橋の混雑など安全面等問題は多数でしょうが、小さな地域で分けているのは住民としても出身者としても無駄に感じるしモヤモヤする。
124	田平地区	男性	40-44歳	市でも、ずいぶん支援事業をなさっているようですので、それぞれの事業に対して細かい支援をお願いします。
125	田平地区	男性	40-44歳	広報・SNSなどもう少しやってほしい。
126	田平地区	男性	40-44歳	せっかく釣り場など有名なのに趣味な人だけ楽しんでるので一般的に広めると面白いかもと思います。
127	田平地区	男性	40-44歳	平戸の商店街で毎週末イベント

■問19 産業振興に関するアイデアや振興が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
128	田平地区	男性	45-49歳	農林も水産も商工も、移住してくる人にアピールできる待遇ややりがいを用意し、アピールの仕方も重要だと思う。観光にもっと力を入れた方がいい。ひとが創る持続可能な漁村推進事業、安すぎる、一人いくら？その支援で新規の人は生活できますか？
129	田平地区	男性	50-54歳	唐戸市場のような、大きな施設を作って、活気ある平戸市にしてほしい。新鮮市場や瀬戸市場は中途半端な大きさ。駐車場が少ない。みんなで力を合わせれば、唐戸市場よりすごいものができると思う。
130	田平地区	男性	50-54歳	平戸市は地震による影響が少ない土地柄を売りとし、企業の誘致を行う。そのためにはインフラが重要（交通の便）である。西九州道の全通は勿論ではあるが、企業の他農水産物の輸送にもその理由がある。無人島（田平町横島等）を飛行場化し（熊本県天草空港レベル）地方都市との移動時間短縮を図るべきである。
131	田平地区	男性	50-54歳	耕作放棄地を活かした法人農業。ジビエの流通環境の整備。水産物のブランド化。
132	田平地区	女性	30-34歳	色んな問題があると思うが、使われていない農地や高齢で今後どのようにするか悩んでいる農地が多いと思う。市とどこかの企業で大規模な農業事業ができないか？ブランド化と販売までやれたらいいと思う。また、栽培などもシフト制などにして、従事者の労働時間なども軽減するなど・・・。
133	田平地区	女性	30-34歳	若手育成 家賃、住宅補助
134	田平地区	女性	35-39歳	新規事業への経済的援助と相談業務
135	田平地区	女性	40-44歳	商店街に人がいない。買い物をするところがない。コンビニもない。商店街の人たちが反対するかもしれないが、人がいない商店街で活気がなくなるより、コンビニや大型スーパーなどで集客しなくていいの。街にしているのは病院に来ている人だけ。患者さえ帰りに買い物して帰れないと言っている。
136	田平地区	女性	40-44歳	体験宿泊（農業や漁業に関することを体験）。若い人向けへの事業を始めるためのセミナー開催（宿泊施設、カフェなど）。
137	田平地区	女性	45-49歳	工場の誘致で雇用創出。
138	田平地区	女性	45-49歳	ライブイベント（そこそこ有名な人） 野外がよい 泊まりになる時間帯 コンスタントに開催
139	田平地区	女性	45-49歳	飲食店がもう少し充実してほしい。
140	田平地区	女性	50-54歳	DX化への理解と推進
141	田平地区	女性	50-54歳	移住してきて思うことが、住んでいる人達に活気が少ない、動かなすぎる。夜は早々に真っ暗。レストランやファストフード等、身軽に動ける場所をもっと増やすと雇用にも繋がると思う。観光のアピールも中途半端
142	田平地区	女性	50-54歳	農業でこちらにやってきたのですがなかなか始めにいと感じました。土地問題、住居問題他所から来たとしても何もすぐ提示してもらえない。してますよと言われると思いますが、そのようには感じることは出来ませんでした。（慣れるととてもよくしては頂けるのですが。）まずは住むところを常に整えてすぐにでも入居できる所をせめて確保してもらえればとは思いました。
143	田平地区	女性	50-54歳	耕作放棄地や、手入れされない山などの利用といった資源があるのに活用できていないなど、何かやりたいという気持ちと自分達には何があるかといったことが整理されていないため、他の自治体の猿マネばかり追っている気がする。独自の考え方が必要なのでは。
144	田平地区	女性	55-59歳	平戸と田平では力の入れ方に差があると思う。

■問19 産業振興に関するアイデアや振興が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
145	田平地区	女性	55-59歳	農林・水産・商工業・自治体、ゴミを売り資産に変える。農林・水産・商工業の方々が困っていることを言ってもらい、専門家に解決策を考えてもらう。異業種の交流会を開けば、ヒントや改善点が見つかるかもしれない(ITと農業のように)。ふるさと納税(農林・水産・商工業)体験型で働いてもらう。農業従事者が高齢化して野菜を作っても重く、市場まで運べないので、バーコードを付けて取りに来てくれる支援があればと思う。
146	田平地区	女性	55-59歳	今後の農林水産業の後継者問題が気になる。現状のままでは、農林水産業は継続していくことができるのか。
147	田平地区	女性	55-59歳	ブランド化が大切！ 歴史や物語に由来や紐付けするなど！
148	大島地区	男性	30-34歳	もうちょっと多様性を入れたらいいと思う。
149	大島地区	男性	45-49歳	いい産品があるのに、いつ来ても食べるところがあまりないと言われるので、観光客が満足のいく飲食店が増えてほしい。
150	大島地区	男性	55-59歳	農水産物について、港に直売所を作る。活魚センターを作りレストランを併設する。イカの活き造り、アジの料理、ヒラメ、サザエ、アワビ、平戸牛の料理など提供する。(農業、水産業を営む自営業者は直接直売所へ商品を納入できる)SNSの活用でインバウンドを呼び込む発信力が弱い。
151	大島地区	女性	40-44歳	おいしい海産物のPRの仕方を工夫して、販売経路を増やす。SNSやテレビなどまだまだ活かせるものはたくさんあると思う。
152	大島地区	女性	55-59歳	それぞれの専門の方に聞いてはどうでしょうか？
153	大島地区	女性	55-59歳	平戸のエレナが田平に移転してから、平戸の町から買い物客が減少したように思います。 洋服などはネットで買う人も多いと思いますが、GUやユニクロやしまむら等の店が出来たら、良いなあ。と思っています。
154	度島地区	男性	35-39歳	給料の底上げ。
155	度島地区	男性	40-44歳	平戸だけでなく、田舎は個人の漁業、農業従事者が多数を占めていたが、その子供達が仕事に就き、地元を離れるパターンが現状だと思う。親も子供に継がせたくないという意識だ。第一次産業は田舎の特権であるからして、そこを伸ばさずして田舎の未来はないと思う。個人の一次産業従事者がもっと儲かる施策を考えてほしい。
156	度島地区	女性	45-49歳	基礎賃金の引き上げ。歴史の活用(鎖国時代の平戸の重要性を親しみやすくアピールなど)。
157	度島地区	女性	45-49歳	素朴な疑問ですが、旧エレナはどうなるのでしょうか？また新しいスーパーになるのでしょうか？
158	度島地区	女性		島の高齢者はとても元気で、まだまだ農業も続けられると思うが、出荷にかかるコスト負担が昔からすると大きくなってしまい頑張って育てても儲けがなくなれば、そりゃやりがいも何もない。農協、漁協の運営もそのうちなくなるんじゃないと思う。島の年寄りはまだまだ働けるのに。

■問19 雇用促進に関するアイデアや促進が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
1	平戸北部地区	男性	20-24歳	聞いた話、土地持ちの方が色々な所を持っており、動かせていない。その人を口説いて町づくりを一からやりなおしてほしい。商店街が死んでいる。商店街の空き家を買って、ぼくたちがやりたい町づくりチャレンジショップなどさせてほしい。平戸の土地持ちから税金を驚くほどたくさん取ればいい。
2	平戸北部地区	男性	20-24歳	大人数雇用が期待できるような企業工場等が入ってくればいい。諫早などに就職のため平戸を出る若者も減るのでは？
3	平戸北部地区	男性	20-24歳	佐世保と平戸、平戸と松浦をさらに通いやすい道にするべきだと考えます。
4	平戸北部地区	男性	25-29歳	市内の中高生に将来どんな仕事をしたいか、何に興味をもっているか、もし市外に出て仕事をするならどこでどんな仕事をしたいか聞く。
5	平戸北部地区	男性	25-29歳	大手企業の誘致など、雇用を増やしてほしい。30分以内で通勤できる会社。
6	平戸北部地区	男性	25-29歳	年間休日数を増やし給与を増やせば自ずと増える
7	平戸北部地区	男性	25-29歳	大・中企業が少しでも進出したと思える工業団地があるといいのかもしれない。
8	平戸北部地区	男性	30-34歳	働く場所が少ない。賃金が安すぎる。
9	平戸北部地区	男性	30-34歳	おしゃれな店が少ない。働きたくなるような店やオフィスがもっとあれば良い。
10	平戸北部地区	男性	30-34歳	熊本のTSMC誘致みたいに積極的に大手の企業を誘致して欲しいです。土地は市が格安で提供したとしても、雇用の増加により、税収も増え効果はあると思います。
11	平戸北部地区	男性	30-34歳	教職員が足りていない、学校のスタッフを雇用する。(事務、会計など)
12	平戸北部地区	男性	30-34歳	企業誘致
13	平戸北部地区	男性	35-39歳	大きな土地があるのだったら、大企業が工場を建てられるように平戸市が補助したりして人口増加に向け予算を使うべき。働く場所がないと平戸に住む意味がない。
14	平戸北部地区	男性	40-44歳	空き家に対して家賃を安くして新規事業に参入できる環境を市が作れないか。
15	平戸北部地区	男性	40-44歳	障害者が働ける場が圧倒的に少ない。
16	平戸北部地区	男性	40-44歳	ワーケーションスペースの創出
17	平戸北部地区	男性	45-49歳	衰退していく業種には賃上げ以外に雇用増加は望めないと思う。そういう業種をいかに助成するか、人材を確保するかも行政の広報活動の1つかもしれない。市外、県外向けのPRを盛り上げていければ、平戸の魅力に気付いてもらえるかも。
18	平戸北部地区	男性	45-49歳	道路整備は進んでるので、近隣の市町と連携した雇用の創出ができないか。通勤できる範囲で。
19	平戸北部地区	男性	45-49歳	企業誘致は今の物価高では無理がある。 第二平戸大橋か海底トンネルを作れるか？ 消費税を3%位まで下げたら？ 物価高は全ての面でマイナスだから、しばらくは待つしかないと思う。
20	平戸北部地区	男性	45-49歳	博多、佐世保駅へのアクセスをもっとよくする。 市内で働ける場所を作る。 自衛隊基地や大学、原発、漁業養殖場の誘致
21	平戸北部地区	男性	50-54歳	田平エリアへの工業団地の誘致。
22	平戸北部地区	男性	50-54歳	大きな有名な企業を誘致しないと難しい。思っている以上に平戸で働きたいと思う人は少ない。
23	平戸北部地区	男性	55-59歳	子供達に市内企業を知ってもらい取り組みが大事だと思う。
24	平戸北部地区	男性	55-59歳	とにかく若者を早く戻さないと…。平戸市特有の専門学校を作る。→衣食住のニーズが増える。医療環境の充実。

■問19 雇用促進に関するアイデアや促進が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
25	平戸北部地区	男性	55-59歳	雇用は産業促進と一体であるため、工場やサービス業が増加していかなければ難しい。IT産業などは情報インフラさえ整えば遠隔地でも可能であり、高所得も期待できる。また、いろいろな企業に来てもらうためには、住宅地に企業が社屋などを建てやすいように、規制緩和を図るなど、誘致しやすい法整備も必要である。また、交通インフラも重要な施策となる。
26	平戸北部地区	男性	55-59歳	平戸は観光で生きるべきと考える。富士フィルムが苦境に落ちた時、持っている技術を棚卸して復活したそうです。豊富な観光資源をもっと活用できないか研究してほしい。
27	平戸北部地区	男性	55-59歳	まずは企業を平戸に呼ぶ。新しい産業を取り入れることが先決だと思う。観光だけに頼るのは難しい。
28	平戸北部地区	男性	55-59歳	平戸市から有名ユーチューバーを作る。視聴回数で見ると、87万回視聴。長崎県観光連盟公式チャンネル。
29	平戸北部地区	男性	55-59歳	最初に第一次産業を発展させ、販売施設を充実させることによって雇用を発生させる。核を作る事によって交流人口が発生し、周りの環境が改善し、さらなる雇用の創出になる。
30	平戸北部地区	男性	55-59歳	若い女性が転出する事無く 就業出来る雇用の場を作ることが重要
31	平戸北部地区	女性	20-24歳	精神障害者の雇用の種類が少ないから。
32	平戸北部地区	女性	25-29歳	新規事業の促進や誘致、賃金の向上を図る。
33	平戸北部地区	女性	25-29歳	チェーン店が増えたら人も集まりやすいと思う。
34	平戸北部地区	女性	25-29歳	街を歩くと若い人が少ないように感じる。 いい仕事がないから市外に流出するのでは無いかと思う。市内の企業の賃上げを支援することや、好条件で働けるような企業を誘致したらいいのでは無いかと思う。
35	平戸北部地区	女性	30-34歳	中小企業の技術力を向上させる努力が必要だと思う。知り合いだから〇〇店に依頼する、近場ではこのお店しかない等の理由で、仕事をもらうために一生懸命やらなくても受注があるといった様子を度々見かける。その姿勢を変えなければ、この技術を守っていききたい！と思う若者も育たないし、目標となりえないので、市外、県外へと若者が流出していると思う。
36	平戸北部地区	女性	30-34歳	敢えて星野リゾートといった大手のリゾートチェーンを誘致してもいいと思う。
37	平戸北部地区	女性	30-34歳	工業地帯を作る
38	平戸北部地区	女性	35-39歳	中小企業・大企業を誘致してまずは雇用数を増やす。
39	平戸北部地区	女性	35-39歳	休日保育が必要。平戸はホテル・飲食業やドラッグストア等で働く母親も多いが、保育施設がないため、人手不足となっている。人手不足の忙しい職場では若い子は特に継続しないと思う。
40	平戸北部地区	女性	35-39歳	現在、医療、保育、福祉系しか仕事が無いように思う。最低賃金の引き上げ。福祉施設への援助。
41	平戸北部地区	女性	40-44歳	雇用という考えの他に、塾や習い事を現在経営している先生方の後継者を支援する制度をつくる。後継者不足の解消と働く場所の確保。
42	平戸北部地区	女性	40-44歳	平戸市に限らないけど扶養控除額を上げてもらいたい。
43	平戸北部地区	女性	40-44歳	平戸市の既存企業には全体的に新たな雇用を行うほどの体力がないようです。また賃金も低く、現在の最低賃金では被雇用者の側が通勤や仕事に必要な衣類・道具の確保といった「働きに出るためのコスト」すら捻出が難しいという状況があります。このため、求人も求職者も少ないという悪循環があるのではないのでしょうか。 中長期的には産業を活性化し健全に雇用を促進するのがよいと思いますが、短期的には行政が特に非正規雇用者・間接雇用者の賃金を増やすのが効果的かもしれません。
44	平戸北部地区	女性	40-44歳	働く人の所得をあげるため、賃金を増加させた市内企業に人件費分の補助をすることはいかがでしょうか。求人票を見ても最低賃金ギリギリのところばかりで、住んでいる市民としてもつらいですが、移住してこようとは思わないような気がします。ただ、企業自身も今とてもきつい状態であることは承知しているので、その補填が企業向けにあればいいのかなと思いました。
45	平戸北部地区	女性	45-49歳	ホームセンター以外の企業も入れればいいのでは。

■問19 雇用促進に関するアイデアや促進が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
46	平戸北部地区	女性	45-49歳	時給アップ。
47	平戸北部地区	女性	45-49歳	一極集中に尽きると思います。国が対策すべきことだと思います。
48	平戸北部地区	女性	45-49歳	コストコ・アウトレットモールなど商業施設誘致。熊本の半導体のように大企業の工場や支店の誘致。今、増えているデータサイエンスなどは交通の便に左右されず、都会の高い賃金より田舎の環境の良い所で割安な賃金でできれば企業にとってもメリットではないか？
49	平戸北部地区	女性	45-49歳	市内の高校生、中学生向けに市内の企業紹介、求人紹介などを行うとよいのでは？企業説明会などを行うといいと思う。(文化センターなどで)
50	平戸北部地区	女性	45-49歳	企業の誘致。平戸新鮮市場や瀬戸市場など、休日に観光客が溢れているところの雇用拡大。道の駅の充実。
51	平戸北部地区	女性	45-49歳	大きな企業を入れて雇用を貰えばよい
52	平戸北部地区	女性	45-49歳	時給での雇用なら、やはり賃上げが問題だと思うが、それぞれの企業(特に地元の企業)は頑張りたいけど賃上げできない現状もあると思う。最低時給が県内でも上がってきているが、これを今後どうやっていけばいいかと悩む事業者もおられた。
53	平戸北部地区	女性	50-54歳	ネットを活用して集客したり興味を持ってもらう産業振興がないと雇用促進に繋がらない。農業や漁業の会社化。大学などを都市集中にしない。大手じゃなく、地域の会社を利用する。使用したくなる工夫。
54	平戸北部地区	女性	50-54歳	熊本県菊陽町に建てられた半導体受託生産の世界最大手、台湾積体回路製造(TSMC)みたいな企業が平戸市にもできれば一気に人口減少の問題が解決するのにと感じました。
55	平戸北部地区	女性	50-54歳	多種多様な職種の企業の誘致。起業支援。単発的なものでなく軌道に乗るまでの継続的な支援。平戸で就職先を探す場合、職種が限られてしまう。
56	平戸北部地区	女性	50-54歳	ハローワークが遠い。定期的に出張ハローワークなどを実施してほしい。通勤族の妻としては短期で働ける機会があればいいと思います。
57	平戸北部地区	女性	50-54歳	一次産業に力を入れないと高齢化で、無耕作地が増えていくのが心配です。
58	平戸北部地区	女性	50-54歳	広い土地はたくさんあるので、企業誘致してほしい。求人を見ても介護職の求人はたくさんあるが、みんながみんなができるわけではないし、したいわけではない。工場など長く働けるところはないだろうかと思う。
59	平戸北部地区	女性	50-54歳	・空いている土地の有効活用→椿やオリーブの木などを植える→産業、雇用の創出 ・空き家の活用→古民家→例)五島市荒川。食事は、提携している店が運んでくれる。温泉。周りを気にせず自分達だけで、ゆっくりできる。
60	平戸北部地区	女性	55-59歳	登録制。週何回、働ける時間帯、仕事内容の希望等を募る。例えば働く場所とのマッチング。農業等人手が必要な時や観光宿泊施設等。
61	平戸北部地区	女性	55-59歳	若い女性が定住しないと 人口は減少していくので 若い女性の雇用促進を図るべき
62	平戸北部地区	女性	55-59歳	職種として、ICT関連の会社や製造業の工場など誘致できれば、前者は若い人、後者は誰でも勤めることができるのではと思います。
63	平戸北部地区	女性	55-59歳	企業誘致しかないのではないのでしょうか。
64	平戸北部地区	女性	55-59歳	最低賃金が 低いし 守られていない事業所がある！
65	平戸北部地区	女性	55-59歳	今はパソコンやネット社会なのでそれを活かした仕事や観光で魅力ある平戸市に又して欲しい
66	平戸中部地区	男性	35-39歳	原発を持ってきたり、最終処分場を作るなどする。
67	平戸中部地区	男性	40-44歳	企業誘致。大学専門学校誘致。

■問19 雇用促進に関するアイデアや促進が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
68	平戸中部地区	男性	40-44歳	環境美化、食の創出、観光ポイント、おしゃれブランドを定着していく。車で行けるとこの北部、中部、南部、生月観光スポットを作り、定着して行く。
69	平戸中部地区	男性	40-44歳	雇用した企業への奨励金配付
70	平戸中部地区	男性	45-49歳	豊かな自然や犯罪や災害のない町づくりに取り組み、安心して暮らせるように人口が増えるように取り組む。高校の学科の見直しや大学の誘致(専門学校を含む)自動車学校短期取得の寮など。
71	平戸中部地区	男性	45-49歳	一時的に大規模雇用が良いが、一つの事業に対し、市内のみで横のつながりが生まれるような企業の発展が、後々強い平戸市を生むのではないかと思う。
72	平戸中部地区	男性	45-49歳	平戸市職員の待遇とパートタイマーの待遇の違いは大きな差になっている(給料の差、交通費の差)。
73	平戸中部地区	男性	50-54歳	イオンなど大型施設が必要。ジョイフルなども必要。
74	平戸中部地区	男性	55-59歳	若い人に限らず、雇用に関しては①給与②休暇だと思います。全体的に給与の低さは、地域全体の経済性の低さだと思うので、地域の活性化を盛り上げてほしい。物価高騰もあるが、企業が潤わないと給与アップは望めないと思う。
75	平戸中部地区	男性	55-59歳	企業誘致の一環として陸自相浦の水陸機動団に訓練場所を提供してみてもどうでしょうか。訓練場所の整備が必要であり、騒音、車両の移動に伴う問題があると思いますがその価値はあるかと。
76	平戸中部地区	女性	30-34歳	市内の高校生に市内企業を知る機会を設けているが、子どもたちの進路は中学生の段階である程度決まってくるように思う。中学生の頃から平戸に残る、または戻ってくる選択を持ってもらうためにも、中学生に対しても、これまで行われてきた職業体験ではない新たなアプローチが大切だと思う。
77	平戸中部地区	女性	35-39歳	ジョイフルみたいなお店ができれば、雇用にもつながり、主婦にとって一息つける場もでき、子供達も喜ぶ。遊びに行くにも服を買いに行くにも車で市外に出るしかなく不便なので、お店が増えることで、移住を考える必要もなくなるのでは？
78	平戸中部地区	女性	35-39歳	商店街のあいてないお店、空き店舗、もっと活用したら良いと思います。
79	平戸中部地区	女性	45-49歳	60歳以上の方も体力がある間は働き続けてほしい。
80	平戸中部地区	女性	50-54歳	立地が悪いので、活性化は難しいと思う。
81	平戸中部地区	女性	50-54歳	若者にとって魅力的な仕事が少ないのか、幅広いジャンルの雇用があったら良い。
82	平戸中部地区	女性	50-54歳	雇用自体が少ないので、長く働ける仕事や環境が必要
83	平戸中部地区	女性	55-59歳	観光業がいまひとつ。観光客に「みせる」工夫が足りないと思う。平戸は海が素晴らしいが海岸線(生月島のウラ、獅子・根獅子間の海岸線)の道路はもとより市内の道路の横のツツジ等の手入れも年に1、2回しかできていないと思うので、雑草がいっぱいでとても見苦しい。もっと手入れをして「みせる工夫」をした方が良い。熊本や大分はとても整備されている。
84	平戸中部地区	女性	55-59歳	仕事場を選べない。賃金の低さ、物価高騰(ガソリン、灯油)などでは？
85	平戸南部地区	男性	25-29歳	働く女性が正社員でありながら、時短勤務や夜勤免除など子育てしやすい労働環境を整えとうれしいです。
86	平戸南部地区	男性	30-34歳	大手会社の工場誘致
87	平戸南部地区	男性	30-34歳	賃金を高くし、それを消費する場所を増やす。
88	平戸南部地区	男性	40-44歳	製造業のプラントの誘致。平戸市民を率先して雇用する条件を付けて。
89	平戸南部地区	男性	40-44歳	若い子、新人への継続雇用の賞金は、若い子だけではなく、10年以上同職種続けてる人にもあげて欲しい。
90	平戸南部地区	男性	45-49歳	金を支給するなどの新卒者流出歯止め政策はいかがですか？
91	平戸南部地区	男性	55-59歳	企業の誘致。

■問19 雇用促進に関するアイデアや促進が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
92	平戸南部地区	女性	30-34歳	平戸牛や魚が美味しかったり、自然が魅力的なので若者に来てもらえるような観光地を作る。 ※福岡県糸島市のような... 観光地に人が集まれば、周りに飲食店や宿ができたり相乗効果が期待できる。
93	平戸南部地区	女性	35-39歳	物価の高騰による家計の圧迫は続いているのに賃金も上がらず、支援金も本当に必要な人の所へは届いていないと感じる。賃金も高く職種も選べる市外へ働きに出る人は少なくないと思う。特に南部では通勤のことを考えると、市外へ出る移住も考えなくてはならなくなっている。
94	平戸南部地区	女性	35-39歳	平戸市の企画課の政策企画班が考えてください！！
95	平戸南部地区	女性	40-44歳	市街地は観光業がメインだと思うので、観光地と生活圏を分けて、観光に特化した「街」をつくり、雇用を促したらよいと思う。
96	平戸南部地区	女性	45-49歳	平戸に学校を作るのも一つのアイデアだと思う。合併して使っていない小学校などもあるので、登校拒否など精神的に不安な子供を受け入れる。または、大学を作るのも一つのアイデアかと。学生が増えると活気も生まれる。
97	平戸南部地区	女性	45-49歳	若ければ外へ目が行く。お金・娯楽全てがそろっているので、自然を活かしていく。
98	平戸南部地区	女性	50-54歳	観光などに力を入れるのであれば道路の整備。台風や豪雨など災害対策の為に、側溝の草や海辺のゴミ等の除去をまずはして欲しい。せっかく「平戸は日本の公園である」という看板をつけているのであれば、環境整備をしたほうがよいと思う。
99	平戸南部地区	女性	50-54歳	農業・水産業を体験したり、農産物・水産物を食べたり取り寄せたりできるような事業を起こし、そこで雇用促進につなげたらいいのではないのでしょうか。
100	平戸南部地区	女性	50-54歳	大きい企業とかが、平戸に入ってくると、雇用にも繋がると思う
101	平戸南部地区	女性	55-59歳	農水産の生き残りのため、瀬戸市場を南部にも！！そして、前津吉港から佐世保へのフェリー実現を。
102	平戸南部地区	女性	55-59歳	平戸市は縦に長く、交通の便も非常に悪い。働きたくても、働けない人もいると思う。もっと大きな会社を下のの方に作って(参入)させればよいと思う。
103	平戸南部地区	女性	55-59歳	平戸市にもう少し施設が充実し、パートでも働きやすく、すこし華やかさに「力」を入れて頂ければと思います。
104	平戸南部地区	女性	55-59歳	企業誘致
105	生月地区	男性	45-49歳	県庁を平戸に持ってくる。
106	生月地区	男性	50-54歳	たまに軽トラで「平戸に大学を作ろう！！」と書いて走っている車がいるが、良いと思う。1つの学部とか、中小企業研究施設とかあってもいいのではと思う。
107	生月地区	男性	55-59歳	自宅でもインターネットでできる職種をPR、支援する。
108	生月地区	女性	18-19歳	平戸市ないの求人サイトを作る
109	生月地区	女性	25-29歳	どのような仕事があるのか、仕事内容が分からない。
110	生月地区	女性	35-39歳	賃金が低いとモチベーションも上がらない。
111	生月地区	女性	40-44歳	漁師などもっと給与をよくすれば働く人も増えるのではないのでしょうか。
112	生月地区	女性	45-49歳	地域の空き家を定住・移住のために、何らかの形で利用できないか。空き家を解体するために、金銭的理由で困難と考えている人がほとんどではないか。そこに市として補助金などを手厚くサポートしていくなど。
113	生月地区	女性	45-49歳	在宅、内職が欲しい
114	生月地区	女性	50-54歳	働くところがない。賃金が安すぎる。
115	生月地区	女性	50-54歳	若者がいない。外国人の起用を増やすべき。
116	生月地区	女性	50-54歳	街は店もたくさんあって良いかも知れないけれど、集中している場所、地域以外は「何もない」。市内のことしか考えてないよね。きつと。

■問19 雇用促進に関するアイデアや促進が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
117	生月地区	女性	50-54歳	企業誘致は難しいと思いますが、できれば年を取ってからでも働ける場所があればいいのに…と思います。
118	生月地区	女性	50-54歳	時給、給料を上げる。
119	生月地区	女性	50-54歳	昔は大人数で働いていて紛れていたため意識していなかった発達障害やメンタルヘルスの問題を抱えた人たちが、人手不足の折に「当たり前」を求められてうまく適応できず苦しむ場面がある。障がい者枠で採用されても内心経営者に煙たがられる等の実情もある。困難を抱えつつも働きたいと考える人たちが無理なく安心して働けるよう、市内の事業所への啓発をレベルアップして欲しい。
120	生月地区	女性	55-59歳	京都にあるような量り売りのお店があったらと思います。ゴミを減らせて食品ロスにも繋がると思います。
121	生月地区	女性		圧倒的に雇用範囲が狭く、雇用できる数が少ない事が原因。大型商業施設がひとつでもあれば、それに伴って雇用も増えると思うし、また、賃金の低さから田舎では生活できない悪循環になっている。生活にかかるお金は他県と変わらないのに、平戸は給与が低すぎる。
122	田平地区	男性	30-34歳	給料(賃金UP)、働き方改革、子育てしながら働く方へのサポート充実(時短勤務に対する理解のなさ)。
123	田平地区	男性	30-34歳	平戸市に働きたい職種や大企業等がないため、給料面で圏外へ行くことを、選ばざるおえない。
124	田平地区	男性	30-34歳	企業誘致をすること、また市内の方への優先的採用
125	田平地区	男性	35-39歳	市外への流出も影響していると思うが、市内への企業誘致も行われていると思うので、なかなか難しい問題かと…。賃上げに関しては企業に頑張ってもらうしかない…。
126	田平地区	男性	35-39歳	働きたいと思う企業がないと思うので難しいと思う。企業の仕事風景などの写真などをみることができれば雇用促進に繋がるかもしれない
127	田平地区	男性	35-39歳	企業誘致は必須。 大企業だけではなく、中小企業にも目を向ける必要がある。
128	田平地区	男性	35-39歳	ハローワークに載せる内容をもっと魅力的に書く。写真を多く載せるとか。そういうところを市が雇用主にアドバイスするとか？今は仕事もネットで探す時代だと思うので。平戸市に特化した就職サイトとかを運営するとか。あとは5年働いたらお祝い金とか？介護職の方などには就職お祝い金渡しているような記事を見ましたが、他の職種は無いのでしょうか？
129	田平地区	男性	35-39歳	企業誘致、賃金増加のためのサポート、補助金創出などを考えるべきではないでしょうか。
130	田平地区	男性	35-39歳	全国的にも子育て支援は充実してきている傾向だと思うので、企業との連携というか、まずは把握、そして協力理解のあと推しが必要だと思います。やはり子育て世代は子育てとの両立を考えて就職先を選びますし、現職を退職したいとも考えます。 子どもを保育園に迎えに行った時によその保護者が病気で登園できない子どものために会社を休むのに「園からの証明が必要でー」みたいな話を聞いてまだそんな会社があるのかとぞっとしました。また夜勤業務がある医療機関でも、とても子育てができるような勤務時間帯ではなく、少しでも多く稼ぐために夜勤をしたくてもそれじゃ子供を保育園に送迎すらできないという状況です(夜勤実働12時間超え)。
131	田平地区	男性	40-44歳	市内で働けるような企業があると良い。
132	田平地区	男性	40-44歳	IT企業などの会社を平戸市に促進してほしい。
133	田平地区	男性	40-44歳	空き家があるので、周防大島町を参考にした、経営者を支援するような取り組みができないでしょうか。空き家を無料で貸しだし、ネット環境を整え、商店街で使える食券を配布し、住環境を整備し、起業に向けたサポートをするなどはどうでしょうか。従来の雇用を生み出す方法よりも、実業家をサポートし、税収が上がれば福祉の充実にもつながるのではないのでしょうか。

■問19 雇用促進に関するアイデアや促進が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
134	田平地区	男性	40-44歳	やはり大手の工場があると雇用促進や安心感などが増えると思います。
135	田平地区	男性	40-44歳	採用企業への援助、企業の誘致、障害者(身体手帳取得者だけでなく難病持ちなど)の雇用促進の為、企業と障害持っている方のマッチングの場や相互理解の場！潜在的にいる障害を持っており働きたいけど働く場が無い方の掘り出し→結果.税収入アップ！若い元気な方には何が平戸の魅力なのかを他の市町村との差別化を強くアピール(SNSなどでも)支援で一時的には支出は増えるかもしれませんが長期戦略としては投資の必要があると思います。平戸に住みたいと思える環境作りへの投資をお願いしたいと思います
136	田平地区	男性	45-49歳	まず人が集まらないと雇用は増えない。
137	田平地区	男性	50-54歳	自然の豊かさを活かすため、空き家をグランピングなどの施設として変化させ、観光客の集客やそこで仕事ができる若者が増えるといいと思う。
138	田平地区	男性	50-54歳	平戸海関を使う。
139	田平地区	男性	50-54歳	農水産就労者には大減税を行う。
140	田平地区	男性	50-54歳	道路、港の整備を行い流通経路を確保し、企業誘致を行う。
141	田平地区	男性	50-54歳	リモートワークで仕事ができる環境を整備するとともに、都心部からの企業誘致が必要だと思えます。
142	田平地区	女性	30-34歳	給与が低い。働ける場所が少なく、田舎なので通勤に時間がかかってしまうため働ける場所が限られる。内職や工場の単純作業などができると幅広い人材も確保しやすいのでは？
143	田平地区	女性	30-34歳	時給の見直し 休みの取りやすさ、
144	田平地区	女性	40-44歳	食品工場など？！物流が立地的に遠くて難しいんですかね？工場建てられる場所はたくさんありそうですが、おしゃれなホテルとか、目玉になるような女性が行きたくくなるようなプールもカラオケもカフェもバーベキューもサイクリングも・・・みたいな1日遊べるホテルとか。
145	田平地区	女性	40-44歳	Uターンで戻って地元で働く人への支援(金銭面で)
146	田平地区	女性	40-44歳	就職先の充実、最低賃金の見直し
147	田平地区	女性	40-44歳	大きな商業施設や企業工場などが街に来れるよう、もう少し道路の整備をするといいのでは。
148	田平地区	女性	45-49歳	企業の誘致
149	田平地区	女性	50-54歳	大きな企業の工場誘致などしてほしい。若い人が帰って来ない。
150	田平地区	女性	50-54歳	給料をあげるばかりでは促進には繋がらないと思います。しっかり長く働ける職場、働く人に応じた仕事の質、働く人の技術、それを育てる人材育成。当たり前のことなんでしょうが。
151	田平地区	女性	55-59歳	平戸と田平では力の入れ方に差があると思う。
152	田平地区	女性	55-59歳	健康長寿のために高齢者にも生き生きと働いてもらう(ボランティアも必要)。
153	田平地区	女性	55-59歳	「平戸に留まりたくても仕事がない」と多くの方から聞かされてきた。人口が少ないのだから仕方がないと思うけれど、雇用促進が必要なのは、間違いないだろうと思う。ただ、大橋の通行料金を100円ばかり取るための仕事(その人を雇うための通行料金となってしまう！)のように”仕事”を捻出するための仕事ではなくて、ルーズベルト大統領が大恐慌の際、アメリカ経済復興のためのニューディール政策で、五大湖周辺の住宅建造を進め、その住宅地によってアメリカは今でも恩恵を被っている・・・と読んだことがあるが、先々にも益が残るようなことを行うための仕事＝無駄にならない仕事(私はすぐ”もったいない！”と思うたかなので)を作り、提供するという雇用促進が必要ではと思う。
154	田平地区	女性	55-59歳	学校 介護関係や、調理、住居も完備の学ぶ場 高校生里親制度など、
155	大島地区	男性	45-49歳	熊本の半導体工場のような成長分野の大工場の誘致。

■問19 雇用促進に関するアイデアや促進が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
156	大島地区	男性	55-59歳	まず、観光客を呼び込める施設を作らないといけない。観光客が増えればおのずと色々な店舗、施設が増え雇用促進になる。平戸市～福岡まで直行便を出す。直行便であれば2時間弱で行き来ができる。まず平戸の知名度を上げる。
157	大島地区	男性		大学誘致等や大企業の誘致。
158	大島地区	女性	40-44歳	企業を誘致しなければ雇用は増えない。
159	大島地区	女性	50-54歳	平戸市の観光事業に力を入れた取り組みを行い、雇用を増やす。
160	度島地区	男性	40-44歳	企業努力だと思う。魅力ある会社は呼ばなくても人は集まる。そういう平戸にしていけたらいいな。
161	度島地区	女性	45-49歳	賃金の増加、雇用場所の確保。市街地は観光メインのようなので、それを活かしながら交通網の整理など、道路の使いやすさも重要だと思います。
162	度島地区	女性	45-49歳	子育て主婦が、子どもが学校や保育所にいつている時間に働ける仕事がないので増やしてほしい。理想は10時から14時。
163	度島地区	女性	50-54歳	元気なお年寄りでも雇われる職場があればいいなと思う。元気な人でも、もうお年だからと言って雇ってもらえないのよね～なんて言っている方もいる。町の掃除など町内でもやっているでしょうけど、一週間に一回くらいの割合で掃き掃除などしてもらえたら、町も綺麗になるし掃除している人も働き甲斐が出てくるのではと思う。
164	度島地区	女性	55-59歳	介護ヘルパーの給料を上げてほしい。若い子達も男性も働けるようにしてもらいたいです。(じいちゃん・ばあちゃん重たい方が増えて重労働！)
165	度島地区	女性		賃金を上げないことには、どうにもならないと思う。

■問19 定住・移住促進に関するアイデアや促進が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
1	平戸北部地区	男性	20-24歳	観光客を呼び込もうと頑張っているようだが、受け皿が悪いのに、来てもらっても恥をかくだけ。市が率先して若者に指導し、若者に職を与えることが出来たらいいね。老人の雇用より若者の雇用に力を入れてほしい。観光地に偉そうな老人スタッフは不要だと思う。若い人の仕事があれば定住につながると思う。
2	平戸北部地区	男性	20-24歳	北部方面でも、西肥バスのような大型車は利用者が少なく思える。「まめバス」みたいな、またはハイエースくらいの大きさの車を頻繁に運行してもらえると高齢者も外出の機会が増えるのでは？タクシーチケットは少ない。タクシーもつかまらない。同じ予算を使うならもっと使えるものを考えてほしい。
3	平戸北部地区	男性	25-29歳	観光客として県外市外から来た人に、どういう要件で来たか何が充足したら定住まで考えるかを聞く。
4	平戸北部地区	男性	25-29歳	仕事、買い物を楽しめる場所が少なすぎる。大橋が通行止めになると仕事に行けなくなる。島内で職場があればいいと思う。バスの本数が少ない。小型にして本数を増やしたらどうでしょう。イオンモールとか近くにあるといい。佐賀のモラージュとかゆめタウンみたいな。大橋が渋滞しないようにしてほしい。1時間動かない時がある。
5	平戸北部地区	男性	25-29歳	出産、育児に関する金銭的な援助を他の市よりも充実させれば、確実に良い方向へ繋がる。 少しだけ充実されるようでは、あまり変化は望めない。
6	平戸北部地区	男性	25-29歳	人口が減っているなか、移住者にもっとフォーカスした方が良い。市民が出ていくことばかりでなく、移住者に優しくした方が人口減少には少し歯止めはかかると思う。私の身内も平戸への移住を考えていたが、市営住宅の状況や民間企業のアパートを見ても家賃が高く断念した。 新婚夫婦や若い年代へのサポートや補助も、もってしてあげないとこのまま平戸市は衰退していく一方だと思います。
7	平戸北部地区	男性	25-29歳	住民同士の横のつながりは大事だが、明らかな不必要なまでのつながりは住みにくさにつながるため、程よい繋がりのみで住める場所を確保し、それと自然の豊かさ、歴史のことなどでアピールする。
8	平戸北部地区	男性	25-29歳	地理的に若年層の人口減少は仕方がない。子育て支援や雇用促進、など他の地域よりも魅力あるものにしないと定住、移住、人口減少の改善は厳しいと思う。あと商業施設が少ないのが残念。遠いけど行きたいと思うちょっとした商業施設がほしい。
9	平戸北部地区	男性	30-34歳	買い物する場所がもっとあれば定住も考える。幼児だけでなく小学生にも支援があれば良い。
10	平戸北部地区	男性	30-34歳	市外からの移住者に家賃の何割補助や、家を建てる際の補助の増額などがあると良い。
11	平戸北部地区	男性	30-34歳	とはいえ、市内の雇用には限界があるので、ベッドタウンとして住みやすい街づくりを進めて、自然環境のよさや育児のしやすさをアピールしてはどうか。
12	平戸北部地区	男性	30-34歳	上記でも述べた通り、やはり大手企業がないことです。平戸市はアジアの都市とも近い位置にあるので、物流貿易港を設置すれば、近隣の東アジアのようなハブ港としての機能が生まれるのではないかと考えます。輸出・輸入の生産拠点としての立地では抜群だと思うので、その強みを活かし、整備を進めて欲しいと思います。
13	平戸北部地区	男性	30-34歳	移住する際に住む物件がありませんでした。住宅の斡旋、空き家問題の解決が必要だと感じます。また、移住者のコミュニティ作りも必要だと思います。
14	平戸北部地区	男性	30-34歳	地理的に遠いので道路をつくる。 企業の誘致
15	平戸北部地区	男性	35-39歳	もう少し子育て支援の良さをアピールするべき。結婚してからの住宅補助ももう少し所得制限をゆるくしてもらえるといいと思う。

■問19 定住・移住促進に関するアイデアや促進が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
16	平戸北部地区	男性	35-39歳	自然災害、特に平戸は台風の影響が強く、私の地域では停電やインターネットの切断等の影響があり、特にインターネットは台風の度に復旧の連絡を入れて数日後に復旧する状況である。 インターネットを使用して情報を得たり仕事に使用している身としては、もっと強固で安心できる回線を望んでいる。 また、市内で使用できる回線速度が下り上り共に最大1Gbpsというもののばかり。最大10Gbpsというのも昨今増えており、インターネットを重視する人からすると平戸市はインターネットに弱いという印象を持たざるを得ない。 インターネットも今では立派なインフラであり若者や企業も注目する点である。平戸市としてインターネットインフラに力を入れる事は必須の課題であり、移住・定住、雇用促進の手助けになる事は間違いないと言える。
17	平戸北部地区	男性	35-39歳	もう少し賃貸情報の充実を
18	平戸北部地区	男性	40-44歳	もっと平戸の魅力を地域住民自体が知るようにしないと、他の地域の人々を平戸に呼べない。もっと住民に平戸の魅力を知ってもらうようアピールしてほしい。
19	平戸北部地区	男性	45-49歳	ホームセンターばかり建てないでもっと食(スーパー・コンビニ)に関するものを作らないと、車がないと生活できない問題がずっと続いていく。街の方の空き地を利用すればいいのに。いつまでも空き地のままでどうするつもりなのか？
20	平戸北部地区	男性	45-49歳	市民目線でいうと、休日は市外に出向いてしまうし、子供達のスポーツの試合も市外ばかりになってしまう。平戸には何もかもがそろっているという状態ではないので、住みやすい街に視察に行ってもらい肌で感じてもらうしかないのでは。まずは商業、工業地帯を作るべき！！
21	平戸北部地区	男性	45-49歳	土地が少ない。土地代が高い。家を建てる時に感じた。まだまだ活用できる土地が残っていると感じる。もったいない。
22	平戸北部地区	男性	45-49歳	アパート等の充実、物件に対して家賃が高い
23	平戸北部地区	男性	45-49歳	Q22と同じ。 廃校の学校を民間用居住に改装し安く提供。 空家情報をより分かりやすく、日本人限定で安価で貸りやすくする。
24	平戸北部地区	男性	45-49歳	土砂売って平地造成する。 市役所員が多すぎるので平戸市で介護施設を作りそっちに回す。
25	平戸北部地区	男性	50-54歳	西九州道の早期完成。
26	平戸北部地区	男性	50-54歳	移住者にもっと補助を出さないと定住する人がいない。
27	平戸北部地区	男性	50-54歳	インフラとライフライン。
28	平戸北部地区	男性	55-59歳	Uターンを考えている人は、平戸に対する愛着があるため、その決断をさせるためのあと一押し支援を検討してほしい。
29	平戸北部地区	男性	55-59歳	高校住宅を市が買い取るか借家として低家賃の住宅を作ってはどうか。戸石川地区の住宅は修理すれば住めます。遊ばせているのがもったいない。
30	平戸北部地区	男性	55-59歳	観光地平戸とはよく言われていますが、道路の横は草がはえて歩道が見えなくなっていたり、環境整備が全くできていないので、役所に環境整備課(地域のボランティア・・・高齢者ばかりで無理です。)を設けてほしいです。竹や木が伸びてしまっ、観光地としては全く整備出来ておらず、草だらけの観光地です。観光スポットに行く道を一度歩いてみてください。平戸城だけは綺麗みたいですが・・・。逆に平戸城から市内を見ると、竹ばかり見えてしまいます。倒れたり、伸び続けたり・・・。

■問19 定住・移住促進に関するアイデアや促進が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
31	平戸北部地区	男性	55-59歳	減少する人口の中で、広大な平戸市を行政サービスすることは、今後ますます質の低下も予想される。できるだけ人口を市の中心部に集めて、住・生活環境を向上させ、また、スマート都市のような低コストで人に優しく災害に強い町とするなど、計画的な住み換えを促進していくことが生き残りの一歩ではないだろうか。このまま分散した住環境下では、対策に限界があり決断も必要。
32	平戸北部地区	男性	55-59歳	定住、移住を促進するには、仕事、職場の拡充が絶対。まずは地場産業、企業誘致に力を入れることだと思う。
33	平戸北部地区	男性	55-59歳	蓄電池の補助。
34	平戸北部地区	男性	55-59歳	日本最西端の地理的要件からリゾート的な平戸市を全面に出し、老後の生活が出来る居住環境を整備する。また、地震災害が少ない事も平戸市の売りにしていいのではないかな？
35	平戸北部地区	男性	55-59歳	若い世代が定住するための助成制度の充実が必要
36	平戸北部地区	女性	25-29歳	平戸市北部しか充実した買い物ができる場所がないので、北部に宅地を作る または中南部にもドラッグストアなどを充実させる
37	平戸北部地区	女性	25-29歳	定期的に移住体験や、移住者などとの交流会を開催する。
38	平戸北部地区	女性	25-29歳	私は他県から今年平戸市に移住してきた。 様々な地域に住んでいたことがある。 他県に住んで、いいと思ったことは、生活支援として、全住民にその地域のお店で使用出来る商品券を配布していたことである。 物価高騰で困っている人もいると思うし、そういった支援があれば、平戸市に住んでよかったと思われるので定着に繋がるのではないかなと思う。
39	平戸北部地区	女性	30-34歳	賃貸住宅への家賃補助よりも、家を建てて永住する見込みのある市民にこそ補助を出すべき。
40	平戸北部地区	女性	30-34歳	空き家対策や、移住者への補助金など
41	平戸北部地区	女性	35-39歳	補助金も大切だとは思いますが、まず定住したくなる環境がないと、一時的に「住みたい」と思っても、「住み続けたい」にはならない。「観光」には向いているが、定住するのは難しい。「古き良き」だけを続けていくようなら人口は減っていくと思います。
42	平戸北部地区	女性	35-39歳	定住に関して、平戸の人口が減っている地区は若い世帯が大垣地区や田平地区に家を借りたり建てたりしているので、小中学校の生徒数が極端になっている。実家に住んだり、出身地区に家を建てる世帯には助成をしてほしい。
43	平戸北部地区	女性	35-39歳	田舎暮らしに憧れている人とかいっぱいいると思うので、そういう人たちに体験してもらったり、空き家をとても安く貸し出す等する。一人暮らしでできる住宅を増やす(3~4万円ぐらいの家賃で)。
44	平戸北部地区	女性	35-39歳	他県のように、25年住み続けると、借りている新築の一軒家が自分の家になるシステムなどがあると住み続けられるし、家族がいる世帯はうれしいと思います。
45	平戸北部地区	女性	35-39歳	観光で人を呼んで定住・移住を促すまえに、今住んでいる人にとって魅力的な市(買い物する場所や働く場所、医療や交通網、飲食店の充実)にならないと人は来ないと思う。
46	平戸北部地区	女性	40-44歳	海外の方が増える可能性があるもので、いろんな言語を学べる機会を増やす。教室に通うとなお良い。(英会話教室を開いてほしい。)
47	平戸北部地区	女性	40-44歳	住宅が古すぎる

■問19 定住・移住促進に関するアイデアや促進が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
48	平戸北部地区	女性	40-44歳	どのような移住者に来てもらいたいのか、移住者が平戸市に来た後具体的にどんな風に暮らすのかの明確なビジョンがないように思います。 都市圏からの移住者に来てもらいたいのであれば、免許取得や自家用車の確保について何らかの支援が必要かと思います。車社会ではない場所で生活してきた人間にとって、車が必要な生活というのは想像が難しく、不安が大きいものです。元々平戸に住んでいたひとには当たり前のことであったとしても、細かい説明が必要かと思います。 平戸市内でどこかの企業の従業員になってもらいたいのであれば、具体的な求人情報や所得に見合った住宅の確保と共に情報発信や事前のマッチングを行うのがよいかと思います。 平戸市内で創業してもらいたいのであれば、移住者が土地勘のない場所でいきなり(雇用を伴う)創業をするというのは非現実的なことです。移住前の話し合いも含め、慎重かつ手厚い支援が必要かと思います。また、平戸市の創業支援は35歳以下に特に手厚いようですが、ビジネスマンとしてのスキルや人脈が充実するのは最低でも40歳前後です。成功する創業を求めているのであれば、創業支援の対象の年齢層を再考した方がよいかもしれません。 ITエンジニア等のリモートワーカーに来てもらいたいのであれば、コワーキングスペースが必須の施設です。例えば唐津市のMEME KARATSUのような施設があれば、リモートワーカーが日々の業務やミーティングに使用できますし、ワーケーションをするひとにも助かります。何にせよ実際の利用者の意見を聞いたうえで設置する必要があるかと思います。
49	平戸北部地区	女性	40-44歳	移住する人にとって、地元のお祭り、イベントというのは特に必要としていないような気はします。定住するための地盤が弱いから、ここを選ばないというだけで、やはり住居、収入、食費の問題が緩和されることが最優先なのかと思います。あとアンケートにあってビックリしましたが、回覧板など、町内会の結びつきが強すぎる、若者に依存しすぎてるのは本当に外から見て大きな問題課題だと思っているので、町内会やPTA等の在り方は考えていく方がいいのかなあとは思っています。すぐすぐ無くす必要はないとは思っていますが、考えていく必要があるかと思っています。
50	平戸北部地区	女性	45-49歳	住まなくなった空き家などの利用(建物)。
51	平戸北部地区	女性	45-49歳	持ち家を探すときに苦労した。建売住宅などもあればいいなあ、その時感じた。
52	平戸北部地区	女性	45-49歳	中部に温泉センターがあるので、そこを拠点に足湯やホテル、住居を作る。生月方面にバイクツーリングする人が多いので、彼らが立ち寄れるカフェ飲食店を作る。
53	平戸北部地区	女性	45-49歳	昔に比べて夏の台風が減ったり(平戸直撃)、他の地方では自然災害が多かったりと気候変動の影響だと思われそうですが…平戸市では今のところ地震も少なく住みやすくなったのかもしれませんが。以上が良い点でしょうか…。
54	平戸北部地区	女性	45-49歳	なぜ移住する人たちが平戸ではなく五島を選ぶのか…分析して改善してほしい。
55	平戸北部地区	女性	45-49歳	企業の誘致。
56	平戸北部地区	女性	45-49歳	安く土地を売ったり貸したりすればよい

■問19 定住・移住促進に関するアイデアや促進が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
57	平戸北部地区	女性	45-49歳	お互いが認め合い受け入れる姿勢を持たないと、平戸じゃなくてもどこでも促進には繋がらないと思う。 移住に関して言えば、移住してきた人たちだけの懇親会や意見交換会など、もっと積極的に行い、例えばまち協の様な機関と連携して、地元の皆さんとの意見交換などの場を積極的に設けて行くことも大切かと思う。 ただ、他の人に介入されたくない、という地元の方や移住者もおられると思うので、そこはお互いを思いやれる心の余裕があると良いなと思う。 また、定住というところで、例えば学校進学等で外に出て行くことは仕方がないけれど、そのあといつか平戸に帰ってきて貰えたら…というのは誰しも思っていると思う。 その時、Q19の回答に書いた様に、もっとある物に目を向けて、この素晴らしい街を大切に守って行くことが大事だと考えます。 いつも平戸市のためにお仕事して下さりありがとうございます。私たち住民にも出来ることがあれば、お役所任せではなくオール平戸で取り組んでいけたらとおもいます。
58	平戸北部地区	女性	50-54歳	移住して良かったと思えるようフォロー。仲間づくり、情報交換。平戸ならではの特典(特産品プレゼント)。
59	平戸北部地区	女性	50-54歳	「平戸で英会話ホームステイ」をキャッチフレーズに、日本からは日常の英会話を習得したい、気軽に外国の人と話してみたいという人を対象に、外国からは日本文化や日本語に興味のある英語の話せる人を対象に募集し、フェアハウスで一定期間共同で生活してもらい、お互いに習得してもらう事業。それが定住・移住促進に結びつき人口増加につながるかはわかりませんが。平戸市政のためにご尽力、日々ありがとうございます。
60	平戸北部地区	女性	50-54歳	市民の意識が変わらないと難しい。閉鎖的、排他的な環境では暮らしていくことができない。定住・移住促進事業を行っているところは日本全国どこでもあるので、無理だと思ったらよそに行く。
61	平戸北部地区	女性	50-54歳	病院の充実。
62	平戸北部地区	女性	50-54歳	車もいつまでも運転できるわけではないので、定住するならばかなり充実した施設が必要になると思う。交通の面に関して、はかかなり考えなくてはならない課題だと感じます。
63	平戸北部地区	女性	50-54歳	坂本龍馬や西郷隆盛なども訪れた歴史のある地なので、歴史が好きな人にも魅力を発信しては。吉田松陰宿泊地や山鹿家など。あと、他の移住定住地でもそうですが、おいしいものが食べられるというのは魅力です。
64	平戸北部地区	女性	50-54歳	平戸市に娯楽施設等(飲食店)などを作っても狭い町で人に会いたくない人もたくさんいると思います。 現に買い物もわざわざちょっと遠くに行ったりする人が多いです。ただ、住むには静かで、災害も少ないイメージです。 ただ、問題は働く選択肢が少なく、ちょっと遠いと通勤しにくいのが問題かなと思います。 その点が改善されてほしいです。
65	平戸北部地区	女性	50-54歳	平戸島の土地は高いので、若い家族が田平地区に家を建てたり店が移動したり、閉店したりして、城下町がさびれてしまっているのが寂しい。空き店舗を住まいにリフォームして住まわせたり、道から見える部分だけでも、城下町の住まいを再現したら素敵だと思う。観光客が増えないかな？
66	平戸北部地区	女性	55-59歳	空き家、空き地の市による買い上げ。有効活用。家賃補助、起業補助によって移住者や産業を増やす。

■問19 定住・移住促進に関するアイデアや促進が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
67	平戸北部地区	女性	55-59歳	市営住宅を一戸建てにしてほしい。
68	平戸北部地区	女性	55-59歳	空き家になっている家を他県からの居住拠点として利用するのはどうか。
69	平戸北部地区	女性	55-59歳	高齢者が都会の子供に引きとられるケースが増えているように感じてます。逆に都会の子供が実家に帰ってくる(定年後でも)何かアイデアがあればと思います。
70	平戸北部地区	女性	55-59歳	子育て支援は充実しているので 高齢者ではなく若者に対する定住、移住支援を特化すべきだと思う
71	平戸北部地区	女性	55-59歳	古家を貸したり、売ったり、逆に借りたりする仕組みを効果的に広告できれば他市から転入するのではと期待します。
72	平戸北部地区	女性	55-59歳	市が空き家を買取りリフォームして移住希望者に売却したらどうか？
73	平戸北部地区	女性	55-59歳	新しく建てて欲しい
74	平戸北部地区	女性	55-59歳	平戸市に来る人もいるでしょう
75	平戸中部地区	男性	30-34歳	無駄な木々や竹(道路に影響が出ているもの)を速やかに除去して、見栄えのいい環境作りを徹底して行ってほしい。
76	平戸中部地区	男性	35-39歳	税金をなくす。
77	平戸中部地区	男性	40-44歳	市内在住者に対する支援の拡充。
78	平戸中部地区	男性	40-44歳	災害が少ない都市平戸市
79	平戸中部地区	男性	45-49歳	やはり若い世代をと考えれば、子育て、出産、または反対に独居、高齢になっても安心して住み続けられる町が良い。人が少なくなっていく中で、必要になってくるのはネット。その充実は必須だと思う。
80	平戸中部地区	男性	45-49歳	空き家への居住促進(リフォーム)。
81	平戸中部地区	男性	45-49歳	子供達の進学、就職などで若い人が減ってきています。小さい頃から平戸の良い所などを伝え、親を大切にする心を教えていく。(平戸は良い所だよと小さい頃から教える。)
82	平戸中部地区	男性	50-54歳	町おこしで、平戸高校はサッカー、猶興館は野球など県内県外から子供達を呼んで、スポーツなどで強豪校にする。
83	平戸中部地区	男性	55-59歳	転勤で平戸に来た人の話を聞くと、最初は良い街と感じていたが、徐々に付き合う中で、他人の悪口、人の批判をよく聞くようになり、早く異動にならないかと思うという意見を聞いた。定住しない理由もあり、さみしい意見だった。
84	平戸中部地区	男性	55-59歳	空き家等を活用して、安価で賃貸又は移住者を募集する等。
85	平戸中部地区	女性	30-34歳	移住者や移住希望者が集える場所が少ない。行政だけでなく、民間と連携した気軽に相談できる窓口があれば相談しやすいと思う。二地域居住も今後推進していくことで、移住を考えるきっかけとなり、定住に繋がっていくと思う。
86	平戸中部地区	女性	35-39歳	空き家や戸建て賃貸物件の充実
87	平戸中部地区	女性	45-49歳	車の運転をしなくても、生活できる環境づくり。
88	平戸中部地区	女性	50-54歳	立地が悪いので、活性化は難しいと思う。
89	平戸中部地区	女性	50-54歳	人口が減っている。大学を作ったらいいとおもう。
90	平戸中部地区	女性	50-54歳	僅かな移住者より毎年市外に転出している若い人達を市内に留める政策に予算を使って欲しい。
91	平戸中部地区	女性	50-54歳	ネット環境の充実、空き家などを市がリノベーションしたりして、古くても新しい家にするのと借りる人もいるのではないかな。
92	平戸中部地区	女性	55-59歳	平戸は都会と違い田舎暮らしの体験できるところを逆に作る。ポツンと一軒家みたいに土間や囲炉裏、昔ながらの暮らしが体験できる家みたいなものもあっていいと思う。電気ジャーでなくかまどで炊くご飯を提供するなど、田舎体験できるところを…。薪で焚く風呂とか…。田んぼ体験もいい。お米オーナー制とかいいと思う。(能登の輪島の棚田のような、米の付加価値を上げる。普段の管理は地元の人とする。)

■問19 定住・移住促進に関するアイデアや促進が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
93	平戸中部地区	女性	55-59歳	若い人は今、ネット環境から情報を集めたり人と交流したりしているようです。どこにいても世界とつながれる。その環境を整備しながら、田舎暮らしをどう楽しむか難しい所だとは思います。平戸の魅力、それは豊かな自然とおいしい魚介類。それだけだと子供達に言われ子供達は平戸を出ていきました。いずれ戻ってくるかはわかりません。子供達は平戸のことは嫌いではありませんが、刺激がないようです。(とりとめのない事を書いてしまいました。)
94	平戸中部地区	女性	55-59歳	仕事場を選べない。賃金の低さ、物価高騰(ガソリン、灯油)などでは？
95	平戸中部地区	女性	55-59歳	空き家を利用してもらえるようリフォームして貸し出す。
96	平戸南部地区	男性	30-34歳	平戸島南北に渡る高速道路もしくは自動車道の建設。移動時間の短縮のため。
97	平戸南部地区	男性	30-34歳	子供や、若い子がのびのびと過ごせる施設作り。
98	平戸南部地区	男性	40-44歳	移住定住者への補助をもっと増やす。
99	平戸南部地区	男性	40-44歳	もっと高齢者に優しい交通機関の拡充や料金の安さタクシー会社を増やして欲しい。(野子まで簡単に来れるような環境)にして欲しい。
100	平戸南部地区	男性	45-49歳	移住者ばかりでなく、ずっと住んでいる人への助成。
101	平戸南部地区	男性	45-49歳	空き市営住宅や空き家バンクを活用した日本各地の若者災害被災者移住支援 または、被災された地域で移住を考えている方に平戸移住支援を紹介したパンフレットを作成して仮設住宅後を支援しながら移住者誘致を行ってみてはいかがでしょうか。
102	平戸南部地区	男性	55-59歳	中小企業の誘致希望。
103	平戸南部地区	男性	55-59歳	交通網の充実。

■問19 定住・移住促進に関するアイデアや促進が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
104	平戸南部地区	女性	30-34歳	市を活性化させるには、人口を増やすことも大切だけれど今後日本の人口は減少していくので 県外や海外からの観光客にお金を落としてもらわなければならないと思う。 【アイデア①】 長崎県には魅力的な温泉やスパが少ないため、伊万里や武雄に行く知り合いも多い。 温泉がでなくても、日帰り入浴やサウナ、岩盤浴等ができる施設があれば 釣り人やツーリング、海水浴に訪れた人が利用する。また、雨の日も楽しめる。 温泉施設内にはリラクゼーションやフィットネスジムを併設している場所もあり、老若男女問わず人気。 そして働く人も増える。 ▼参考 ※湯けむりの庄 宮前平店 ※おふろの王様 和光店 【アイデア②】 温泉ができれば、近くに民宿やホテルができ、 周りに飲食店(レストラン、居酒屋、カフェ等)やお土産屋ができる。 お洒落な写真スポットを作ってSNSで20代の集客を狙う。 まず平戸という土地を知ってもらおう。 実際に遊びに来て初めて移住を考えるとと思う。 【アイデア③】 平戸南部は交通手段がほぼ車なのに 前津吉からのフェリーが到着してもレンタカーやタクシー、バスも何も通っていない。 フェリーは珍しい乗り物なのでそれだけで楽しめるよな気がするのに 目的地に観光スポットがないため利用者が少なく感じる。 前津吉発バスツアーなどを作っても面白いのではないのでしょうか？ 高齢者が住みやすいのも良いですが、 若者がわくわくするような街になっていけば嬉しいですね！
105	平戸南部地区	女性	30-34歳	SNSなどでの宣伝が少なく、どんな場所、家等があるかをもっと知ってもらおう
106	平戸南部地区	女性	35-39歳	子どもを育てる環境としては、平戸はとても良いところだと思うが、それに見合った子育て支援や、住居を用意するなどしないと移住や子供を連れて戻って来ようとは思わないと思う。保育施設や学童施設も充実しているが、もう少し利用しやすい様な値段にしてほしいと感じる。仕事がある他の県や町でも子育て支援がしっかりしている所へ子育て世代は移住していると感じる。
107	平戸南部地区	女性	35-39歳	平戸市の企画課の政策企画班が考えてください！！
108	平戸南部地区	女性	35-39歳	①平戸市内のホテルで結婚式を挙げてもらう為のサービス(式代補助)→②なおかつ、平戸市内に住む(1年間の家賃半額補助)→③そして、子供が生まれたら、保育料無償化なので、①と②の流れを作してほしい。
109	平戸南部地区	女性	40-44歳	住みやすい空き家を探している人は意外といるので、市に充実した窓口があるとよいのではないのでしょうか。全般的にホームページが見にくいです。
110	平戸南部地区	女性	45-49歳	移民の方はやめてほしい。自然豊かな平戸で農業・漁業・酪農など興味のある方を移住させる。
111	平戸南部地区	女性	45-49歳	県外へのアピール。移住者が増えるように他県他市より手厚いサポート。人口が増えれば全てにうるおいが生まれる。
112	平戸南部地区	女性	45-49歳	空き家バンクは魅力を感じない。

■問19 定住・移住促進に関するアイデアや促進が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
113	平戸南部地区	女性	45-49歳	もっと空き家バンクの登録が増えると良いし、新しい空き家が登録されたら希望者にお知らせされる通知機能が付けば良い
114	平戸南部地区	女性	50-54歳	高齢化が進んでいるので、看護職とか増やしたらいいと思う。農作物・海産物の加工業で雇用が増えるとよい。
115	平戸南部地区	女性	50-54歳	南部地区にも空き家が多く見受けられます。味のある古い造りの家もあってもったいないと感じます。 静かで自然の綺麗なところなので物づくりをしているアーティストさんなどが多く移り住める場所にできないかなと思うことがあります。持ち主さんがいなくなったり不明だったりいろいろ問題はありますが、ある程度元の良さを維持したまま今風にリフォームして貸し出ししたり売ったりできないでしょうか。 水洗トイレとインターネット環境は必須だと思いますが、そうでなくても町単位で下水整備していただけたらすごく有り難いです。
116	平戸南部地区	女性	50-54歳	私自身は、平戸が好きで住んでいるが、子供たちには、他にも住める選択があってもいいんじゃないかと思う
117	平戸南部地区	女性	55-59歳	家賃を安くしましょう。移住者同士と、移住者と地元民の交流の場を作りましょう。
118	平戸南部地区	女性	55-59歳	活性化がなく寂れている。企業をもっと入れて、働く場所、環境が整っているところだったら自然と人は集まると思う。魅力がなければ、移住する者も少ない。もっと離島も活用すればいいと思う。
119	平戸南部地区	女性	55-59歳	すてきな町とおいしいものもたくさんあるので、住みやすさ、古い歴史、京都のようにどこか懐かしい優しい町になりますように。
120	平戸南部地区	女性	55-59歳	空き家のリノベーション
121	平戸南部地区		40-44歳	商業施設の充実、土地はたくさんあるのに何もやらない？！と思います。(例えばドン・キホーテ、コストコなど)
122	生月地区	男性	45-49歳	市外からの移住者の定住を促進している意味がわからない。それより、平戸市の子供達に定住してもらうために支援した方が良くと思う。税金の使い道を間違っていると思う。
123	生月地区	男性	55-59歳	街中より気温が低いとPR。
124	生月地区	男性	55-59歳	生月に家を購入したばかりの者ですが、移住の波は今後やってくるのではないかと思います。農業たまけでなく漁業にも気軽に触れられる環境があればより良い氣もします
125	生月地区	女性	18-19歳	交通機関の利用者を増やすような工夫をする補助にしよう
126	生月地区	女性	25-29歳	子育てのしやすさ平戸市での仕事があるのか。
127	生月地区	女性	30-34歳	民宿やゲストハウスを農業体験をしに来た顧客に利用してもらい、Uターン・Iターン者たちに実際に農業を地域で営むということに触れて
128	生月地区	女性	30-34歳	空いている土地がたくさんある そこに工場など企業を誘致して若い人が働く場所を作れば出て行く人も減らせるし、移住してくる人も増え、過疎になっている地域も活性化できるのではないかと思います
129	生月地区	女性	40-44歳	公共料金を下げる！(企業を誘致して税収を上げる)移住・定住が増えると思います！
130	生月地区	女性	45-49歳	大学を作ってもらいたい。
131	生月地区	女性	45-49歳	交通の便利
132	生月地区	女性	50-54歳	年寄りが口うるさいので、若者は出て行っている。子ども手当を振り込んであげれば、若者は残る。子育てもする。病院代も高校生まで0円にすれば安心して住める。
133	生月地区	女性	50-54歳	移住に関してのPRが少なすぎる。金銭的な補助も上げるべき。
134	生月地区	女性	50-54歳	近くにスーパーもないところに住もうと思う人がいるとは思えん。
135	生月地区	女性	50-54歳	市営住宅のハードルの高さ。部屋が空いているのなら、もっと基準を緩めてほしい。

■問19 定住・移住促進に関するアイデアや促進が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
136	生月地区	女性	50-54歳	アパート代を安くして移住者を増やす。平戸と県外の家賃があまり変わらないし、病院などへ行くための交通手段を考えるとお金や時間がかかる。
137	生月地区	女性	50-54歳	Uターン者への補助金もあったらよかった。リフォーム支援も(同居する若者も増えるかも)(空き家だけでなく、今住んでいる家も)。
138	生月地区	女性	55-59歳	定住・移住促進には関係ないですが、バス停に(平戸新町とかに)佐世保駅にあるような夏日のような気温の時に稼働するミストがあったらと思います。屋根があるバス停には、ソーラーパネルで動く扇風機があったらと思います。
139	生月地区	女性	55-59歳	第2の人生に平戸を選んで空き家バンクを活用させていただきました。先住地でお付き合いのあった不動産屋さんは、貯蓄の少ない若者世代のために格安の空き家や水回りなど住環境を整えていましたが、更にネット環境を整えてあげないと契約に繋がらないと嘆いていました。私達も引っ越し当初は電波が弱くて不便に感じました。
140	生月地区	女性		閉鎖的な考えを持った人が多いから若い人たちは嫌がって出ていくのだと思うし、魅力に欠けるから定住しない。
141	田平地区	男性	30-34歳	住みやすい環境(商業施設の充実、医療環境、公共交通機関の充実)が必要だと思います。
142	田平地区	男性	30-34歳	平戸市に住むと受けれる手当等を知らないの、市役所等で聞かなくても、みんな知ってるぐらい分かるように、宣伝等をして欲しい。
143	田平地区	男性	30-34歳	企業誘致から定住へ繋がると思う
144	田平地区	男性	35-39歳	居住費・水道代を安くする。
145	田平地区	男性	35-39歳	平戸市内での移住(中部・南部・生月・度島地区からの)で市北部地区に集中してしまっているの、市外からの移住者をもう少し増やしたい。子育て支援等が他の市よりも充実しているので、強みを活かして市外からの移住者を呼び込みたい。
146	田平地区	男性	35-39歳	補助金は今のままでいいと思います。 ひとつでもいいのでカフェのチェーン店など若者の居場所をつくれれば移住促進に繋がると思う。移住者イベントを増やす。
147	田平地区	男性	35-39歳	ドローン配送や自動車の自動運転等最先端技術を本市で試行できるように誘致すれば良い。 市の宣伝にもなり、良いと思う。
148	田平地区	男性	35-39歳	もっと若者が住んで楽しい町、オシャレな町、子育てがしやすい町である、ということをアピールする。 小佐々も最近オシャレなマルシェを開いたり、魅力的になってきていますよね。平戸でもオシャレな雑貨を扱う作家さんたちや、体に優しいスイーツなど作られる方など集めて、オシャレなマルシェを定期的に関いてみては。そうすると魅力的な町に見えるし、こんな方々が住んでいるんだ、いいなあと感じるかも。子育てしやすい町ということで、公園が綺麗に整備されているとか、トイレが綺麗だとか、近くにご飯を食べられるところがあるとか、そう言う暮らしやすさだったりとか大事だと思います。
149	田平地区	男性	35-39歳	空き家バンクや、Uターン補助金の拡充・アピール等。 以上全てのことに言えることですが、行政(政策含む)のアピールで1番効果があるのは、市長が露出することです。市長の露出が増えてテレビ視聴者層、インターネット利用者層に認知されれば、自ずと市の認知も高まり、市の行政政策への認知も高まります。市長の露出増を考えてみてはいかがでしょうか。

■問19 定住・移住促進に関するアイデアや促進が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
150	田平地区	男性	35-39歳	住環境の選定が困難、これに限る。自身、Uターン移住してきて最も計算外だったのがこれ(8移住者も同意見述べてました)。空き家バンクが機能していない、相場を無視した売の気のない価格設定とリフォームありきの悲惨な現状引き渡しデフォ。不動産査定くらいしたうえで案内しているのか？不動産査定金額をベースにすべきだし、案内する窓口の人もそのベースを知識として持っていて欲しい、空き家バンクの担当者が「地元の不動産で探した方がいいと思います」なんて言うしまつですからね。新規就農や漁業などで移住してきた人に対しても市営住宅の優遇措置等あってもいいのではないのでしょうか。
151	田平地区	男性	40-44歳	他の市に出来ないような、平戸市独自の魅力ある町に出来れば、移住してくる人も多くなってくるのでは。自然がいっぱいで住んで楽しく過ごせたらいいと思います。
152	田平地区	男性	40-44歳	公園の遊具など新しいものなどに換えて、楽しく遊べる平戸市をアピールしてほしい。
153	田平地区	男性	40-44歳	定住者への税制面の援助
154	田平地区	男性	45-49歳	子育て世代へのアピールが弱い。上記を前面に打ち出してアピール！！移住定住者の新規住宅取得などに対する補助の戸当たりが安すぎる。
155	田平地区	男性	50-54歳	平戸市内(大島ではなく)川内峠とか安満岳などに市の霊園を是非作って欲しい。お墓は今後、子・孫世代のことを考えると、作る予定がない。大島までは遠いと感じる。平戸が好きなので、是非お願いします。
156	田平地区	男性	50-54歳	他の市から移住者に補助金よりも平戸市在住の人(市に税金を支払っている人)を補助してほしい。高い税金を支払う意味がない。土地も買い家は建てたが、税金で平戸市に土地を借りている様だ。
157	田平地区	男性	50-54歳	空き地、耕作放棄地の利用。
158	田平地区	男性	50-54歳	地震などの災害が少ない、食べ物は美味しい、物価も安い、自然も豊か、落ち着ける環境など、平戸市の優位性をアピールすること。合わせて子育て環境の良さを伝えていくべきだと思います。現に結婚している女性が産み育てる子どもさんの数は全国的に見ても高い水準にあると思います。皆さん苦労しながら子育てをされていると思いますが、実際にそのような方はたくさんいらっしゃると思います。
159	田平地区	女性	30-34歳	子育て世帯の長期減税、家賃補助など。通院しやすい環境や買い物に行きやすい移動手段が足りない。
160	田平地区	女性	35-39歳	賃貸住宅の費用助成。そもそも子育て世帯向けの賃貸が少ない。
161	田平地区	女性	35-39歳	移住者がつながるイベントの開催
162	田平地区	女性	35-39歳	飲食店やドラッグストア、商業施設等を増やす
163	田平地区	女性	40-44歳	平戸市で中古住宅を購入したが、平戸市の住人だったら補助金なかった。定住を考えたなら平戸市民でも補助金があってもいいんじゃないかと思う。古民家を宿泊施設・・・利益出ますか？きれいでおしゃれな古民家だったら購入したい移住者とかいないのですかね？？新築は高いし。
164	田平地区	女性	40-44歳	平戸の魅力を発信する(インターネットを利用して)。
165	田平地区	女性	40-44歳	交通の利便性、小児科の充実、就職先の充実
166	田平地区	女性	40-44歳	教育の充実 例えば、小学校も普通の小学校しかないが、英語に特化しているとか、プログラミングや株の授業、eスポーツの導入など親からして将来子供達の進学、就職、自立に役立つ教育を打ち出した学校を作り宣伝する。
167	田平地区	女性	45-49歳	環境を活かし、水産業に力を入れたらどうか。
168	田平地区	女性	45-49歳	住宅地の開発 住宅メーカーメインで良いので、市はサポート程度で。ただ何もないところは家を建てるににくいので、ある程度学校やスーパーなどが近くにある立地

■問19 定住・移住促進に関するアイデアや促進が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
169	田平地区	女性	45-49歳	地域行事など地区の役員仕事などが多い！時代が代わり若い人は共働きがほとんどなのに、時間や労力を無賃で搾取されている。この風潮を変えないと新たな人材は来ない
170	田平地区	女性	45-49歳	空き家や空いた土地の活用。 農業に興味を持つ若い人を受け入れる姿勢。
171	田平地区	女性	50-54歳	家賃が高い。
172	田平地区	女性	50-54歳	移住者同士の交流会
173	田平地区	女性	50-54歳	市外へのアピールが地味な気がする。名産や観光等発進する場を どんどん増やしたらいい 農業をやってみたい人達への誘致を積極的にアピールして移住者を増やす ⇒ 農家で研修や休耕地の安価での貸し出し、売却の簡易化
174	田平地区	女性	50-54歳	まずは不便だと思うことは病院ですかね。 買い物等はネットがあるので大丈夫ですが万が一のことですね。 福岡から先生が2週間に1回とかしか来ないとかその間痛いのを我慢しないといけないという事例を身近で体験しました。 もちろん鎮痛剤はくれるし病院の対応自体は間違っていないのでしょうがその間も痛み続けてもう半年以上です。これって！あんまりだと思いました。そしてそれが不安に繋がります。もっと歳をとったらこんなところだと思います。人口に対する医療の状態は大丈夫なのかもしれないですが質のいいお医者さんにもっといて欲しいですね。 住むところはよくても、安くて住みやすい場所の斡旋や他県から来た人へ数年間とかその土地に慣れるまでの間に住居補助金みたいなものがあれば定住しようと思うならその期間中に家を建てる準備やらできるのにとかとりあえずの仮の住まいをすぐにでも与えられさらに補助があれば次のステップにすぐにでも進めるのにとおもいます。
175	田平地区	女性	50-54歳	定額の家賃で入れる、住宅を増やす。
176	田平地区	女性	50-54歳	住んでいる人の意見を参考にしてもわからない。ほかの自治体の人が望んでいるものは何かということを知るのも一つの手では？
177	田平地区	女性	50-54歳	大学を作る
178	田平地区	女性	55-59歳	平戸と田平では力の入れ方に差があると思う。
179	田平地区	女性	55-59歳	歩道の整備も必要(バスがない時歩くため)。身寄りのない高齢者が移住したいときは、不動産を売却後、公正証書遺言で平戸市に遺贈寄付をしていただく。
180	田平地区	女性	55-59歳	何だかいろいろ偉そうに書いてしまってすみません。市役所で働かれる皆様が私達市民のためにたくさんのことをして下さっていること、いつもとても感謝しています。調査も大変なお仕事だと思います。お疲れ様です。ありがとうございます。
181	田平地区	女性	55-59歳	空き家場あるがメンテナンスやリホーム また、交通手段
182	大島地区	男性	50-54歳	賃貸にしても、購入にしても高すぎるので、中古物件等をリフォームして安価な金額で貸し出し、もしくは売却したらよいのでは
183	大島地区	男性	55-59歳	空き家バンクを充実させ、農地や漁業であれば中古漁船の貸し出し等のセットが選べるようにする。空き家を住める程度にリフォームを行い(補助金)、オーナーには固定資産税程度の家賃を送金し、残りの賃貸料は市が受領し、資金を確保する。
184	大島地区	女性	50-54歳	離島に移住するにはアパート等の居住の充実が必要だと思う。
185	大島地区	女性	50-54歳	ランチできるお店を増やしてほしい。
186	大島地区	女性	55-59歳	移住民が増えても、参加・協力していただきたい活動に無関心な人の集まりでは全く意味がないと思う。条件提示はきちんと行い、協力して下さるような移住者のみ迎えられたらいいと思う。
187	大島地区	女性	55-59歳	平戸市は家賃が高いように感じる。 住宅改修には補助金があるが、賃貸の人にもいづらか補助があればいいのではないかな。 (期間を決めて1年間とか)

■問19 定住・移住促進に関するアイデアや促進が必要となる原因

No.	居住地	性別	年齢	自由記述
188	度島地区	男性	40-44歳	コロナ禍の中で、Webを使った仕事が世間に認められた最近、誰でもどこでも仕事ができる環境があると思う。都会の荒波に疲れた上場企業の役員等が、田舎のゆっくりとした環境の中でも仕事ができると思う。そういう人をターゲットに移住促進できれば、win-winでは
189	度島地区	女性	45-49歳	きれいな住宅、リフォーム済みの空き家など。利用しやすい飲食店・小売店の充実など。
190	度島地区	女性	50-54歳	交通の不便さがあるので、住みよいところへ流れるのではと思う。平戸はお城以外遊ぶところが無いので、遊園地みたいな大人も小人も遊べるところを作ってほしい。せっかく自然が豊かなので、アスレチック体験などもっと全面にアピールして行った方が良いと思う。